COMIC STUDIO | 4.0

THE STANDARD IN ILLUSTRATION AND COMIC

USER GUIDE

［ユーザーガイド］

ComicStudio

CONTENTS

ComicStudio

CONTENTS

本書をお読みになる前に

■「製品ラインアップ」について

ComicStudio4.0 には、Debut、Pro、EX のラインアップがあり、本書はこれら全ラインアップの操作方法について記述しています。
それぞれのラインアップによって限定される機能については、製品ラインアップを示す表記を記載しております。

無印	ComicStudio Debut、Pro、EX に共通して搭載されている機能を示します。
【Debut】	ComicStudio Debut のみに搭載されている機能を示します。
【Pro/EX】	ComicStudio Pro、EX に搭載されている機能を示します。
【EX】	ComicStudio EX のみに搭載されている機能を示します。

■対応 OS について

ComicStudio 4.0 には Windows 版と Mac OS X 版があり、本書は特に断りがない限り両方に対応する機能が記載されています。
Windows 版または Mac OS X 版のどちらかにしか搭載されていない機能については、それを示す記号を記載しております。

W	ComicStudio4.0 Windows 版のみに搭載されている機能を示します。
M	ComicStudio4.0 Mac OS X 版のみに搭載されている機能を示します。

■操作表記について

本書の操作表記は、特に断りがない限り Windows 版で記載されています。
Mac OS X 版については、下記の通りに読み替えてください。読み替えることで、Windows と MacOS で操作上同じ意味を持ちます。

Windows	Mac OS X
[Alt] キー	[Option] キー
[Ctrl] キー	[Command] キー
[Enter] キー	[Return] キー
[Backspace] キー	[Delete] キー
マウスボタンを右クリック	[Control] キーを押しながらマウスボタンをクリック

■注意表記について

本文の末尾などに、その操作に関連する事柄などについて、記号を付記して解説しています。

注意：	ComicStudio の操作を行ううえで、間違えやすい項目や、気をつけるべきことが書かれています。
POINT	ComicStudio の操作を行ううえで、操作の参考になることや、補足説明などが書かれています。

■掲載画像について

本書に掲載されている画像は、開発中のものが含まれています。実際とは異なる場合がございますのでご了承ください。

ComicStudio

Chapter

第1章 準備

本章では ComicStudio の起動と終了、作業環境の設定、
そして上級者向けのカスタマイズ方法について紹介します。

Step: 01 起動と終了

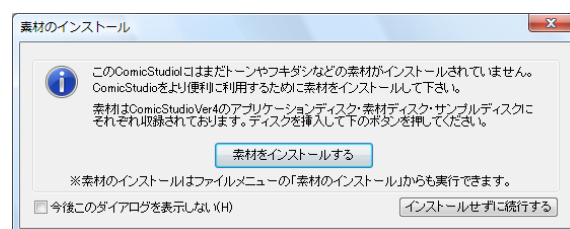
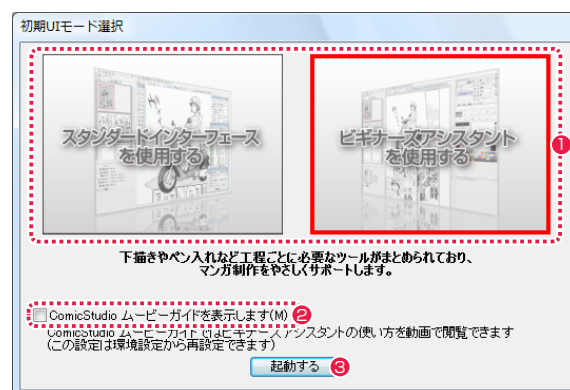
ここでは ComicStudio の起動方法と、終了方法を紹介します。

ComicStudio を起動する

ComicStudio のアプリケーションを起動します。

Windows 版の場合

1. スタートメニューを選択する
Windows の [スタート] メニューの [すべてのプログラム] から ComicStudio を選択します。

2. スタートメニューを選択する (初回起動時のみ)
初回起動時のみ、[素材のインストール] ダイアログが表示されます。ダイアログの指示に従って、素材をインストールします。

3.UI を選択する (初回起動時のみ)
初回起動時のみ、[初期 UI モード選択] ダイアログが表示され、ComicStudio 使用開始時の UI モードを選択します。

❶ [スタンダードインターフェースを使用する] または [ビギナーズアシスタントを使用する] を選択します。

❷ [ComicStudio ムービーガイドを表示します] をオンにすると、ComicStudio の起動と同時に『はじめてみよう !ComicStudio ムービーガイド』を表示します。

❸ [起動する] ボタンをクリックします。

4. 起動が完了する
[初期 UI モード選択] ダイアログで選択した UI で、ComicStudio のアプリケーションが起動します。

Mac OS X 版の場合

1.[Mac OS X HD] を選択する
デスクトップの [Mac OS X HD] アイコンをダブルクリックして開きます。

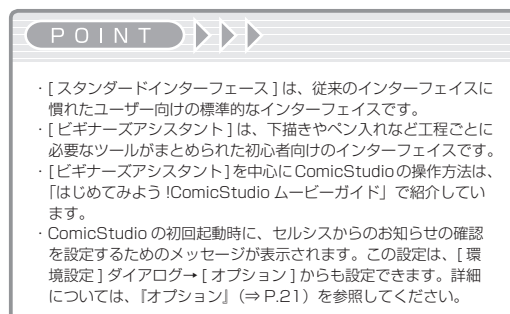
2.[アプリケーション] を選択する
[Mac OS X HD] から、[アプリケーション] フォルダをダブルクリックして開きます。

3.[ComicStudio] を選択する
[アプリケーション] フォルダから、[ComicStudio] フォルダをダブルクリックして開きます。

4.[ComicStudio] を Dock に登録する
[ComicStudio] フォルダから、[ComicStudio] アイコンを Dock にドラッグ & ドロップして登録します。

5.Dock から [ComicStudio] を起動する
Dock に登録された [ComicStudio] アイコンをクリックすると、ComicStudio のアプリケーションが起動します。

6.UI を選択する (初回起動時のみ)
初回起動時のみ、[初期 UI モード選択] ダイアログが表示され、ComicStudio 使用開始時の UI モードを選択します。
詳細は Windows 版を参照してください。

POINT

- [スタンダードインターフェース] は、従来のインターフェイスに慣れたユーザー向けの標準的なインターフェイスです。
- [ビギナーズアシスタント] は、下描きやペン入れなど工程ごとに必要なツールがまとめられた初心者向けのインターフェイスです。
- [ビギナーズアシスタント] を中心に ComicStudio の操作方法は、「はじめてみよう !ComicStudio ムービーガイド」で紹介しています。
- ComicStudio の初回起動時に、セルシスからのお知らせの確認を設定するためのメッセージが表示されます。この設定は、[環境設定] ダイアログ→ [オプション] からも設定できます。詳細については、『オプション』(⇒ P.21)を参照してください。

ComicStudio を終了する

ComicStudio のアプリケーションを終了します。

Windows 版の場合

1. コマンドを選択する
[ファイル] メニューから [終了] を選択します。

2. 終了が完了する
ComicStudio のアプリケーションが終了します。

Mac OS X 版の場合

1. コマンドを選択する
[アプリケーション] メニューから [ComicStudio を終了] を選択します。

2. 終了が完了する
ComicStudio のアプリケーションが終了します。

Mac OS X 版の場合は、下記の方法でも終了できます。

❶ Dock に登録された [ComicStudio] アイコンを右クリックします。

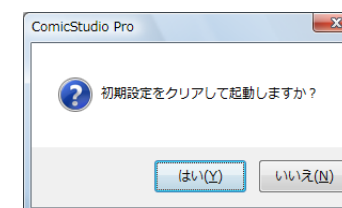
❷ 表示されたメニューから、[終了] を選択します。

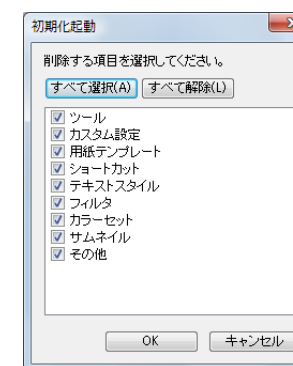
初期設定をクリアして起動する

ComicStudio の作業中に不具合などが発生した場合などに、設定を初期化して起動できます。

Windows 版の場合

1. スタートメニューを選択する
Windows の [スタート] メニューの [すべてのプログラム] から、[Shift] キーを押しながら、ComicStudio を選択します。

2. 確認ダイアログが表示される
確認ダイアログが表示されたら、[はい] ボタンをクリックします。

3. 初期化する項目を選択する
[初期化起動] ダイアログから、現在の設定を削除してインストール直後の状態に戻したい項目を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

注意： 重要
[初期化起動] ダイアログで選択した項目は、個々の設定が全て消去されインストール直後の状態に戻りますので、十分にご注意ください。

※この画像は ComicStudioPro のものです。

4. 初期化起動が完了する
[初期化起動] ダイアログで選択した項目をインストール直後の状態に初期化して、ComicStudio のアプリケーションが起動します。

Mac OS X 版の場合

1.Dock から [ComicStudio] を起動する
[Shift] キーを押しながら、Dock に登録された [ComicStudio] アイコンをクリックすると、ComicStudio のアプリケーションが起動します。
以降は Windows 版の場合と同様です。詳細は Windows 版を参照してください。

Step: 02

環境設定

作品、ページ、レイヤー、ツール、印刷・スキャン、メモリなどに関する設定を [環境設定] ダイアログで行います。

環境設定ダイアログ

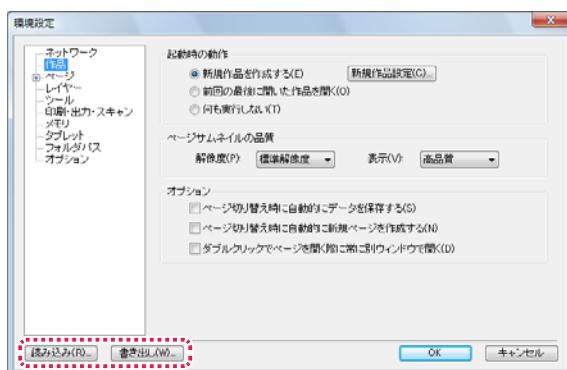
ComicStudio の環境設定を行います。
[環境設定] ダイアログは、下記の手順で表示します。

Windows 版の場合
[ファイル] メニューから [環境設定 ...] を選択すると表示します。

Mac OS X 版の場合
[アプリケーション] メニューから [環境設定 ...] を選択すると表示します。

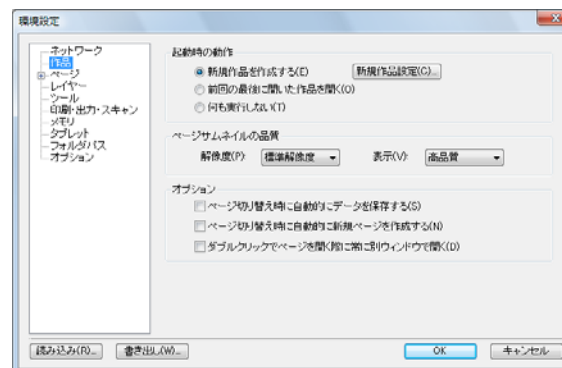
環境設定の書き出し・読み込み

[環境設定] ダイアログで設定した内容を書き出して保存できます。
書き出した環境設定を別の環境に移動したり、共有したりできます。

注意：
環境設定の読み込みを行うと、それまで使用していた環境設定は削除されます。環境設定の読み込みを行う前に、設定内容をよく確認してください。

・[書き出し ...] ボタン
[環境設定] ダイアログで設定した内容を書き出します。ファイルの形式は [プリファレンス] ファイル (拡張子：pff) です。

・[読み込み ...] ボタン
すでに保存している [プリファレンス] ファイル (拡張子：pff) を読み込んで環境設定を復元します。

作品

[編集] ウィンドウの [作品] タブに関する設定を行います。

起動時の動作

ソフトウェア起動時の、[作品] ファイルの動作の設定を行います。

・[新規作品を作成する]
起動時に [作品] ファイルを新規作成します。

・[新規作品設定 ...] ボタン
新規作成する [作品] ファイルの設定を指定します。

・[前回の最後に開いた作品を開く]
前回の起動時に開いたファイルを開きます。

・[何も実行しない]
起動時に [作品] ファイルを作成しません。

ページサムネイルの品質

[編集] ウィンドウの [作品] タブに表示されるサムネイルの解像度、表示品質の設定を行います。

・[解像度]
[編集] ウィンドウの [作品] タブに表示されるサムネイルの表示品質を [標準解像度]・[高解像度] から選択できます。

・[表示]
［編集］ウィンドウの［作品］タブに表示されるサムネイルの表示品質を［高速］・［高品質］から選択できます。

オプション

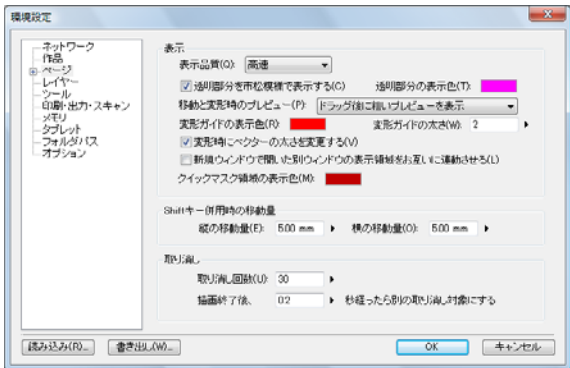
[作品] ファイルのその他の設定を行います。

・[ページ切り替え時に自動的にデータを保存する]
[作品] メニューの [前のページへ] または [次のページへ] を実行する際に、自動的にデータを保存します。

・[ページ切り替え時に自動的に新規ページを作成する]
[作品] メニューの [次のページへ] を実行する際に、次のページがない場合に新規作成します。

・[ダブルクリックでページを開く際に別ウィンドウで開く]
[編集] ウィンドウの [作品] タブに表示されるサムネイルをダブルクリックしてページを開くと、常に別ウィンドウで開きます。(ComicStudio3.0 と同じ動作です)

ページ

[編集] ウィンドウの [ページ] タブの表示やキー入力に関する設定を行います。

表示

[編集] ウィンドウの [ページ] タブに関する設定を行います。

・**[表示品質]**
ページの表示品質を [高速]・[高品質] から選択します。

・**[透明部分を市松模様で表示する]**
[表示] メニューの [透明部分表示] を設定した場合に、透明部分を市松模様で表示します。

・**[透明部分の表示色]**
[表示] メニューの [透明部分表示] を設定した場合に、透明部分の表示色を任意で設定します。

・**[移動と変形時のプレビュー]**
[編集] メニューの [移動と変形][トーンゆがみ] の実行中に、一時的に表示される画像の表示状態を設定します。

・**[変形ガイドの表示色]**
[編集] メニューから [移動と変形] を実行するときに表示される、ガイド線の表示色を変更できます。

・**[変形ガイドの太さ]**
[編集] メニューから [移動と変形] を実行するときに表示される、ガイド線の太さを変更できます。

・**[変形時にベクターの太さを変更する]【Pro/EX】**
[編集] メニューの [移動と変形] を実行した際に、ベクター線の太さを変更します。

・**[新規ウィンドウで開いた別ウィンドウの表示領域をお互いに連動させる]**
[ウィンドウ] メニューから [新規ウィンドウ] コマンドで表示した複数の [編集] ウィンドウの [ページ] タブの表示領域を連動させます。

・**[クイックマスク領域の表示色]【Pro/EX】**
クイックマスク領域の表示色を任意で設定します。

Shift キー併用時の移動量

[レイヤー移動] ツールなどをキーボードから方向キーを使用して操作した際の移動量を設定します。

・**[縦の移動量]**
縦方向のキーを使用した時の移動量を設定します。

・**[横の移動量]**
横方向のキーを使用した時の移動量を設定します。

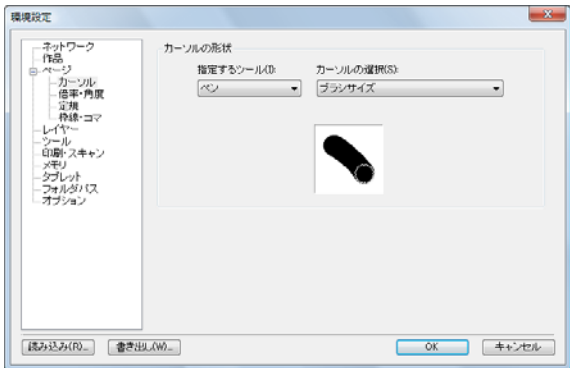
取り消し

[取り消し] 機能および [やり直し] 機能と、[ヒストリー] パレットの [取り消し] コマンドに関する設定を行います。

・**[取り消し回数]**
記憶する操作の履歴数の上限を指定します。

・**[描画終了後、～秒経ったら別の取り消し対象にする]**
別の操作として認識するまでの無操作状態の秒数を指定します。描画ツールで早いストロークで描画するとき、別の操作として認識するまでの秒数を指定します。

ページ：カーソル

描画ツールのカーソルの形状に関する設定を行います。

カーソルの形状

カーソル形状に関する設定を行います。

・**[指定するツール]**
対象とするツールを下記から選択します。

・[ペン]
・[鉛筆]
・[マジック]
・[消しゴム]
・[筆ペン]
・[パターンブラシ]
・[塗りつぶし]
・[選択範囲系]
・[マジックワンド]
・[スポイト]
・[線つまみ]【Pro/EX】
・[フィルタ系]【Pro/EX】
・[線つなぎ]【Debut】

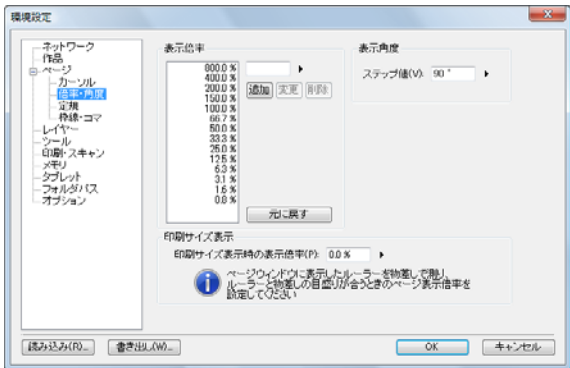
[選択範囲系] を選択すると、下記のツールのマウスカーソルを変更できます。
・[矩形選択] ツール
・[楕円選択] ツール
・[折れ線選択] ツール
・[投げなわ選択] ツール

[フィルタ系] を選択すると、下記のツールのマウスカーソルを変更できます。
・[線つなぎ] ツール
・[ゴミ取り] ツール
・[ぼかし] ツール
・[スピード線化] ツール
・[ゆがみ] ツール
・[焼き込み] ツール
・[覆い焼き] ツール
・[色混ぜ] ツール
・[スタンプ] ツール
・[閉領域フィル] ツール
・[線編集] ツール
・[線幅修正] ツール

・**[カーソルの選択]**
カーソル形状を下記から選択します。

・[各ツールに依存]
・[矢印]
・[ドット]
・[十字]
・[照準]
・[ブラシサイズ]

ページ：倍率・角度

用紙の表示倍率や表示角度に関する設定を行います。

表示倍率

用紙の表示倍率に関する設定を行います。

・**表示倍率リスト**
[編集] ウィンドウの [拡大表示] ボタン・[縮小表示] ボタンで表示倍率を変更したときに表示できる倍率の一覧です。

・**表示倍率入力ボックス**
[表示倍率リスト] で選択した表示倍率を変更したり、新しく表示倍率を入力できます。

・**[追加]**
表示倍率入力ボックスに入力した表示倍率を、表示倍率リストに追加します。

・**[変更]**
表示倍率リストで選択した表示倍率を、表示倍率入力ボックスで設定した値に変更します。

・**[削除]**
表示倍率リストで選択した表示倍率を削除します。

・**[元に戻す] ボタン**
表示倍率リストの表示倍率を初期設定に戻します。

・**[ショートカットによる倍率変更時は、カーソル位置に注目する]**
編集画像の拡大･縮小表示をショートカットの操作で行う場合に、編集ウィンドウ上のカーソルの位置を基準にします。

表示角度

用紙の表示角度に関する設定を行います。

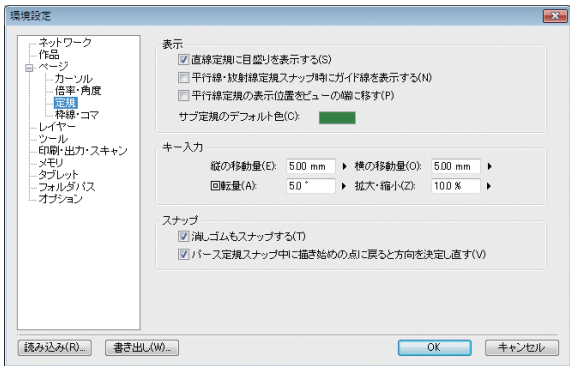
・**[ステップ値]**
[編集] ウィンドウの [ページ] タブまたは [コマ] ウィンドウの [指定角度回転] ボタンをクリックした際の、回転する角度を指定します。

印刷サイズ表示

用紙の印刷サイズに関する設定を行います。

・**[印刷サイズ表示時の表示倍率]**
[編集] ウィンドウの [印刷サイズ] ボタンまたは [ウィンドウ] メニューから [印刷サイズ] コマンドを選択した際の、[表示倍率] を設定します。

ページ：定規

定規に関する設定を行います。

表示

定規の表示に関する設定を行います。

・[直線定規に目盛りを表示する]
[直線定規] に目盛りを表示します。

・[平行線・放射線定規スナップ時にガイド線を表示する]【Pro/EX】
[平行線・放射線定規] のスナップ時に、線の引かれる方向を示すガイド線を表示します。

・[平行線定規の表示位置をビューの端に移す]【Pro/EX】
[平行線定規] を [編集] ウィンドウの [ページ] タブの端側に表示します。

・[サブ定規のデフォルト色]
サブ定規の初期表示色を設定します。

キー入力

定規のキーボード操作に関する設定を行います。

・[縦の移動量]
キー入力で定規を操作する際の、縦方向の移動量を設定します。

・[横の移動量]
キー入力で定規を操作する際の、横方向の移動量を設定します。

・[回転量]
キー入力で定規を操作する際の、回転時の角度を設定します。

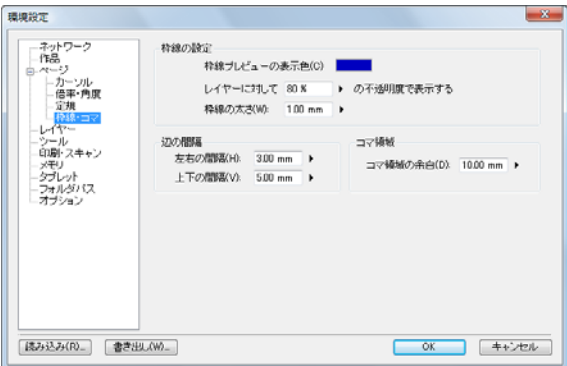
・[拡大・縮小]
キー入力で定規を操作する際の、拡大･縮小の倍率を設定します。

スナップ

・[消しゴムもスナップする]
オンにすると、[消しゴム] ツールが定規に対してスナップします。オフにすると、[消しゴム] ツールが定規に対してスナップしなくなり、スナップのオン・オフを切り替えなくても、定規に関係なく線を消せます。詳細については、第 3 章『描画』→『Step:04 描画ツールの種類』→『消しゴムツール』（⇒ P.100）を参照してください。

・[パース定規スナップ中に描き始めの点に戻ると方向を決定し直す]【Pro/EX】
オンにすると、パース定規にスナップして線を描画しているときに、描き始めの点に戻ると描画途中の線を消去して別方向に線を作成できるようになります。

ページ：枠線・コマ

枠線・コマに関する設定を行います。

枠線の設定

枠線に関する設定を行います。

・[枠線プレビューの表示色]
[枠線定規] の初期表示色を設定します。

・[レイヤーに対して～ % の不透明度で表示する]
[枠線定規] 表示時の不透明度の初期設定値を指定します。

・[枠線の太さ]
[枠線定規] の枠線の太さを設定します。

辺の間隔

枠線の辺に関する設定を行います。

・[左右の間隔]
[枠線定規カット ツールオプション] パレットの、[左右の間隔] の値を設定します。

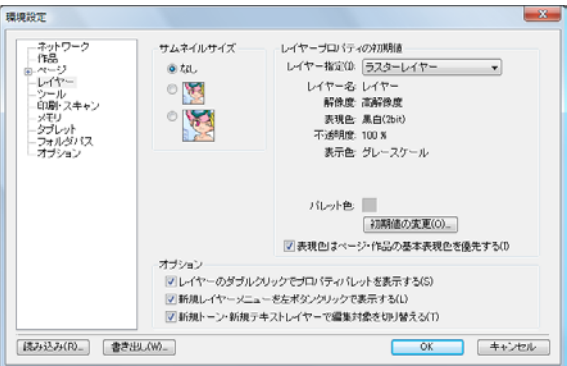
・[上下の間隔]
[枠線定規カット ツールオプション] パレットの、[上下の間隔] の値を設定します。

コマ領域

枠線のコマ領域に関する設定を行います。

・[コマ領域の余白]
[枠線定規レイヤー] から [コマフォルダ] を作成した場合の、枠線外の余白を設定します。

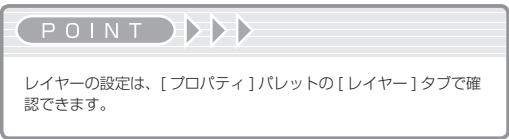
レイヤー

[レイヤー] パレットに関する設定を行います。

サムネイルサイズ

[レイヤー] パレット上で表示するサムネイルの大きさを選択します。

レイヤープロパティの初期値

レイヤーを新規作成したときの、レイヤーの初期値についての設定を行います。

レイヤーの設定は、[プロパティ] パレットの [レイヤー] タブで確認できます。

・[レイヤー指定]
[初期値の変更 ...] で対象とするレイヤーの種類を選択します。選択したレイヤーの設定が下に表示されます。

・[初期値の変更 ...] ボタン
[レイヤー指定] で選択したレイヤーの初期設定を変更します。

・[表現色はページ・作品の基本表現色を優先する]
[レイヤー] メニューから [新規レイヤー] でラスターレイヤー・ベクターレイヤー【Pro/EX】を作成したとき、ページ・作品の基本表現色をレイヤーの [表現色] にします。
オフにすると、環境設定の設定を優先させます。

オプション

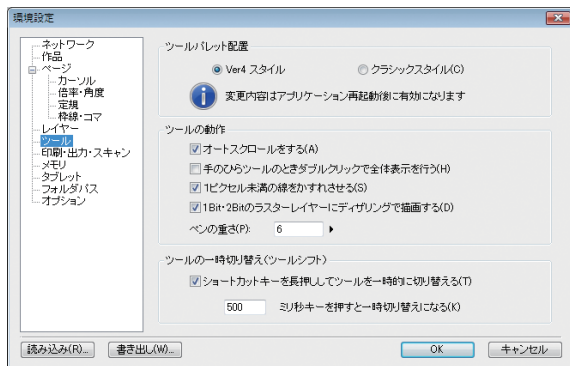
[レイヤー] パレットのその他の設定を行います。

・[レイヤーのダブルクリックでプロパティパレットを表示する]
レイヤーアイコンをダブルクリックすると、[プロパティ] パレットを表示します。

・[新規レイヤーメニューを左ボタンクリックで表示する]
[レイヤー] パレットの [カテゴリ] 欄を左ボタンでクリックすると、新規レイヤーメニューを表示します。オフにすると右クリックで表示します。

・[新規トーン・新規テキストレイヤーで編集対象を切り替える]
新規に [トーンレイヤー]、[テキストレイヤー] が作成されたとき、編集対象を新しいレイヤーに切り替えます。

ツール

[ツール] パレットに関する設定を行います。

ツールパレット配置

[ツール] パレットの配置に関する設定を行います。変更内容は、アプリケーションの再起動後に有効になります。

- **[Ver4 スタイル]**
  [ツール] パレットを Ver.4.0 の配置で表示します。

- **[クラシックスタイル]**
  [ツール] パレットを Ver.3.0 の配置で表示します。

ツールの動作

[ツール] パレットの動作に関する設定を行います。

- **[オートスクロールをする]**
  選択範囲の指定中など、カーソルが [編集] ウィンドウ外に出た場合に、スクロールして追従します。

- **[手のひらツールのときダブルクリックで全体表示を行う]**
  [手のひら] ツールで [編集] ウィンドウをダブルクリックした場合に、表示倍率を全体表示にします。

- **[1 ピクセル未満の線をかすれさせる]**
  オンにすると、描画ツールを使用して描いた 1 ピクセル未満の線に、かすれたような効果がつけられます。
  オフにすると、線がかすれずに 1 ピクセル以上の線で描かれます。

- **[1Bit・2Bit のラスターレイヤーにディザリングで描画する]**
  1bit または 2bit のラスターレイヤーに対する描画方法を設定できます。
  オンにすると、ツールの不透明度などに応じたディザリングで描画されます。
  オフにすると、ツールの描画色でベタ塗りされます。ディザリングが不要な場合にベタ塗りを行うとき、ツールの不透明度などを調整する必要がなくなります。

- **[ペンの重さ]**
  タブレットペンの振れの抑制量を示します。値が大きいほど線が滑らかになり、値が小さいほど入力に忠実になります。
  ペンタブレットから入力されたデータに対して平均化を行う時間の長さを指定するので、値が大きいほど線が表示されるまでに時間がかかります。

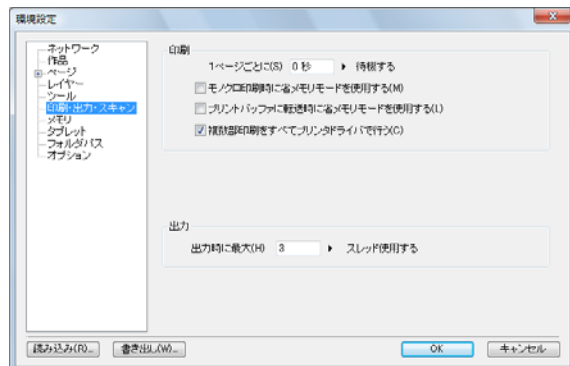
ツールの一時切り替え（ツールシフト）

ツールを使用しているときの一時切り替えに関する設定を行います。

- **[ショートカットキーを長押ししてツールを一時的に切り替える]**
  オンにすると、[ツール] パレットの各ツールに割り当てられているショートカットキーを長押ししたときに、キーを押している間だけツールが切り替わります。（ツールシフト機能）
  たとえば、[ペン] ツールを使用中に [E] キーを長押しすると、一時的に [ペン] ツールを [消しゴム] ツールへ切り替えることができます。

- **[…ミリ秒キーを押すと一時切り替えになる]**
  ショートカットキーを長押ししてから、ツールシフト機能が反映されるまでの時間を、ミリ秒単位で指定します。

印刷・出力・スキャン

印刷、出力、スキャンに関する設定を行います。

印刷

印刷に関する設定を行います。

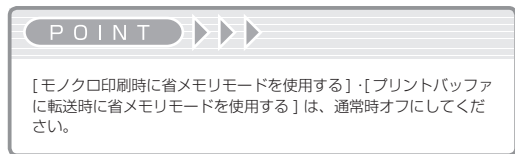
- **[1ページごとに～秒待機する]**
  [編集] ウィンドウの [作品] タブから複数のページを印刷する際の、1ページごとの待ち時間を設定します。

- **[モノクロ印刷時に省メモリモードを使用する]**
  印刷に支障が出る場合に選択すると、問題が改善される可能性があります。

- **[プリントバッファに転送時に省メモリモードを使用する] W**
  印刷に支障が出る場合に選択すると、問題が改善される可能性があります。

- **[複数部印刷をすべてプリンタドライバで行う]**
  プリンタで印刷するとき、一部の機種で複数部印刷が正常に行われない場合があります。その場合にチェックをオンにすると問題が改善されます。

- **[プリントバッファ転送時に画像を加工させない] M**
  印刷を行ったときに低い解像度で印刷されてしまう場合に選択すると、問題が改善されます。

[モノクロ印刷時に省メモリモードを使用する]・[プリントバッファに転送時に省メモリモードを使用する] は、通常時オフにしてください。

スキャン【EX】

スキャンに関する設定を行います。

- **[連続スキャン時にダイアログを毎回閉じる]【EX】**
  連続スキャン時にスキャナー側の設定ダイアログを毎回閉じます。

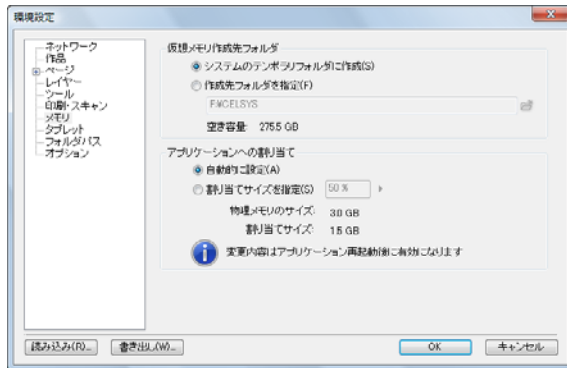
- **[ネイティブスキャン後ダイアログを閉じる]【EX】 M**
  連続スキャンを行うとき、製品の本来の仕様でスキャンを行った後に、設定ダイアログを閉じます。
  連続スキャン時に、ドライバごとの仕様の違いを要因としてエラーが発生してしまう場合があります。その場合に設定すると、問題が改善されます。

出力

出力に関する設定を行います。

- **[出力時に最大～スレッド使用する]**
  画像の出力時に使用するスレッド数を、1 ～ 3 の範囲で指定できます。
  複数ページを出力する際に、ご使用のパソコンの環境やスペックによってはリソース不足が発生して処理が途中で中止されてしまう場合があります。そのような場合は、スレッド数を 1 に設定すると、問題が改善されます。

メモリ

メモリに関する設定を行います。

仮想メモリ作成先フォルダ

仮想メモリ作成先フォルダに関する設定を行います。

・[システムのテンポラリフォルダに作成]
仮想メモリの作成先を OS が一時使用するテンポラリフォルダに指定します。

・[作成先フォルダを指定]
仮想メモリの作成先を任意のフォルダに指定します。
仮想メモリの作成先として指定するフォルダは、十分な空き容量のあるハードディスクのフォルダを指定してください。仮想メモリを置くハードディスクの空き容量が少ない場合は、プログラムの動作が不安定になることがあります。

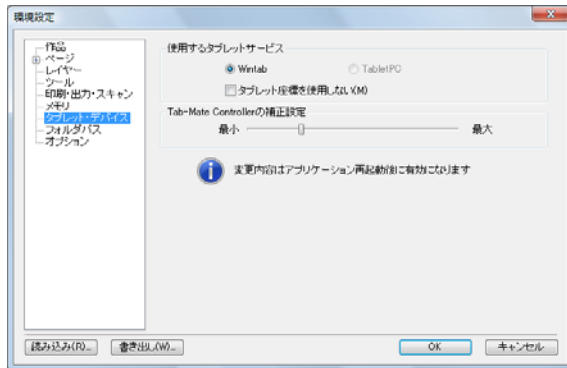
アプリケーションへの割り当て

アプリケーションへのメモリの割り当てに関する設定を行います。
変更内容は、アプリケーションの再起動後に有効となります。

・[自動的に設定]
メモリの割り当てを自動で行います。通常はこちらの設定を推奨します。

・[割り当てサイズを指定]
メモリの割り当てサイズを指定します。
[物理メモリのサイズ] をよく確認して、[割り当てサイズ] のメモリ量が極端に少なくならないように指定してください。ただし割り当てサイズを極端に大きくした場合は、OS の動作が不安定になることがあります。

タブレット・デバイス W

タブレットに関する設定を行います。

使用するタブレットサービス

使用するタブレットの種類に関する設定を行います。

・[Wintab]
通常のタブレットを使用する場合に選択します。

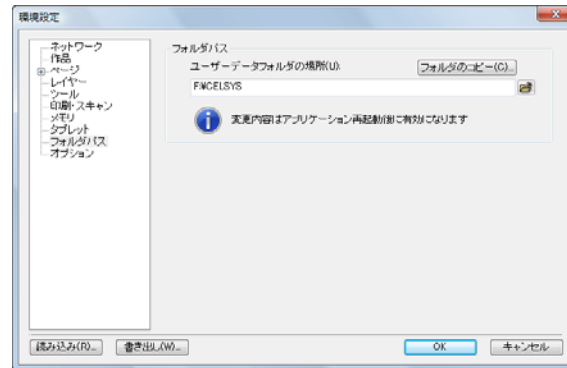
・[TabletPC]
タブレット PC を使用する場合に選択します。

・[タブレット座標を使用しない]
ペンタブレットで描画するとき、タブレット座標ではなくカーソル座標を使用して描画を行います。
タブレットの動作がうまくいかない場合に、チェックをオンにすると問題が改善されます。

Tab-Mate Controller の補正設定

Tab-Mate Controller のコントロールスティックの動作を調整します。操作中にページのスクロールがぶれる、何もしていないときにページがスクロールするなどの問題が発生した場合、スライダを調整すると、改善することがあります。

フォルダパス

ユーザーデータフォルダの保存場所に関する設定を行います。

フォルダパス

ユーザーデータフォルダの保存やコピーなどの管理を行います。
ユーザーデータフォルダとは、ComicStudio で作成された環境設定やペン設定などのデータを保存するフォルダのことです。

・[ユーザーデータフォルダの場所]
ユーザーデータフォルダを置くフォルダを指定します。設定は、ComicStudio の再起動後に有効になります。

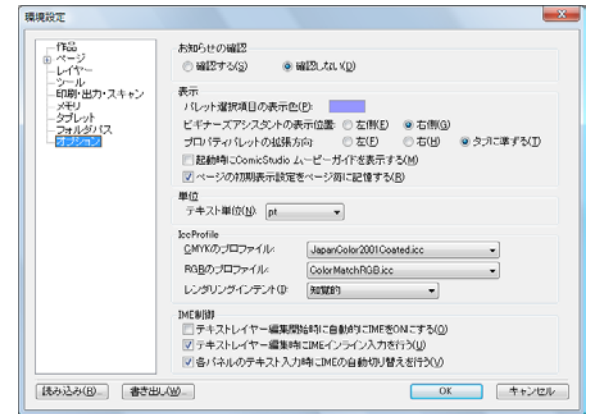
・[フォルダのコピー ...] ボタン
ユーザーデータフォルダを任意の場所にコピーし、バックアップします。

・[フォルダの参照] ボタン
ユーザーデータフォルダの場所を変更します。

注意 :

[ユーザーフォルダの場所] に ComicStudio および他のアプリケーションやシステムが使うファイルフォルダを指定しないでください。
このフォルダ内にそれ以外のデータが存在する場合、ComicStudio を正常に起動できないまたは正常に動作できない場合がありますのでご注意ください。

オプション

パレットやカラープロファイルなどの表示に関する設定を行います。

お知らせの確認

セルシスからのお知らせを確認する機能のオン・オフを設定できます。[確認する] をオンにすると、ブラウザが起動して、アップデート情報やお得なお知らせなどが表示されます。[確認しない] をオンにすると、セルシスからのお知らせを確認せずに、ComicStudio が起動します。

セルシスからのお知らせを確認することによって、お客様を特定できるような個人情報が収集、送信、使用されることは一切ありません。

表示

表示に関するさまざまなオプション設定を行います。

・[パレット選択項目の表示色]
[レイヤー] パレットおよび [ヒストリー] パレット内の選択項目の表示色を選択します。

・[ビギナーズアシスタントの表示位置]
[ビギナーズアシスタント] の表示位置を [左側]・[右側] から選択できます。

・[プロパティパレットの拡張方向]
[プロパティ] パレットの拡張方向を [左]・[右]・[タブに準ずる] から選択できます。

・[起動時に ComicStudio ムービーガイドを表示する]
ComicStudio の起動と同時に [ComicStudio ムービーガイド] を表示します。

・[ページの初期表示設定をページ毎に記憶する]
オンにすると、[定規マニピュレータ]・[定規ハンドル]・[選択範囲ランチャー] などの表示・非表示の状態を、ページごとに記憶します。ページを開いたとき、表示状態は保存時のものを反映します。従来の動作と同等となります。
オフにすると、[定規マニピュレータ]・[定規ハンドル]・[選択範囲ランチャー] などの表示・非表示の状態は、アプリケーションに対して単一で記憶します。ページを開いても、保存時の表示状態は反映されません。

単位

テキストの単位に関する設定を行います。

・[テキスト単位]
[テキスト] ツールで入力する文字の大きさの単位を [Q] (Q数)・[pt](ポイント) から選択します。

IccProfile

カラープロファイルデータに関する設定を行います。

・[CMYK のプロファイル]
CMYKのプロファイルを指定します。

・[RGB のプロファイル]
RGBのプロファイルを指定します。

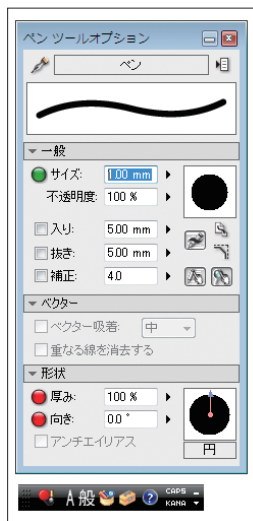
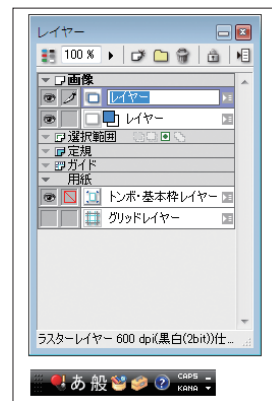
・[レンダリングインテント]
レンダリングインテントのプロファイルを指定します。

IME 制御 W

IME 制御に関する設定を行います。

・[テキストレイヤー編集開始時に自動的に IME を ON にする]
[テキストレイヤー] への文字入力を開始するとき、IME が自動的にオンになります。IME の設定によって、[半角／全角] キーを押さなくても、テキストの編集開始時から全角文字の入力が可能になります。

・[テキストレイヤー編集時に IME インライン入力を行う]
オフにすると、IME の入力確定前のテキストがページ上に表示されなくなります。
OS の仕様に沿っていない古い IME を使用している場合、インライン入力が正常に働かないことがあります。その場合にチェックをオフにすると問題が改善されます。

・[各パネルのテキスト入力時に IME の自動切り替えを行う]
オンにすると、パレットで文字を入力するときに IME の入力モードが自動的に切り替わります。
たとえば、[レイヤー] パレットでレイヤー名などを入力するときはひらがな入力モードに、[ツールオプション] パレットで数値を入力するときは半角英数入力モードに自動的に切り替わるようになります。

テキスト入力制御 M

テキスト入力制御に関する設定を行います。

・[テキストレイヤー編集開始時に自動的に日本語入力モードにする]
[テキストレイヤー] への文字入力を開始するとき、自動的に日本語入力モードになります。[半角／全角] キーを押さなくても、テキストの編集開始時から全角文字の入力が可能になります。

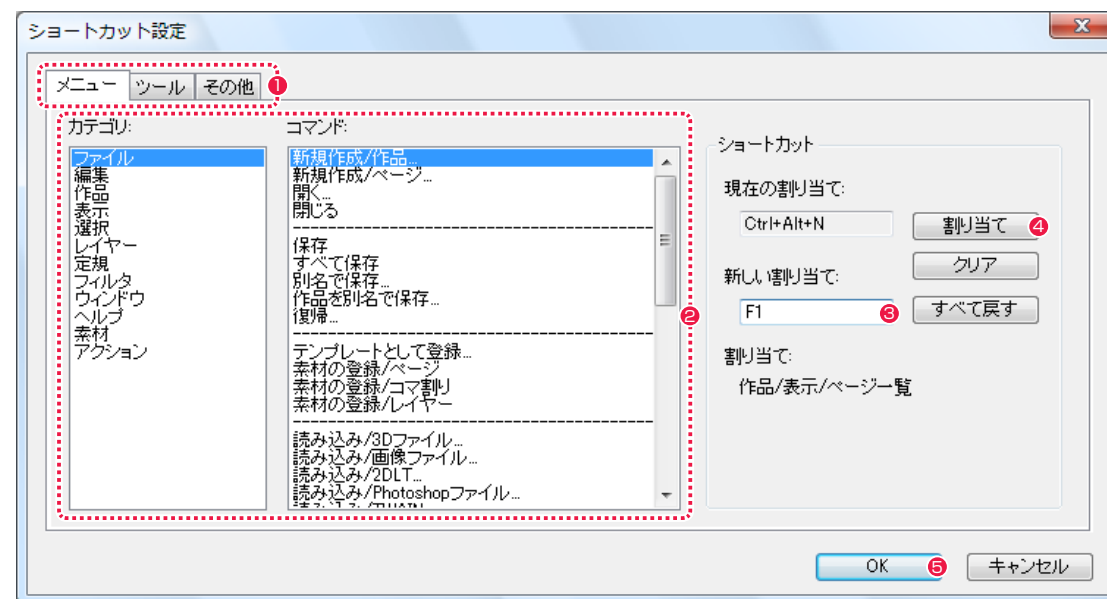
・[テキストレイヤー編集時に日本語インライン入力を行う]
オフにすると、入力確定前のテキストがページ上に表示されなくなります。
OS の仕様に沿っていない古い入力プログラムを使用している場合、インライン入力が正常に働かないことがあります。その場合にチェックをオフにすると問題が改善されます。

・[各パネルのテキスト入力時に日本語入力の自動切り替えを行う]
オンにすると、パレットで文字を入力するときに入力モードが自動的に切り替わります。
たとえば、[レイヤー] パレットでレイヤー名などを入力するときはひらがな入力モードに、[ツールオプション] パレットで数値を入力するときは半角英数入力モードに自動的に切り替わるようになります。

Step: 03 ショートカット設定【Pro/EX】

メニューコマンドや [ツール] パレットなどを使う操作のショートカットを編集できます。ショートカットが割り当てられていなかったコマンドに対して、新たにショートカットを登録することもできます。

ショートカットを編集する

ショートカットの編集は [ショートカット設定] ダイアログで行います。[ファイル] メニューから [ショートカット設定 ...] を選択すると、[ショートカット設定] ダイアログが表示されます。

ショートカットの割り当て

❶ [メニュー] タブ、[ツール] タブ、[その他] タブのいずれかを選択します。

❷ [カテゴリ] から登録したい項目が含まれるカテゴリをクリックして選択し、[コマンド] から登録したい項目をクリックして指定します。

❸ [新しい割り当て] 欄をクリックして、新しいショートカットを入力します。ここでは [Alt] キーを押してから同時に [Z] キーを押しています。

❹ [割り当て] ボタンを押すと、新しい割り当てが有効になります。

❺ [OK] ボタンを押すとショートカット設定が反映され、ダイアログが閉じられます。

[Tab] キー・[Space] キー・[Backspace] キーも、ショートカットキーとして割り当てられます。

ショートカットのリセット

[ショートカット設定] ダイアログの [すべて戻す] ボタンを押すと、編集したすべてのショートカットがリセットされ、初期設定に戻ります。

Step: 04

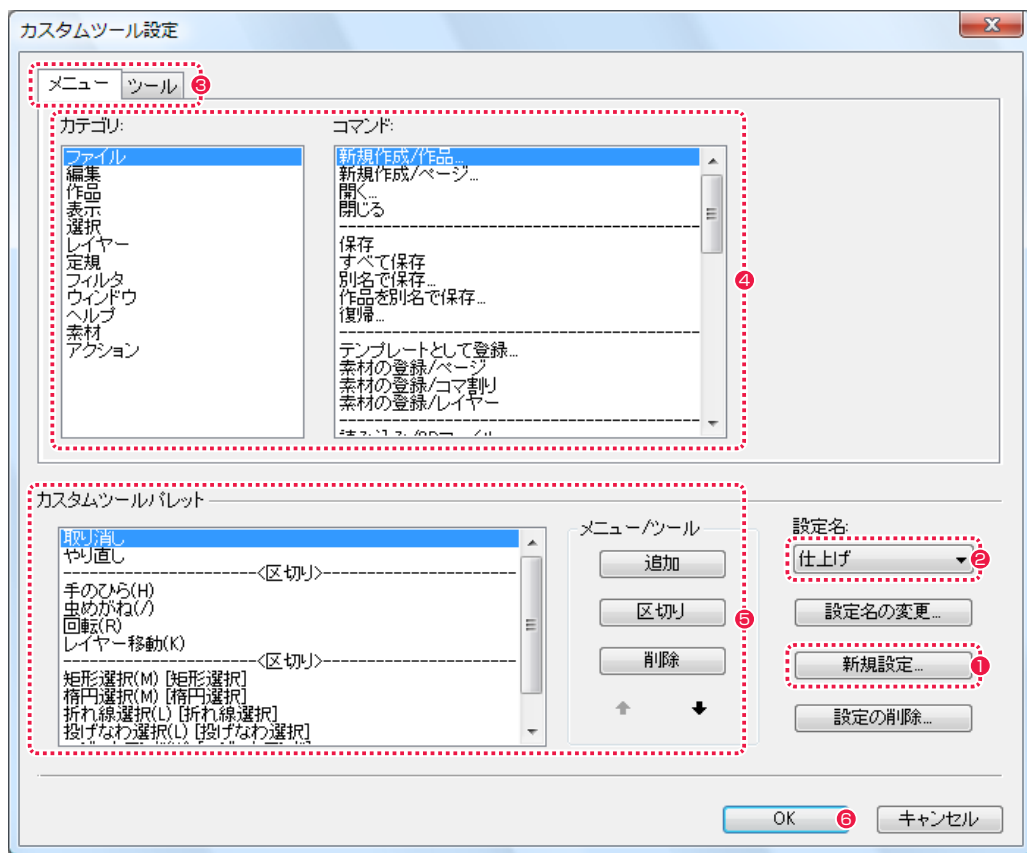
カスタムツール設定【Pro/EX】

よく使う機能は [カスタムツール] パレットに登録すると便利です。

よく使う機能をパレットに登録する

よく使うメニューコマンドやツールを [カスタムツール] パレットに登録すると、自分だけの使い勝手の良い [ツール] パレットを作成できます。ツールを登録した場合は、ツールの設定も同時に登録されます。

ツール、メニューを登録する

以下の方法で、[カスタムツール] パレットにツールやメニューを登録できます。
[ファイル] メニューから [カスタムツール設定 ...] を選択すると、[カスタムツール設定] ダイアログが表示されます。

❶ [新規設定 ...] ボタンを押し、[カスタムツールの新規設定] ダイアログを表示します。[設定の名前] に登録するパレットの名前を入力し、[OK] ボタンを押します。

❷ [設定名] に入力した名称が表示されます。

❸ [メニュー] タブ、[ツール] タブを切り替えて、登録したい項目を表示します。

❹ [カテゴリ] から登録したい項目が含まれるカテゴリをクリックして選択し、[コマンド] から登録したい項目をクリックして指定します。

❺ [追加] ボタンを押すと、指定した項目が [カスタムツールパレット] のリストに追加されます。
[カスタムツールパレット] のリストから項目を削除したい場合は、削除したい項目をクリックして選択し [削除] ボタンを押します。
[カスタムツール] パレットに区切り線を追加したい場合は [区切り] ボタンを押します。

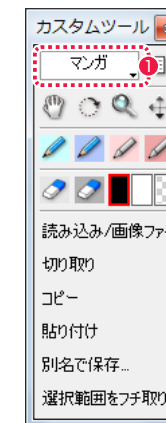
❻ [OK] ボタンを押すと、指定した項目が [カスタムツール] パレットに登録されます。

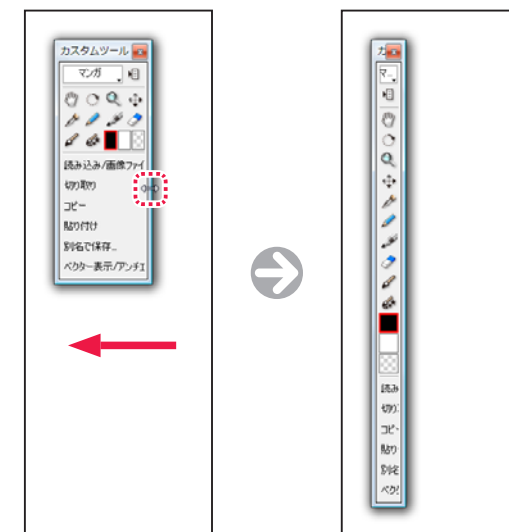
[カスタムツール設定] ダイアログ

- **[追加]**
  選択した [メニュー／ツール] を [カスタムツール] パレットに追加します。
- **[区切り]**
  [カスタムツール] パレットのリストに区切りを挿入します。
- **[削除]**
  [カスタムツール] パレットのリストで選択した項目を削除します。
- **[↑][↓]**
  [カスタムツール] パレットのリストで選択した項目を [上・下] に移動します。
- **[設定名]**
  カスタムツール設定をリストから選択します。
- **[設定名の変更 ...]**
  選択しているカスタムツール設定の名前を変更します。
- **[新規設定 ...]**
  新しくカスタムツール設定を作成します。
- **[設定の削除 ...]**
  選択しているカスタムツール設定を削除します。

カスタムツールパレットを使用する

設定した [カスタムツール] パレットを表示して使用します。

1.[ツール] パレットを開く
[ウィンドウ] メニューから [カスタムツール] を選択し、[カスタムツール] パレットを開きます。

❶ [設定の切り替え] ボタンから使用したい [パレット設定] を選択します。[パレット設定] は複数登録でき、必要に応じて切り替えて使い分けられます。

2. パレットを変形する
パレットの枠にカーソルを置いて図の形になった時にドラッグすると、パレットのサイズをツールアイコン縦 1 列分まで変更できます。

注意：
パレットのサイズを変更すると画面からはみ出してしまう場合は、はみ出さないサイズまでしか縮まりません。

Mac OS X 版の場合は、右下の部分にマウスカーソルを合わせてドラッグすると、パレットの形状を変えられます。

Chapter

第2章

ファイル

本章では「作品」ファイルと「ページ」ファイルに関する操作方法について紹介します。

Step: 01

ファイルの種類と互換性

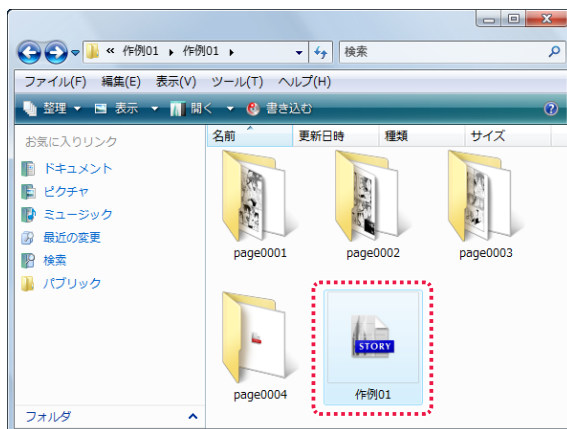
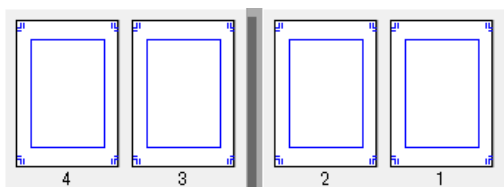
単ページの [ページ] ファイルと 、複数ページの [作品] ファイルの種類と互換性について説明します。

ファイルの種類について

ComicStudio ではまず [ページ] ファイルまたはそれらが集まった [作品] ファイルを作成し、[ページ] 上に描画してマンガを制作します。

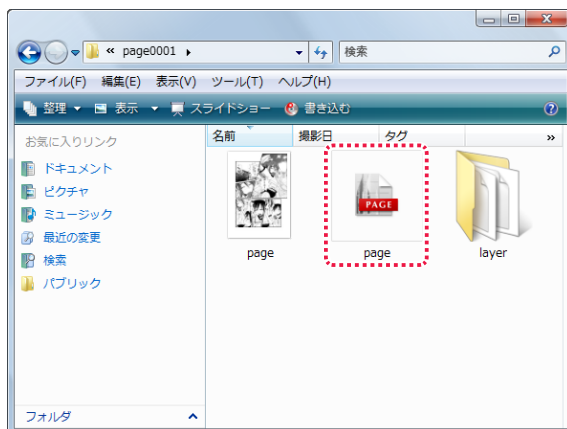
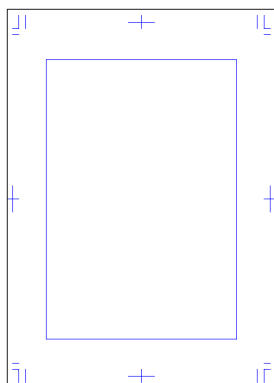
[作品] ファイル (拡張子：cst)

[作品] ファイル名のフォルダには、下記のものが入っています。

・[作品] ファイル (拡張子：cst)
・作成されたページ数分の [ページ] フォルダ

[作品] ファイル (拡張子：cst) のアイコンをダブルクリックすると、ComicStudio が起動して [編集] ウィンドウが開き、[作品] タブに [ページ] のサムネイルが表示されます。

[ページ] ファイル (拡張子：cpg)

[ページ] ファイルは、単独で作成されるものと、[作品] ファイルの一部として作成されるものとがあります。

[ページ] ファイル名のフォルダには、下記のものが入っています。

・[ページ] ファイル (拡張子：cpg)
・[ページ画像] ファイル (拡張子：jpg)
・[layer] フォルダ

[ページ] ファイル (拡張子：cpg) のアイコンをダブルクリックすると、[ページ] ウィンドウが開き、描画が行える状態になります。

ファイルの互換性について

ComicStudio の以前のバージョンとの互換性は以下のようになっています。

Ver.2.0、3.0 形式ファイルを Ver. 4.0 形式ファイルで保存する	Ver.2.0、3.0 形式ファイルは、Ver.4.0 で開けます。さらに保存することで、Ver.4.0 のファイルに変更できます。
Ver. 4.0 形式ファイルを Ver.2.0、3.0 形式ファイルで保存する	・Ver.4.0 では、[ファイル] メニューから [別名で保存 ...] を選択すると表示されるダイアログで、[複製を保存] をオンにした後、[互換形式で保存] をオンにし、[OK] ボタンをクリックすると、Ver.2.0、3.0 形式で保存できます。 ・用紙の基準解像度が 1200dpi および 600dpi に限り、Ver.2.0 形式に変換できます (Ver.2.0 は上記以外の基準解像度で用紙を作成すると変換が不可能になりますのでご注意ください)。

注意：

Ver.4.0 では、Ver.1.0 形式での保存はできません。

Ver.4.0 から Ver.2.0 への変換時のご注意点

・[ラスターレイヤー] の [仕上げ] 属性：ラスターペンレイヤーに変換されます。

・[ラスターレイヤー] の [下描き] 属性：ネームレイヤーに変換されます。ただし [グレー (8bit)] 設定で、[減色手法] に [トーン化] を選択している場合は [グレートーンレイヤー] に変換されます。([グレートーンレイヤー] は Debut2.0 では作成できないレイヤーなのでご注意ください)

・[ラスターレイヤー] の [黒白 (2bit)] 以外の属性：[ラスターペンレイヤー]、[黒白 (2bit)] に変換されます。

・[下絵レイヤー]：[下絵レイヤー] は、最初の一枚目だけ保存します。2 枚目以降の下絵レイヤーは無視されます (Ver.2.0 では下絵レイヤーは一枚しか作成できない仕様のため)。

・[テキストレイヤー] の白フチ文字：白フチの情報は破棄されます。

・[フキダシレイヤー]：フキダシ画像とテキストに分割されます。

・[コマフォルダ]：[コマグループレイヤー] に変換されます。

・[反転レイヤー]、[レイヤーフォルダ]、[テキストフォルダ]・[定規レイヤー] に配置した [放射線定規]・[平行線定規]・[パース定規]：破棄されます。

Ver.4.0 から Ver.3.0 への変換時のご注意点

・[ラスターレイヤー] と [ベクターレイヤー] の [カラー (32bit)] 以外の属性、[反転レイヤー]、[レイヤーフォルダ]、[テキストフォルダ]、[下絵レイヤー]：そのまま読み込まれます。

・[ラスターレイヤー] と [ベクターレイヤー] の [カラー (32bit)]：破棄されます。

・[フキダシレイヤー]：フキダシ画像とテキストに分割されます。

・[コマフォルダ]：[コマグループレイヤー] に変換されます。

・[放射曲線定規]・[同心円定規]・[対称定規]：破棄されます。

・ページ上にある [マスキングレイヤー]: 破棄されます。

・コマ上に 2 枚以上マスキングレイヤーがある場合、1 枚目を除いて破棄されます。

Step: 02

ファイルの新規作成

単ページの [ページ] ファイルと 、複数ページの [作品] ファイルの新規作成について説明します。

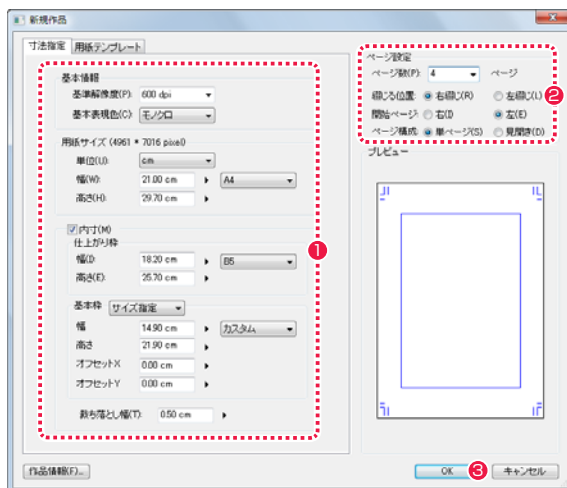
作品ファイルの新規作成

マンガ制作に必要な原稿用紙を、データファイルとして準備します。新規ファイルの作成にはそれぞれ、[寸法指定] で細部の設定を入力する方法と、すでに準備された [用紙テンプレート] から選択する方法があります。

寸法指定による新規作成

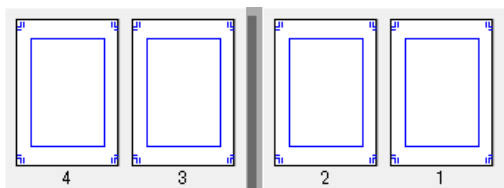
寸法を指定して、[作品] ファイルを作成します。

1. コマンドを選択する
[ファイル] メニューから [新規作成] → [作品 ...] を選択します。

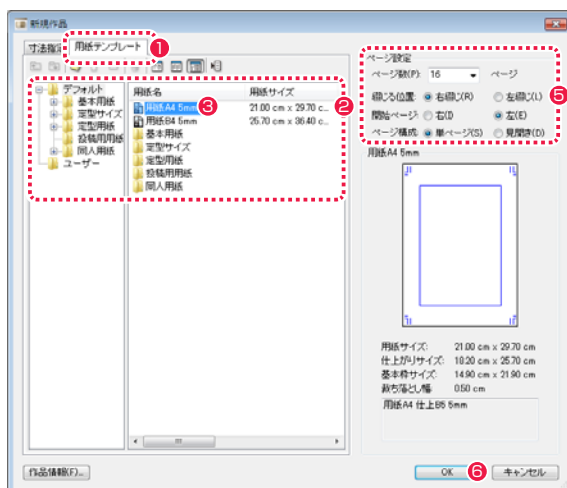
2. 設定を行う
[新規作品] ダイアログが表示されます。
([寸法指定タブ] が表示されていることを確認してください)

❶ 用紙サイズなどを設定します。

❷ ページ数などを設定します。

❸ [OK] ボタンをクリックします。

3.[作品] ファイルの作成が完了する
[作品] ファイルの作成が完了したら、開きたいページのサムネイルをダブルクリックすると [編集] ウィンドウの [ページ] タブが開き、描画が行える状態になります。

用紙テンプレートによる新規作成

[用紙テンプレート] から選択して、[作品] ファイルを作成します。

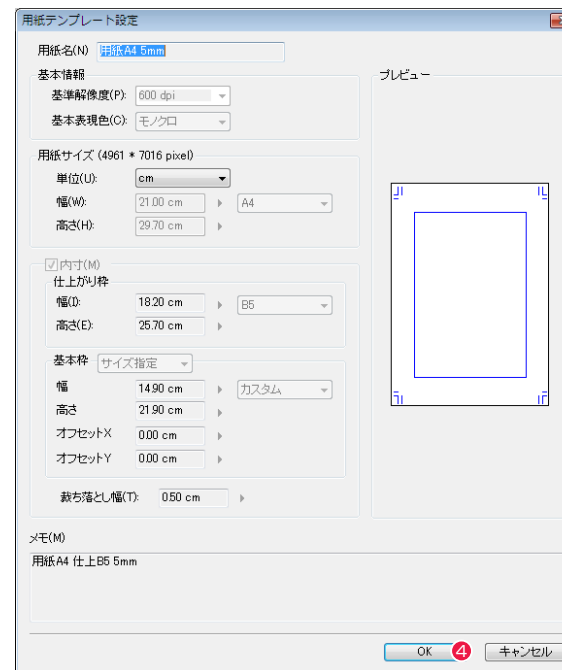
1. コマンドを選択する
[ファイル] メニューから [新規作成] → [作品 ...] を選択します。

2. 設定を行う
[新規作品] ダイアログが表示されます。

❶ [用紙テンプレート] タブを選択します。

❷ 左側のツリー表示部分からカテゴリを開き、右側のリストから [用紙テンプレート] ファイルを選択します。

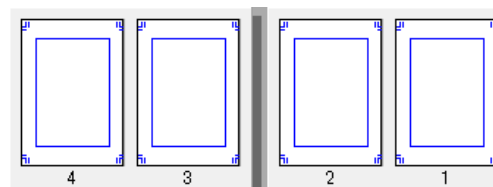
❸ [用紙テンプレート] ファイルをダブルクリックすると、[用紙テンプレート設定] ダイアログが表示され、設定を確認できます。

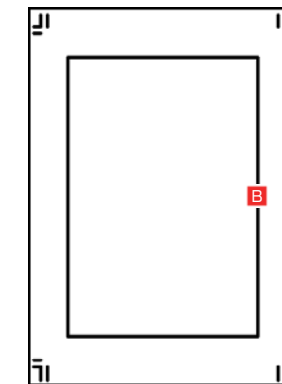
POINT

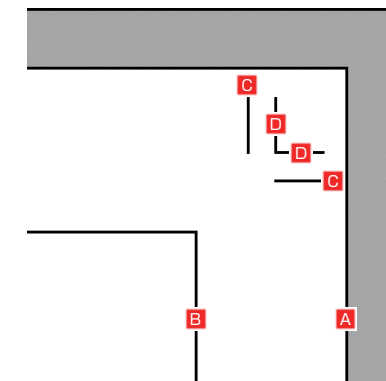
[新規作品] ダイアログの各項目については『[新規作品 / 新規ページ] ダイアログ [寸法指定] タブ』(⇒ P.33) を参照してください。

❹ [用紙テンプレート設定] ダイアログの [OK] ボタンをクリックします。

❺ ページ数などを設定します。

❻ [新規作品] ダイアログの [OK] ボタンをクリックします。

3.[作品] ファイルの作成が完了する
[作品] ファイルの作成が完了したら、開きたいページのサムネイルをダブルクリックすると [編集] ウィンドウの [ページ] タブが開き、描画が行える状態になります。

原稿用紙 (ページ) の各部名称

ComicStudio の原稿用紙には、コマを収める [基本枠]、本の裁ち位置を示す [仕上がり枠] や [裁ち落とし] があります。これらをまとめて [内寸] と呼びます。

A [用紙サイズ]
原稿用紙全体の大きさです。

B [基本枠]
コマを配置する基準となる枠です。

C [仕上がり枠]
印刷され本になったときに断裁されるラインです。
基本的にここまでの絵が印刷されます。

D [裁ち落とし]
本の断裁時に [仕上がり枠] のラインがずれた場合のための予備の領域です。ページの端いっぱいまで印刷したいときにはこのラインまで描画します。

POINT

・[ユーザー] フォルダに新規作成する [用紙テンプレート設定] は、後からでも [基準解像度] と [用紙サイズ] 以外の変更が可能ですが、[デフォルト] フォルダに収録されている鍵マークの付いた [用紙テンプレート設定] の各項目は変更できません。
・[新規作品] ダイアログの各項目については『[新規作品]/[新規ページ] ダイアログ [寸法指定] タブ』(⇒ P.33) を参照してください。
・[用紙テンプレート] のアイコンについては『[用紙テンプレート] タブで使用するボタン』(⇒ P.35) を参照してください。

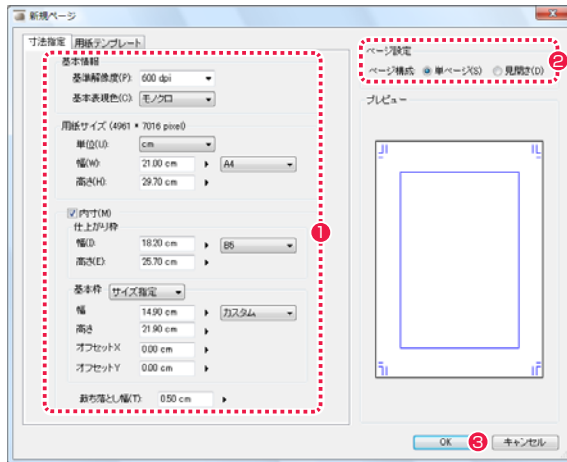
ページファイルの新規作成

マンガ制作に必要な原稿用紙を、データファイルとして準備します。新規ファイルの作成にはそれぞれ、[寸法指定] で細部の設定を入力する方法と、すでに準備された [用紙テンプレート] から選択する方法があります。

寸法指定による新規作成

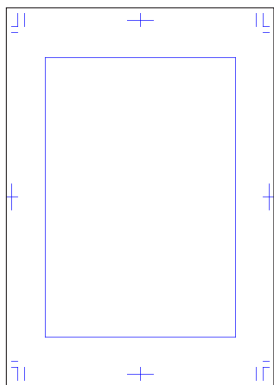
寸法を指定して、[ページ] ファイルを作成します。

1. コマンドを選択する
 [ファイル] メニューから [新規作成] → [ページ ...] を選択します。

2. 設定を行う
 [新規作品] ダイアログが表示されます。
 ([寸法指定タブ] が表示されていることを確認してください)

❶ 用紙サイズなどを設定します。

❷ [ページ構成] を選択します。

❸ [OK] ボタンをクリックします。

3.[ページ] ファイルの作成が完了する
 [ページ] ファイルの作成が完了すると [編集] ウィンドウの [ページ] タブが開き、描画が行える状態になります。

用紙テンプレートによる新規作成

[用紙テンプレート] から選択して、[ページ] ファイルを作成します。

1. コマンドを選択する
 [ファイル] メニューから [新規作成] → [ページ ...] を選択します。

2. 設定を行う
 [新規ページ] ダイアログが表示されたら、[用紙テンプレート] タブで設定を行います。

❶ [用紙テンプレート] タブを選択します。

❷ 左側のツリー表示部分からカテゴリを開き、右側のリストから [用紙テンプレート] ファイルを選択します。

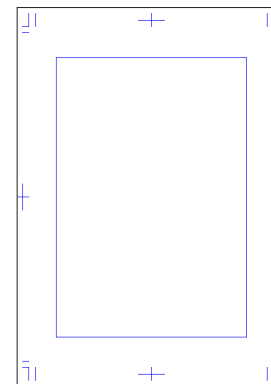
❸ [用紙テンプレート] ファイルをダブルクリックすると、[用紙テンプレート設定] ダイアログが表示され、設定を確認できます。

[新規ページ] ダイアログの各項目については「[新規作品 / 新規ページ] ダイアログ [寸法指定] タブ」(⇒ P.33) を参照してください。

❹ [用紙テンプレート設定] ダイアログの [OK] ボタンをクリックします。

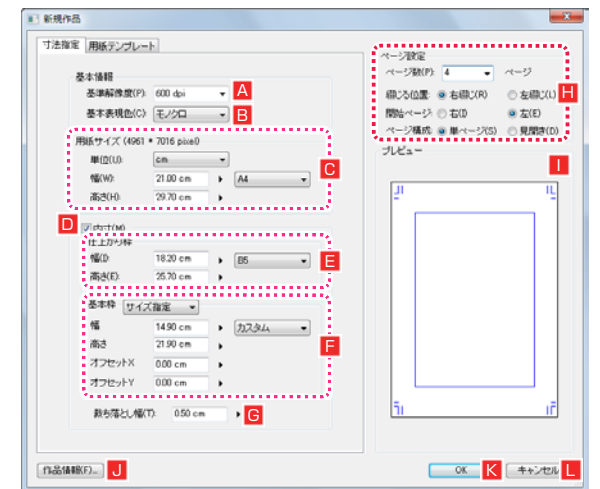
❺ [ページ構成] を選択します。

❻ [新規ページ] ダイアログの [OK] ボタンをクリックします。

3.[ページ] ファイルの作成が完了する
 [ページ] ファイルの作成が完了すると [編集] ウィンドウの [ページ] タブが開き、描画が行える状態になります。

POINT

・[ユーザー] フォルダに新規作成する [用紙テンプレート設定] は、後からでも [基準解像度] と [用紙サイズ] 以外の変更が可能ですが、[デフォルト] フォルダに収録されている鍵マークの付いた [用紙テンプレート設定] の各項目は変更できません。
・[新規ページダイアログの各項目については 「[新規作品]/[新規ページ] ダイアログ [寸法指定] タブ」(⇒ P.33) を参照してください。
・[用紙テンプレート] のアイコンについては「[用紙テンプレート] タブで使用するボタン」(⇒ P.35) を参照してください。

[新規作品 / 新規ページ] ダイアログ [寸法指定] タブ

[ファイル] メニューから [新規作成] → [作品 ...] または [ページ ...] を選択すると、[新規作品] ダイアログが表示されます。
[寸法指定] タブでは、細かくサイズを指定して、新規 [作品] や [ページ] を作成できます。

A [基準解像度]
原稿の解像度を 72 ～ 1200dpi から選択します。

B [基本表現色]
レイヤーの初期設定 [表現色] を、[モノクロ] または [カラー (32bit)] から選択します。

C [用紙サイズ]
原稿用紙の大きさを設定します。

・**[単位]**
長さの基本単位を選択します。[mm]･[cm]･[in](インチ)･[px](ピクセル)･[pt](ポイント) のいずれかから選択します。

・**[幅](用紙サイズ)**
原稿用紙の横の長さを各 3.0 ～ 42.0cm で設定します。

・**[高さ](用紙サイズ)**
原稿用紙の縦の長さを各 3.0 ～ 42.0cm で設定します。

・**[用紙サイズ] リスト**
原稿用紙の大きさを定型サイズから選択できます。[B4]･[B5]･[B6]･[A3]･[A4]･[A5]･[A6]･[ハガキ]･[カスタム] から選択できます。

D [内寸]
原稿用紙の内枠 (基本枠・仕上がり枠・裁ち落とし) の各サイズを設定し、ページ上にガイドラインを表示します。

E [仕上がり枠]
原稿用紙の仕上がり枠を設定します。

・**[幅]**
印刷されるサイズの横の長さを設定します。
[基本枠] サイズ以上～ [用紙サイズ] 以下を設定します。

・**[高さ]**
印刷されるサイズの縦の長さを設定します。
[基本枠] サイズ以上～ [用紙サイズ] 以下を設定します。

第2章 ファイル

・[仕上がり枠] リスト
仕上がり枠の大きさを定型サイズから選択できます。
[B4]・[B5]・[B6]・[A3]・[A4]・[A5]・[A6]・[ハガキ]・[カスタム] から選択できます。
[基本枠] サイズ以上～ [用紙サイズ] 以下を設定します。

F [基本枠]
原稿用紙の基本枠を設定します。

・[基本枠] リスト
コマを配置する基準となる [基本枠] の設定方法を選択します。
[サイズ指定] はサイズと位置で設定します。
[マージン指定] は上下左右からの位置で設定します。

※ [サイズ指定] の場合
・[幅]・[高さ]
[基本枠] の横の長さを設定します。

・[幅]・[高さ]
[基本枠] の縦の長さを設定します。

・[オフセット X]
[基本枠] の横の位置を設定します。

・[オフセット Y]
[基本枠] の縦の位置を設定します。

※ [マージン指定] の場合
・[天]
[基本枠] の上辺を用紙の上からの距離で指定します。

・[地]
[基本枠] の下辺を用紙の下からの距離で指定します。

・[ノド]
[基本枠] の右辺または左辺を、[綴じる位置] 方向からの距離で指定します。

・[小口]
[基本枠] の右辺または左辺を、外側 (綴じる位置の逆) 方向からの距離で指定します。

G [裁ち落とし幅]
裁ち落とし幅を、0.0 ～ 10.0cm の間で指定します。

H [ページ設定]
作品のページ数、綴じ方向、開始ページ、ページ構成を設定します。

・[ページ数] ([新規作品] ダイアログのみ)
作品のページ数を 1 ～ 99 ページから設定します。
リストでは [1]・[2]・[4]・[8]・[12]・[16]・[24]・[32] から選択できます。

・[綴じる位置] ([新規作品] ダイアログのみ)
本の綴じ方を [右綴じ] か [左綴じ] か選択します。

・[開始ページ] ([新規作品] ダイアログのみ)
作品の開始ページを [右] 開始か [左] 開始かを選択します。

・[ページ構成]
ページ構成を [単ページ] にするか [見開き] にするかを選択します。

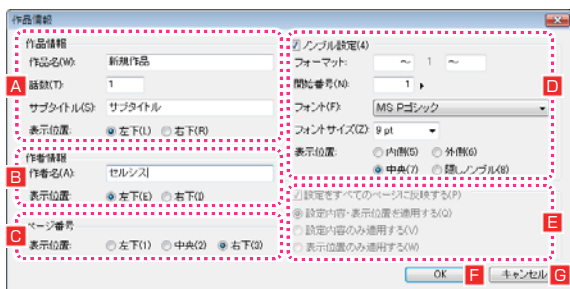
I [プレビュー]
[新規作品] ダイアログまたは [新規ページ] ダイアログで設定した用紙のイメージが表示されます。

J [作品情報 ...] ボタン ([新規作品] ダイアログのみ)
[作品情報] ダイアログを表示し、[作品情報]・[作者情報]・[ページ番号]・[ノンブル設定] などを設定します。

K [OK] ボタン
設定を反映し、[新規作品] ダイアログまたは [新規ページ] ダイアログを閉じます。

L [キャンセル] ボタン
設定をキャンセルし、[新規作品] ダイアログまたは [新規ページ] ダイアログを閉じます。

[作品情報] ダイアログ

[ファイル] メニューから [新規作成] → [作品 ...] を選択して表示した [新規作品] ダイアログの [作品情報 ...] ボタンをクリックすると、[作品情報] ダイアログが表示されます。
[作品情報]・[作者情報]・[ページ番号]・[ノンブル設定] などを設定できます。

A [作品情報]
[作品名]・[話数]・[サブタイトル] を入力し、その [表示位置] を [左下]・[右下] から選択します。

B [作者情報]
[作者名] とその [表示位置] を [左下]・[右下] から選択します。

C [ページ番号]
ComicStudio の [作品] 内で順番に割り振られるページ番号の表示位置を [左下]・[中央]・[右下] から選択します。

D [ノンブル設定]
本になったときの実際のページ番号 (ノンブル) を表示・設定します。

・[フォーマット]
ノンブルを両側から挟む装飾文字を入力します。

・[開始番号]
ノンブルの開始数字を入力します。

・[フォント]
ノンブルに使用するフォントを選択します。

・[フォントサイズ]
ノンブルのサイズを設定します。

・[表示位置]
ノンブルの表示位置を [内側]・[外側]・[中央]・[隠しノンブル] から選択します。

E [設定をすべてのページに反映する]
設定した情報と [表示位置] を、選択したルールに従って全ページに反映させます。
[設定内容・表示位置を適用する]・[設定内容のみ適用する]・[表示位置のみ適用する] の 3 種から選択します。

F [OK] ボタン
設定を反映し、ダイアログを閉じます。

G [キャンセル] ボタン
設定をキャンセルし、ダイアログを閉じます。

[用紙テンプレート] タブで使用するボタン

[ファイル] メニューから [新規作成] → [作品 ...] または [ページ ...] を選択すると、[新規作品] ダイアログが表示されます。
その [用紙テンプレート] タブで使用するボタンの機能を説明します。

A [上へ]
上の階層のフォルダへ移動します。

B [下へ]
下の階層のフォルダへ移動します。

C [用紙の設定]
確認用の [用紙テンプレート設定] ダイアログを表示します。
ダイアログの各項目については『[新規作品]/[新規ページ] ダイアログ [寸法指定] タブ』(⇒ P.33) を参照してください。

D [用紙の新規作成]
新規作成用の、各項目が入力可能な [用紙テンプレート設定] ダイアログを表示します。
ダイアログの各項目については『[新規作品]/[新規ページ] ダイアログ [寸法指定] タブ』(⇒ P.33) を参照してください。

E [新規フォルダ作成]
現在の階層に新規フォルダを作成します。

F [削除]
選択しているフォルダや [用紙テンプレート] を削除します。

G [アイコン] W
右側に表示される [用紙テンプレート] ファイルやフォルダを大きいアイコンで表示します。

H [一覧] W
右側に表示される [用紙テンプレート] ファイルやフォルダのアイコンと [用紙名] を一覧表示します。

I [詳細] W
右側に表示される [用紙テンプレート] ファイルやフォルダのアイコンと [用紙名]・[用紙サイズ]・[基準解像度]・[仕上がりサイズ]・[基本枠サイズ]・[裁ち落とし幅] を一覧表示します。

J [メニュー表示]
用紙設定メニューを表示します。

Step: 03 ファイルの保存

[作品] ファイルまたは [ページ] ファイルの保存方法には、[保存]・[別名で保存]・[すべて保存] があります。

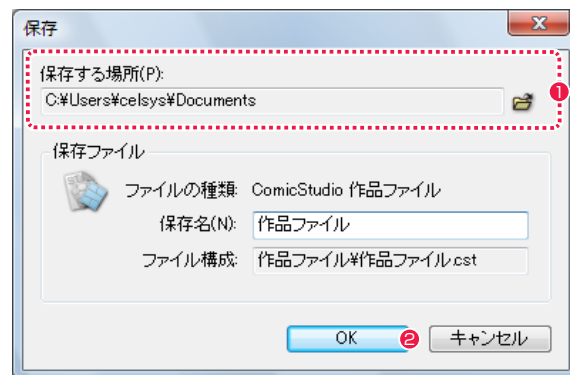
注意：重要

[ページ] を開いているときは [ページ] ファイルのみが、[作品] ファイルのみが開いているときは [作品] ファイルが保存の対象になります。

保存

[作品] ファイルまたは [ページ] ファイルを、同じファイルに上書き保存します。初回のみファイル名や保存場所をダイアログで設定します。

1. コマンドを選択する
[作品] ファイルを開いた状態で、[ファイル] メニューから [保存] を選択します。

2. 設定を行う
通常はコマンドを選択した時点で上書き保存が完了しますが、初回実行時のみ [保存] ダイアログが表示されます。

❶ [保存する場所] を確認します。

❷ [OK] ボタンをクリックします。

3. 保存が完了する
ファイルが保存されました。

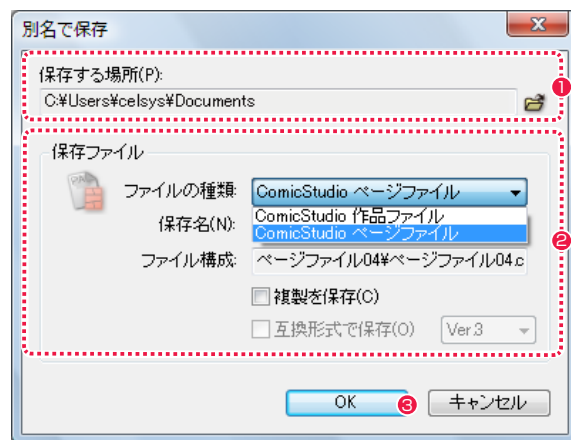
POINT

[作品] ファイルや [ページ] ファイルを保存すると、初期設定では以下に保存されます。
Vista : [スタート] ボタン→ [ドキュメント]
XP : [スタート] ボタン→ [マイドキュメント]
Mac OS X : [Macintosh HD] アイコン→ [ユーザ] → [(ユーザ名)] → [書類]

別名で保存

[作品] ファイルまたは [ページ] ファイルを、以前保存した同ファイルとは別のファイルとして、別名で保存します。

1. コマンドを選択する
ファイルを開いた状態で、[ファイル] メニューから [別名で保存 ...] を選択します。

2. 設定を行う
[保存] ダイアログが表示されます。

❶ [保存する場所] を確認します。

❷ 保存するファイル名や保存形式を設定します。保存済みの [作品] ファイルのページを開いているときは、[ファイルの種類] で [ComicStudio 作品ファイル] と [ComicStudio ページファイル] のいずれかを指定できます。

❸ [OK] ボタンをクリックします。

3. 保存が完了する
ファイルが別名で保存されました。

[保存] ダイアログ

・**[保存名]**
保存するファイル名を入力します。

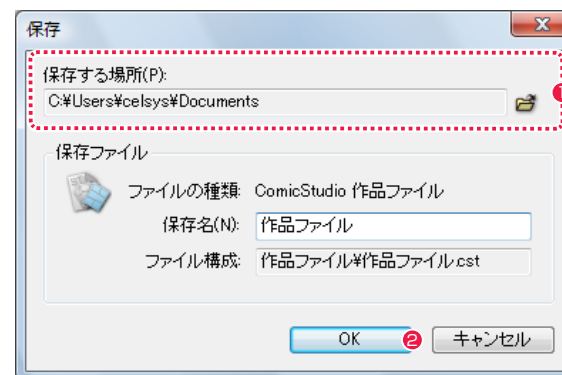
・**[複製を保存]**
編集中のファイルの複製を別名で保存します。
オフの場合は、編集中のファイルが別名で保存したファイルに切り替わります。

・**[互換形式で保存]**
ComicStudio の旧バージョンの対応ファイルとして [作品] ファイルまたは [ページ] ファイルの複製を保存します。
[複製を保存] をオンにすると選択できます。
[Ver.3] または [Ver.2] 形式を選択します。

すべて保存

開かれている、すべての [ページ] ファイルおよび [作品] ファイルを上書き保存します。
それまで保存していなかったファイルは、ファイル名や保存場所をダイアログで設定します。

1. コマンドを選択する
[ファイル] メニューから [すべて保存] を選択します。

2. 設定を行う
通常はコマンドを選択した時点で上書き保存が完了しますが、初回実行時のみ [保存] ダイアログが表示されます。

❶ [保存する場所] を確認します。

❷ [OK] ボタンをクリックします。

3. 保存が完了する
[作品] ファイルまたは [ページ] ファイルが保存されました。

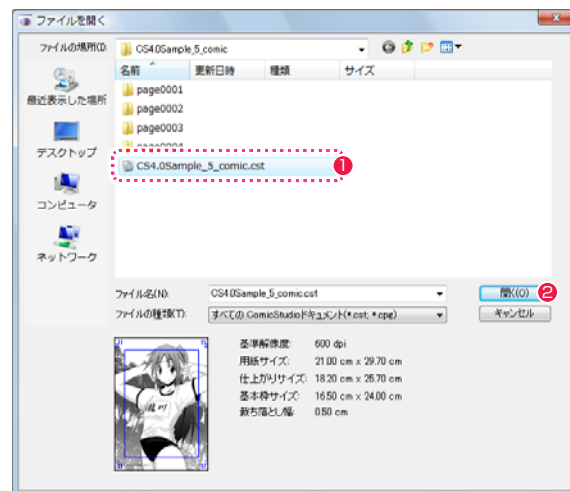
Step: 04 作品ファイルの管理

[作品] ファイルまたは [ページ] ファイルの操作を紹介します。

ファイルを開く

保存した [作品] ファイルまたは [ページ] ファイルを開く方法を紹介します。

1. コマンドを選択する
[ファイル] メニューから [開く ...] を選択します。

2. ファイルを選択する
[ファイルを開く] ダイアログが表示されます。

❶ [作品] ファイルまたは [ページ] ファイルを選択します。

❷ [開く] ボタンをクリックします。

3. ファイルが開く
ファイルが開きました。

最近使ったファイルを開く

最近使用した [ページ] ファイルまたは [作品] ファイルを一覧表示し、選択したファイルを開いて編集できます。
[ファイル] メニューから [最近使ったファイル] を選択して実行します。

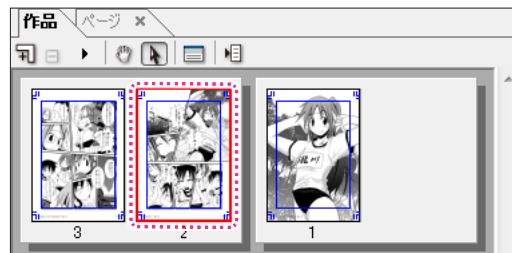
復帰

編集中のファイルの内容を、最後に保存した状態に戻します。
現在の編集内容は破棄されます。
[ファイル] メニューから [復帰 ...] を選択して実行します。

ページを開く・ページを閉じる

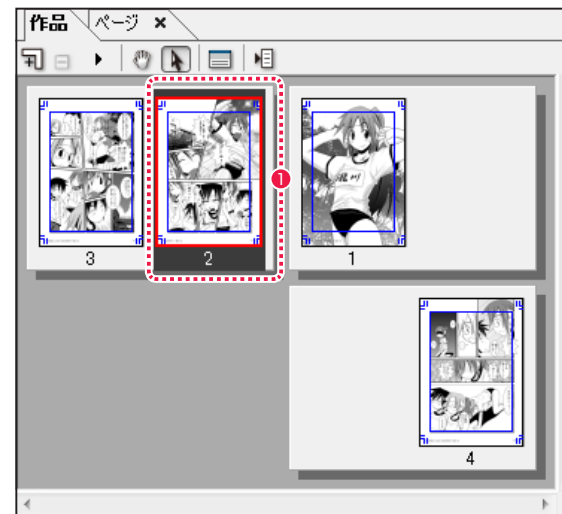
[編集] ウィンドウの [作品] タブで、ページを開いたり閉じたりできます。ここでは、[ページを開く] 方法を紹介します。

ページを開く

1. ページを選択する
[編集] ウィンドウの [作品] タブで 、ページのサムネイルをクリックして選択します。

2. コマンドを選択する
[作品] メニューから [ページを開く] を選択します。

3. ページが開く
[編集] ウィンドウが [ページ] タブに切り替わり、ページが開きました。

> **POINT**
> [編集] ウィンドウの [ページ] のサムネイルをダブルクリックした場合も、[ページ] が開きます。

4. ページを確認する
[編集] ウィンドウの [作品] タブに切り替えると、現在開いているページのサムネイルを黒い太枠で囲んで表示します。

❶ 現在２ページ目が開かれているので、２ページ目が黒い太枠で囲まれているのが確認できます。

ページを閉じる

[編集] ウィンドウの [ページ] タブで、[作品] メニューから [ページを閉じる] を選択すると、ページが閉じ [作品] タブに戻ります。

次のページへ・前のページへ

[作品] ファイルを開き、[編集] ウィンドウの [ページ] タブを開いた状態で、次のページや前のページへ移動できます。

次のページへ

1. ページを開く
[編集] ウィンドウの [ページ] タブに 、ページを開きます。

2. コマンドを選択する
[作品] メニューから [次のページへ] を選択します。

3. 次のページが開く
[編集] ウィンドウの [ページ] タブに、次のページが開きました。

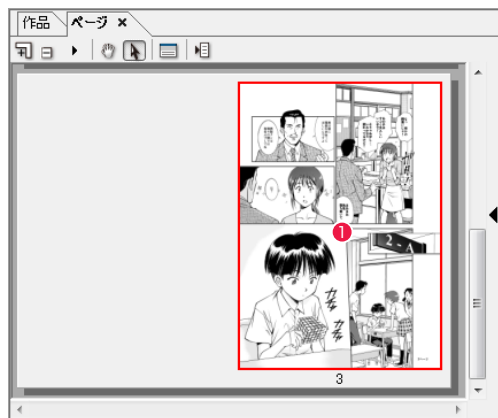
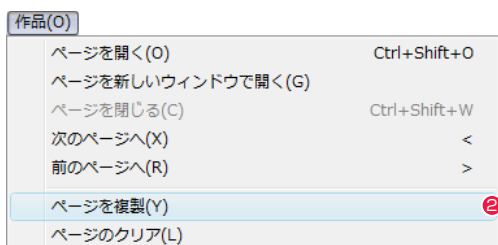
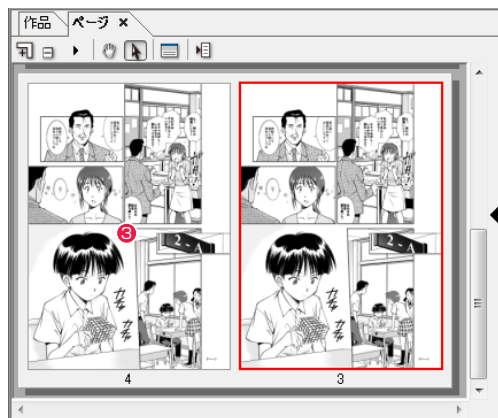
前のページへ

[作品] メニューから [前のページへ] を選択すると、前のページに移動します。

> **POINT**
> [次のページへ] を実行した時に次のページがない場合は、新規にページを挿入します。

ページを複製

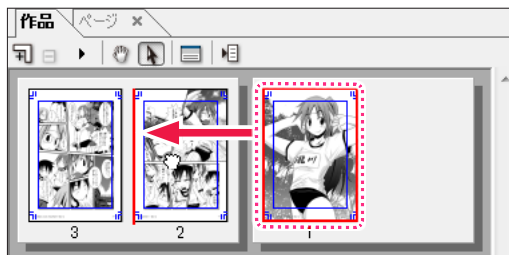
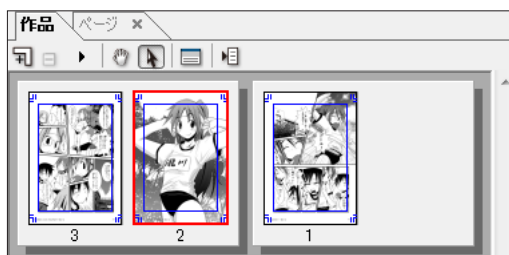
[作品] ファイルを開き、[編集] ウィンドウでページのサムネイルを表示している場合、次の画面でページを複製できます。

- [編集] ウィンドウの [作品] タブ
- [編集] ウィンドウの [ページ] タブ→ [ページ一覧]
  [ページ一覧] は [作品] メニューから [表示] → [ページ一覧] の順に選択すると、表示されます。

❶ 複製したいページのサムネイルを選択します。

❷ [作品] メニューから [ページを複製] を選択します。

❸ 選択したページが複製されます。

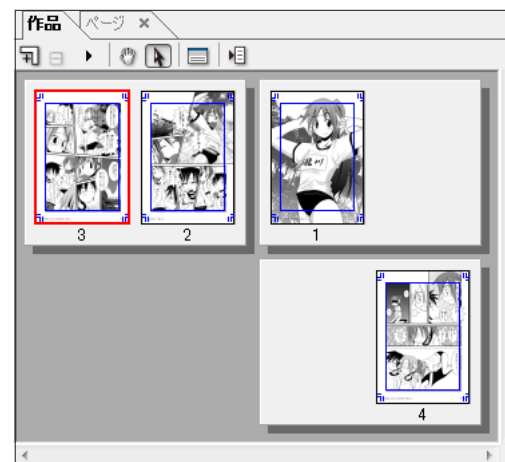
ページの入れ替え

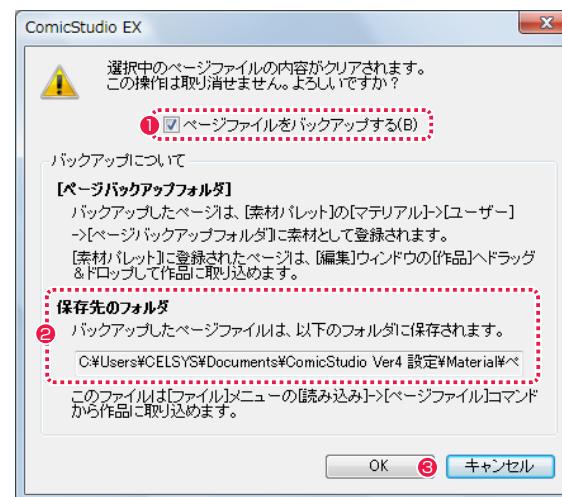
ページを入れ替えて、順番を変更できます。

1. ページを選択する
[編集] ウィンドウの [作品] タブで、ページを選択します。

2. ページを入れ替える
選択したページを、入れ替えたい場所にドラッグして移動します。このとき、サムネイルの間に赤い線が表示されます。

3. 移動が完了する
ドロップするとページが移動し、順番が入れ替わります。

ページのクリア

[作品] ファイルから [ページ] ファイルの内容のみを削除します。

1. ページを選択する
[編集] ウィンドウの [作品] タブで、ページを選択します。

2. コマンドを選択する
[作品] メニューから [ページのクリア] を選択します。

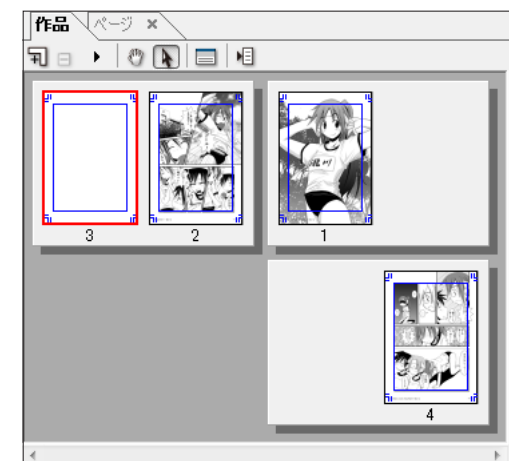
3. メッセージを確認する
メッセージが表示されます。ページファイルをバックアップする場合は、下記の手順で行います。ここでは Pro/EX での操作方法を説明します。

❶ [ページファイルをバックアップする] をオンにします。

❷ [保存先のフォルダ] を確認します。

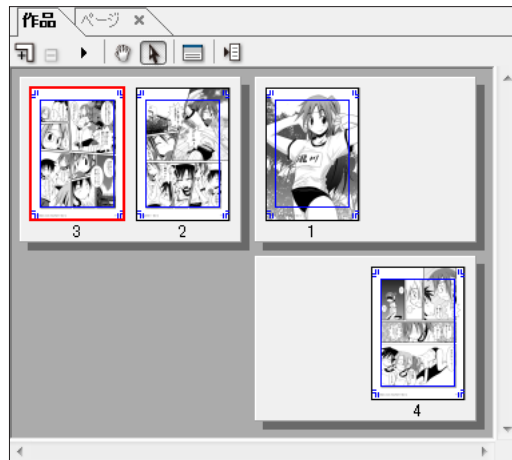
❸ [OK] ボタンをクリックします。ページファイルの内容が [素材] パレットにバックアップされます。

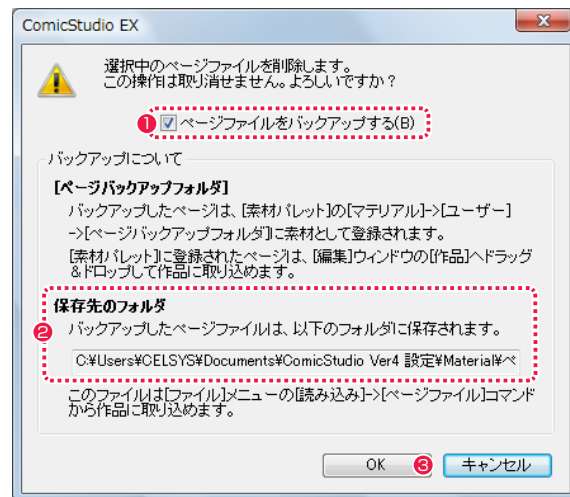
POINT

Debut の場合は、[ページファイルをバックアップする] をオンにすると、ページファイルの内容を素材として [保存先のフォルダ] に表示されているフォルダに保存します。

4. クリアが完了する
選択した [ページ] ファイルの内容のみがクリアされました。

ページの削除

[作品] ファイルから [ページ] ファイル自体を削除できます。

1. ページを選択する
[編集] ウィンドウの [作品] タブで、ページを選択します。

2. コマンドを選択する
[作品] メニューから [ページの削除] を選択します。

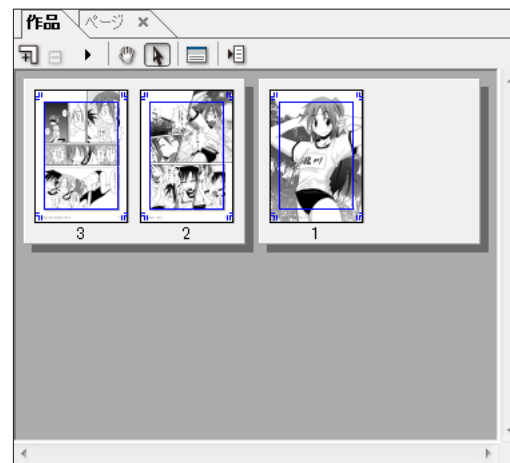
3. メッセージを確認する
メッセージが表示されます。ページファイルをバックアップする場合は、下記の手順で行います。ここでは Pro/EX での操作方法を説明します。

❶ [ページファイルをバックアップする] をオンにします。

❷ [保存先のフォルダ] を確認します。

❸ [OK] ボタンをクリックします。ページファイルの内容が [素材] パレットにバックアップされます。

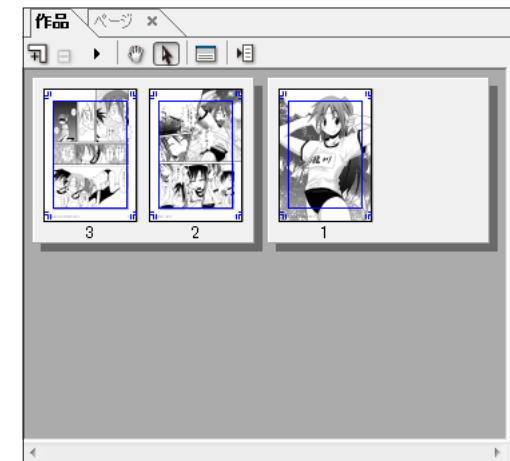
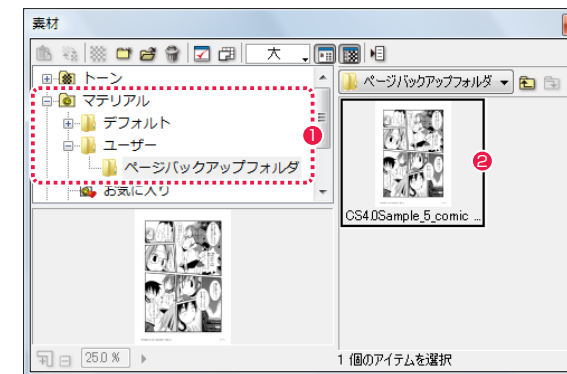
POINT

Debut の場合は、[ページファイルをバックアップする] をオンにすると、ページファイルの内容を素材として [保存先のフォルダ] に表示されているフォルダに保存します。

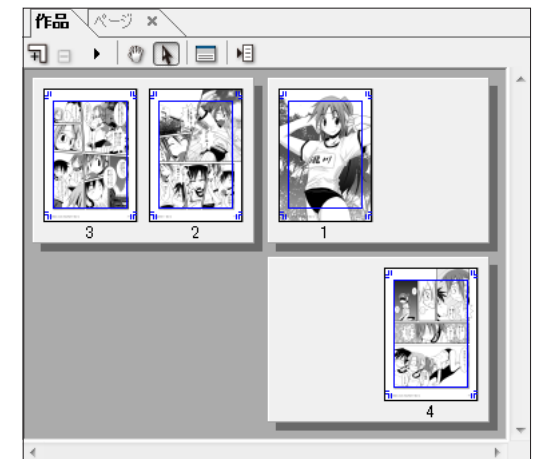
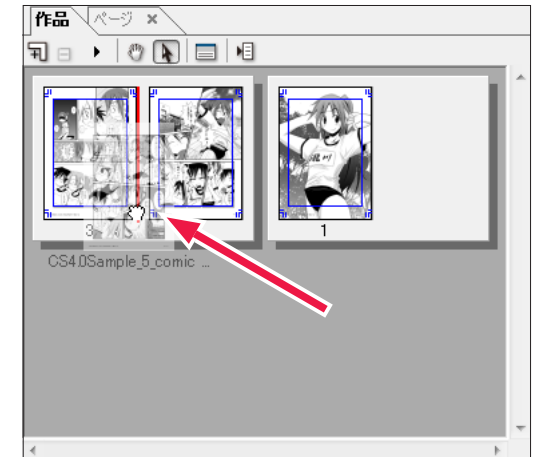
4. クリアが完了する
選択した [ページ] が削除されました。

バックアップしたページの取り込み【Pro/EX】

ComicStudio Pro/EX でバックアップした [ページ] ファイルは、[素材] パレットに素材として登録されます。登録された [ページ] ファイルを [作品] ファイルに取り込むことができます。

注意：
Debut の場合は、バックアップしたページファイルは [ファイル] メニューから取り込めます。詳しくは、『Step06 読み込み』→『ページファイルの読み込み』（⇒ P.52）を参照してください。

1. 作品タブを選択する
[編集] ウィンドウの [作品] タブを選択します。

2. ページファイル素材を選択する
[ウィンドウ] メニュー→ [素材] を選択し、[素材] パレットを開きます。

❶ [素材] パレットの [マテリアル] → [ユーザー] → [ページバックアップフォルダ] を選択します。

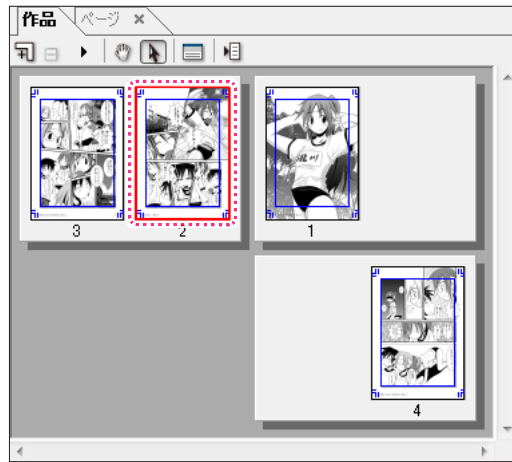
❷ バックアップしたページファイル素材を選択します。

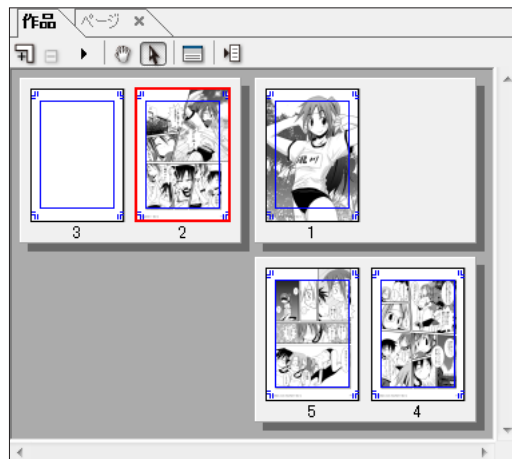
3. ドラッグ＆ドロップする
[素材] パレットからページファイル素材を、[作品] タブの [ページ一覧] の挿入したい位置にドラッグ＆ドロップすると、ページファイルが挿入され、取り込みが完了します。

ページの挿入

新しいページを挿入できます。挿入するページの用紙設定は、現在のファイルと用紙設定が同じ場合の方法と異なる場合の方法があります。

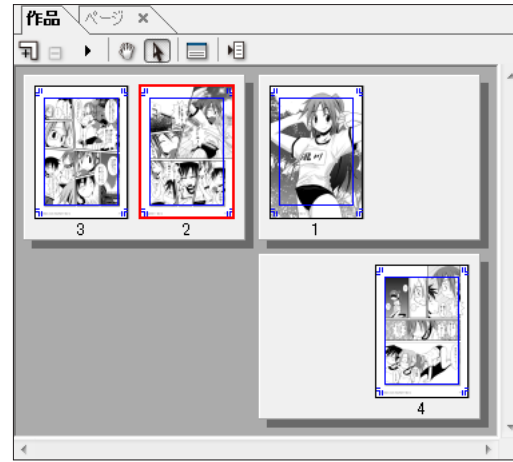
新規ページの挿入

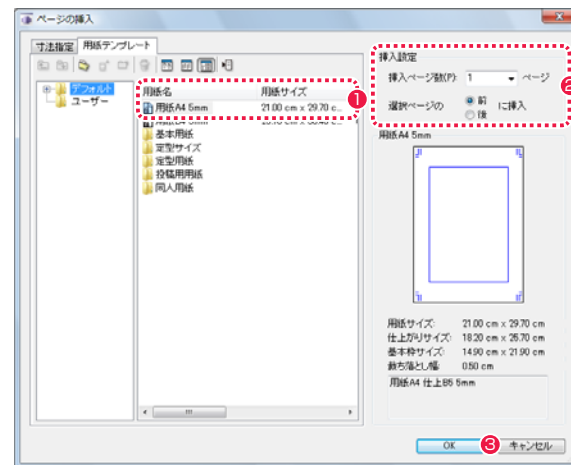
現在のファイルと同じ用紙設定の新しい [ページ] ファイルを挿入します。

1. ページを選択する
[編集] ウィンドウの [作品] タブで、ページを選択します。

2. コマンドを選択する
[作品] メニューから [新規ページの挿入] を選択します。

3. 挿入が完了する
選択した [ページ] ファイルの次のページに、同じ用紙設定の新しい [ページ] ファイルが挿入されました。

用紙を選択して挿入

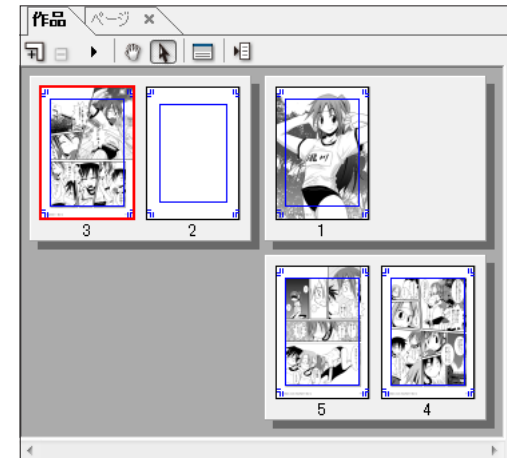
現在のファイルと異なる用紙設定の新しい [ページ] ファイルを挿入します。

1. ページを選択する
[編集] ウィンドウの [作品] タブで、ページを選択します。

2. コマンドを選択する
[作品] メニューから [用紙を選択して挿入 ...] を選択します。

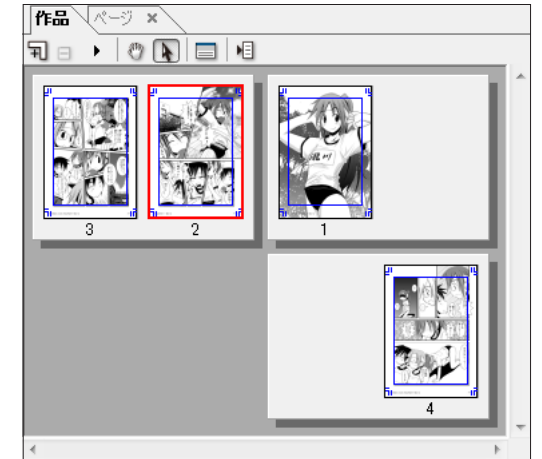
3. 用紙を選択する
[ページの挿入] ダイアログから、用紙を選択します。

❶ 用紙を選択します。

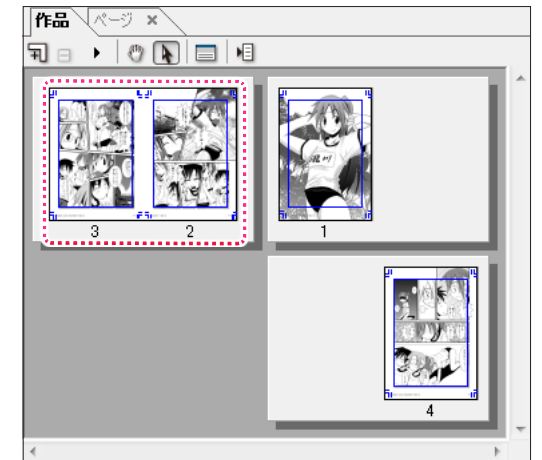
❷ ページ数と挿入位置を設定します。

❸ [OK] ボタンをクリックします。

4. 挿入が完了する
選択した [ページ] ファイルの次のページに、[ページの挿入] ダイアログで選択した新しい用紙が挿入されました。

ページを見開きにする【Pro/EX】

[作品] ファイルの、連続した 2 つのページファイルを [見開きページ] に合体させます。

1. ページを選択する
[編集] ウィンドウの [作品] タブで、隣のページと合体させたいページを選択します。

2. コマンドを選択する
[作品] メニューから [ページを見開きにする] を選択します。メッセージが表示されたら、[はい] ボタンをクリックします。

3. 合体が完了する
２つの [ページ] ファイルが合体し、見開きページになります。

ページを単ページにする【Pro/EX】

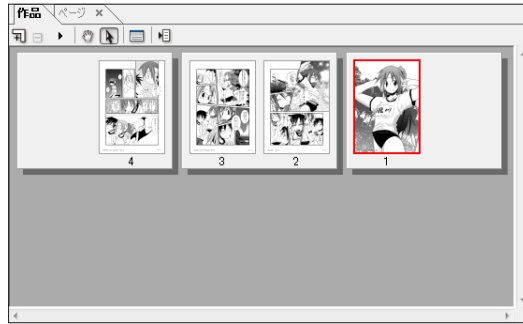
[編集] ウィンドウの [作品] タブから見開きが設定されたページを選択し、[作品] メニューから [ページを単ページにする] を選択すると、見開きページを単ページに分離できます。

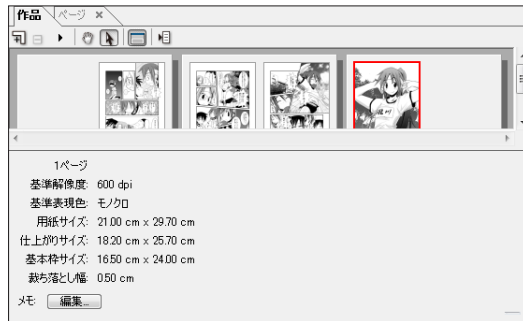
トンボを合わせる【Pro/EX】

[編集]ウィンドウの[ページ]タブの見開きページに対して、[編集]メニューから [トンボを合わせる ...] を選択すると、トンボの合わせを調整できます。

ページ情報を表示

[ページ一覧]に[ページ情報]を表示します。[ページ情報]の表示、非表示は切り替えできます。

1.[作品] タブを開く
[編集] ウィンドウの [作品] タブを開きます。

2. コマンドを選択する
[作品] メニューから [表示] → [ページ情報] を選択し、チェックマークを付けます。

3. 表示が切り替わる
[ページ一覧] の下部に [ページ情報] が表示されます。

POINT

[作品] メニューでのコマンド操作は、同じ操作を繰り返すたびに表示・非表示が切り替わります。チェックマークが表示されていると有効です。

タイトルバー・ステータスバー

編集ウィンドウのタイトルバーとステータスバーに、それぞれ情報が表示されます。

A [タイトルバー]
現在開いているファイルのファイル名、ページ数、用紙サイズ、解像度の情報を表示します。

B [ステータスバー] W
[ツール] パレットのツールを選択しているときに、現在選択しているツールから他のツールに一時的に切り替えるためのショートカットキー情報を表示します。

トンボ・基本枠を表示

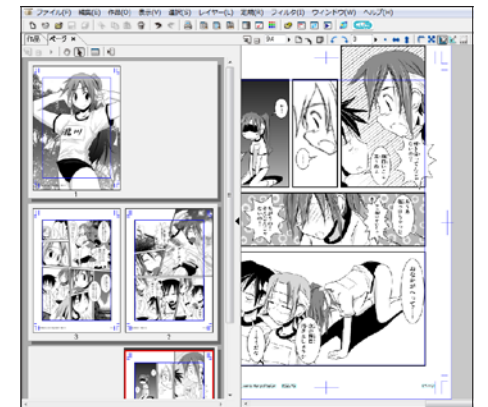
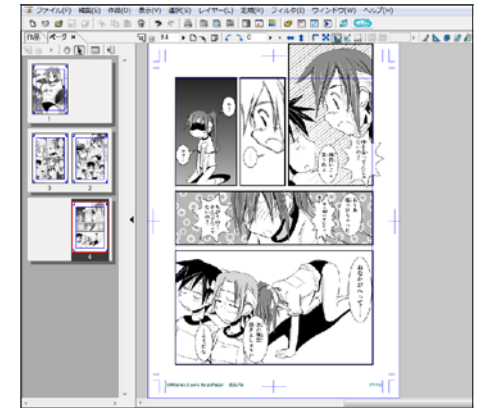
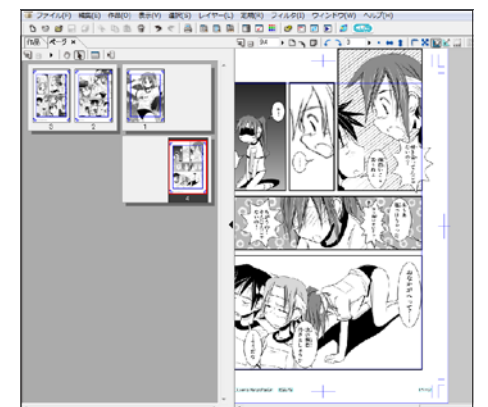
[ページ一覧] に表示されるサムネイルの [トンボ・基本枠] の表示、非表示を切り替えできます。

1.[作品] タブを開く
[編集] ウィンドウの [作品] タブを開きます。

2. コマンドを選択する
[作品]メニューから[表示]→[トンボ・基本枠]を選択し、チェックマークを付けます。

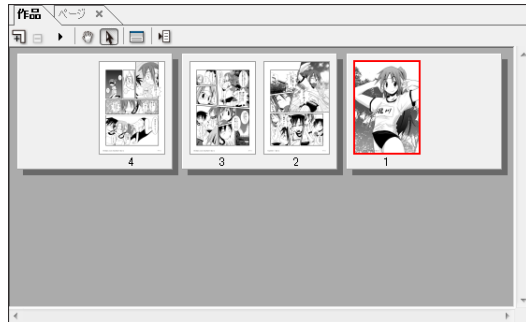
3. 表示が切り替わる
[ページ一覧]のサムネイルに[トンボ・基本枠]が表示されます。

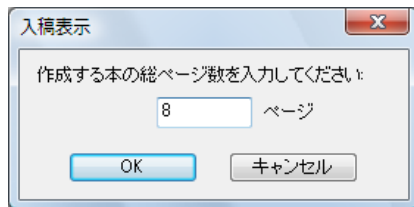
表示倍率をビューの幅に合わせる

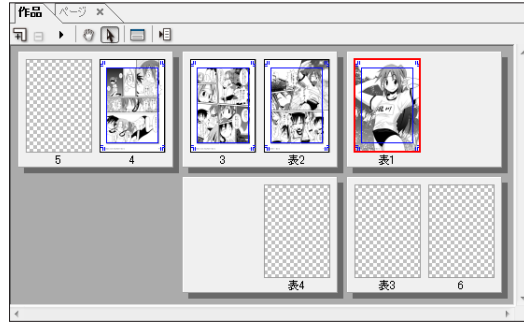
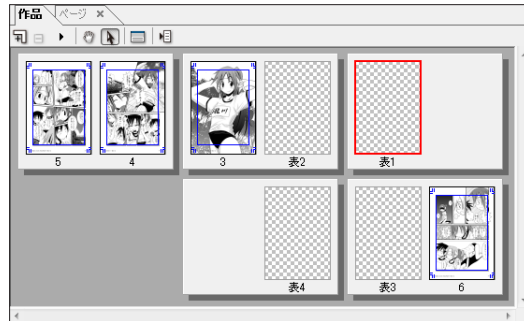
[ページ一覧] に表示されるサムネイル表示の倍率が、[ページ一覧] の幅に常に合わせて変化します。
[作品] メニューから、[表示] → [表示倍率をビューの幅に合わせる] を選択すると実行します。

[表示倍率をビューの幅に合わせる] を選択した場合
サムネイル表示の倍率が、[ページ一覧] の幅に常に合わせて変化します。

[表示倍率をビューの幅に合わせる] を選択しない場合
サムネイル表示の倍率が、常に一定になります。

入稿表示に切り替える

実際の本を想定して、ページ構成を指定できます。

1.[作品] タブを開く
[編集] ウィンドウの [作品] タブを開きます。

2. コマンドを選択する
[作品] メニューから [表示] → [入稿表示] を選択します。

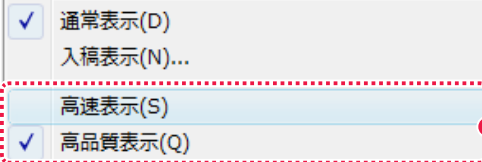
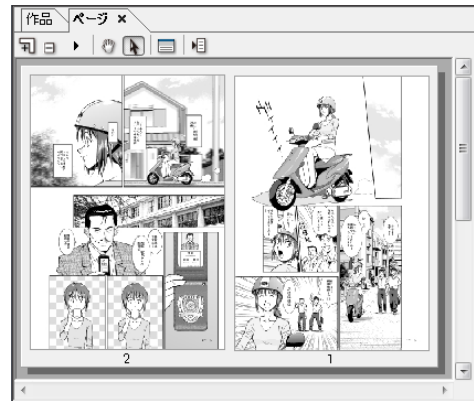
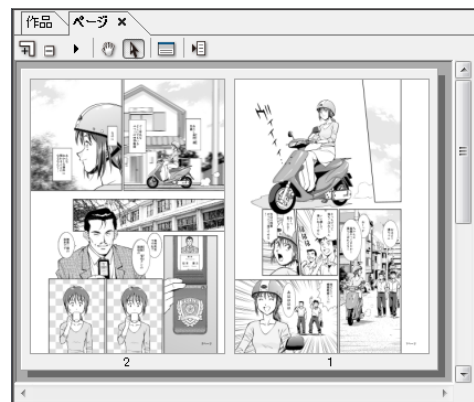
3. ページ数を設定する
[入稿表示] ダイアログが表示されたら、ページ数を入力して [OK] ボタンをクリックします。
ページ数は本文のページ数に、表紙･裏表紙などの 4 ページ (表 1 〜表 4) を追加した値を入力してください。

[入稿表示] ダイアログで設定するページ数は最低限、表 1(表紙表)･表 2(表紙裏)･表 3(裏表紙裏)･表 4(裏表紙表) の 4 ページが必要なので、必ず 4 ページ以上の偶数で指定してください。

4. 表示が切り替わる
[ページ一覧] が入稿表示に切り替わります。

5. ページの順番を調整する
必要に応じて、ページの順番を入れ替えて調整します。ページの順番はサムネイルをドラッグすると入れ替えできます。

通常表示に切り替える

[作品] メニューから [通常表示] を選択すると、[入稿表示] から [通常表示] に戻ります。

高速表示・高品質表示

[編集] ウィンドウで表示するページのサムネイル画像の品質を、[高速表示] と [高画質表示] のいずれかに切り替えられます。

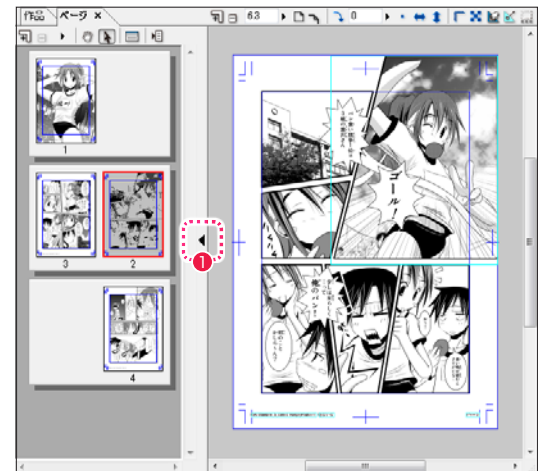
[高速表示] と [高画質表示] 機能は、[作品] ファイルを開いているときに意味をなす機能です。単独の [ページ] ファイルを開いているときには使用できません。

❶ [作品] メニューから [表示] を選択し、[高速表示] または [高品質表示] のいずれかを選択します。

[高速表示] を選択した場合
サムネイルの表示が荒くなりますが、表示速度が速くなります。

[高品質表示] を選択した場合
サムネイルの表示がきれいに表示されますが、表示速度が遅くなります。

ページタブにページ一覧を表示

[編集] ウィンドウの [ページ] タブで、[ページ一覧] の表示、非表示を切り替えできます。

1. ページを開く
[編集] ウィンドウの [ページ] タブで 、ページを開きます。

2. コマンドを選択する
[作品] メニューから [表示] → [ページ一覧] を選択し、チェックマークを付けます。

3. 表示が切り替わる
[ページ一覧] が表示されました。

❶ 三角マークをクリックして、[ページ一覧] の表示、非表示を切り替えることもできます。

Step: 05 用紙

用紙の各種設定を変更できます。

作品情報の変更

[作者名][作品名] など [作品] ファイルの作品情報を変更します。

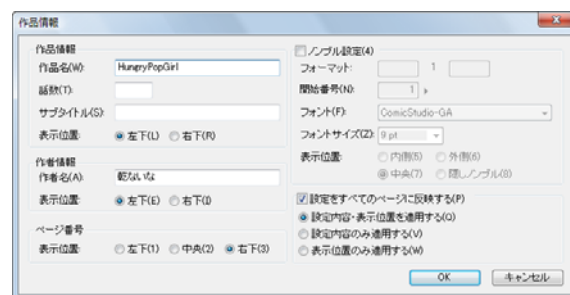
1.[作品] ファイルを開く

[編集] ウィンドウの [作品] タブで、[作品] ファイルを開きます。

2. コマンドを選択する

[作品] メニューから [作品情報の変更 ...] を選択します。

3. 情報を変更する

[作品情報] ダイアログが表示されたら、作品情報を設定して [OK] ボタンをクリックします。

4. 変更が完了する

作品情報の変更が完了しました。

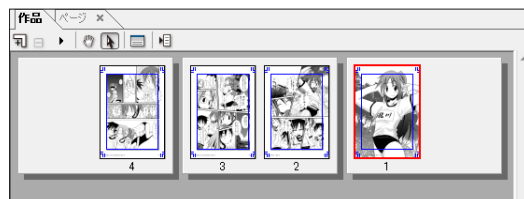
POINT

作品情報は、[新規作品] ダイアログの [作品情報 ...] ボタンを押しても設定できます。

綴じ位置・開始ページの変更

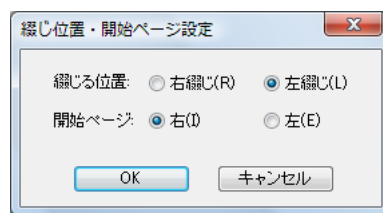
[作品] ファイルの綴じ位置、開始ページを変更できます。

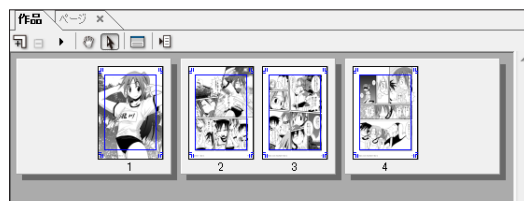
1.[作品] ファイルを開く

[編集] ウィンドウの [作品] タブで、[作品] ファイルを開きます。

2. コマンドを選択する

[作品] メニューから [綴じ位置・開始ページの変更 ...] を選択します。

3. 綴じ位置・開始ページを変更する

[綴じ位置・開始ページ設定] ダイアログが表示されたら、設定を変更して [OK] ボタンをクリックします。

4. 変更が完了する

[綴じる位置] が [左綴じ]、[開始ページ] が [右] になり、変更が完了しました。

POINT

綴じ位置・開始ページは『Step:02 ファイルの新規作成』→『作品ファイルの新規作成』→『寸法指定による新規作成』(⇒ P.30) でも設定できます。

用紙ガイドの変更

[作品] ファイルの用紙ガイドの変更には、全ページを変更する方法と選択ページを変更する方法があります。

用紙ガイドの変更 (全ページ)

[作品] ファイルの全ページの用紙ガイドを変更できます。

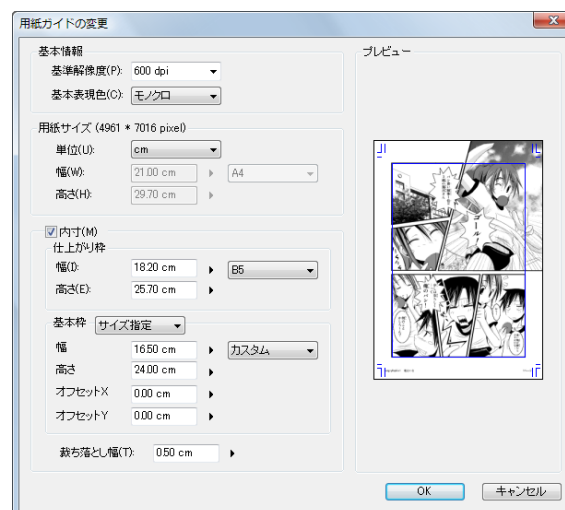
1.[作品] ファイルを開く

[編集] ウィンドウの [作品] タブで、[作品] ファイルを開きます。

2. コマンドを選択する

[作品] メニューから [用紙ガイドの変更 (全ページ)...] を選択します。

3. 設定を変更する

[用紙ガイドの変更] ダイアログが表示されたら、設定の変更を行い、[OK] ボタンをクリックします。

4. 変更が完了する

用紙ガイドの変更が完了します。[ページ一覧] で確認できます。

用紙ガイドの変更 (選択ページ)

[作品] メニューから [用紙ガイドの変更 (選択ページ)...] を選択した場合は、ページのみの用紙ガイドを変更できます。

POINT

[ページ] ファイルは、用紙ガイドの変更はできません。

用紙テンプレートの登録

作成した [ページ] ファイルの設定を、テンプレートとして登録します。

1.[作品] ファイルを開く

[編集] ウィンドウの [ページ] タブで、[ページ] ファイルを開きます。

2. コマンドを選択する

[ファイル] メニューから [テンプレートとして登録 ...] を選択します。

3. 設定を行う

[用紙テンプレート設定] ダイアログが表示されたら、設定を行います。

❶ [用紙名] に用紙のテンプレート名を入力します。

❷ [OK] ボタンをクリックします。

4. 登録が完了する

テンプレートとして登録が完了します。
登録したテンプレート素材は、[作品]・[ページ] の新規作成時に使用できます。

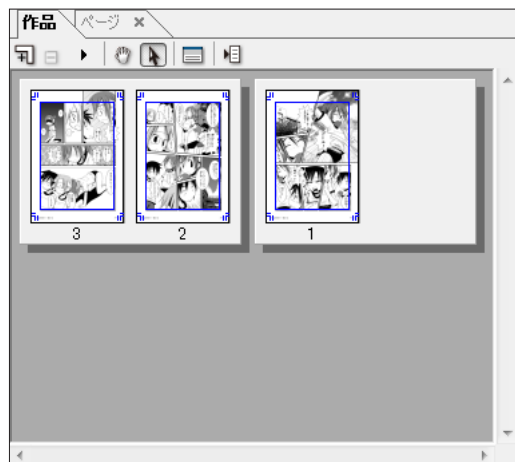
登録したテンプレートは、初期設定では以下に保存されます。
Vista : [スタート] ボタン→ [ドキュメント] → ComicStudio Ver4 設定¥Page
XP : [スタート] ボタン→ [マイドキュメント] → ComicStudio Ver4 設定¥Page
Mac OS X : [Macintosh HD] アイコン→ [ユーザ] → [(ユーザ名)] → [書類] → [ComicStudio Ver4 設定] → [Page]

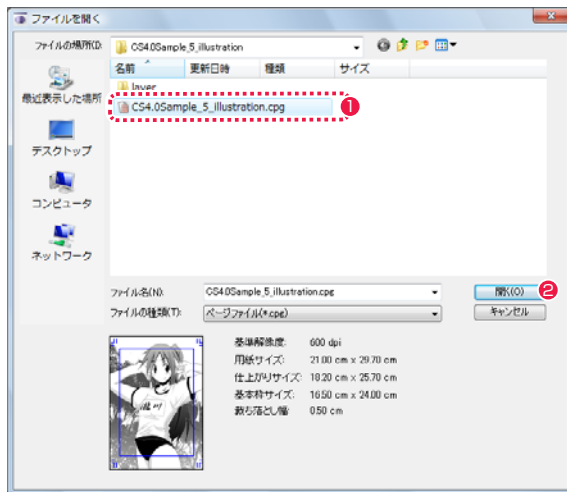
Step: 06 読み込み

［ページ］ファイル、画像ファイル、Adobe® Photoshop® ファイルや紙原稿などを読み込みできます。

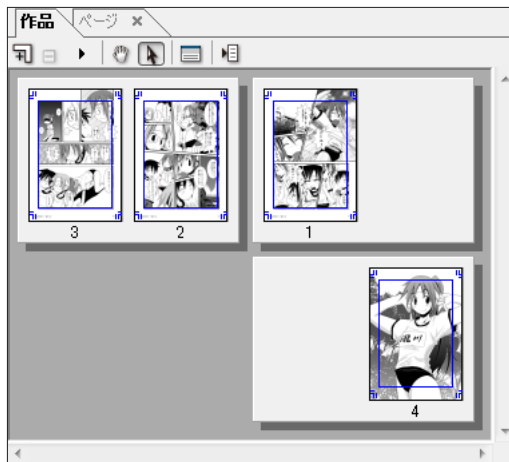
ページファイルの読み込み

［ページ］ファイルを読み込み、［作品］ファイルに挿入します。

1.［作品］ファイルを開く
［編集］ウィンドウの［作品］タブで、［作品］ファイルを開きます。

2. コマンドを選択する
［ファイル］メニューから［読み込み］→［ページファイル ...］を選択します。

3.［ページ］ファイルを選択する
［ファイルを開く］ダイアログが表示されます。

❶［ページ］ファイルを選択します。

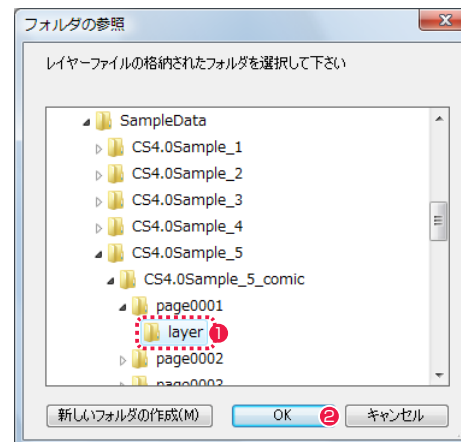
❷［開く］ボタンをクリックします。

4. 読み込みが完了する
［ページ］ファイルの読み込みが完了しました。

複数レイヤーファイルの読み込み

［ページ］ファイルに複数のレイヤーを一括で読み込みます。

1. ページを開く
［編集］ウィンドウの［ページ］タブで、ページを開きます。

2. コマンドを選択する
［ファイル］メニューから［読み込み］→［複数レイヤーファイル ...］を選択します。

3. レイヤーファイルが入ったフォルダを選択する
［ファイルの参照］ダイアログが表示されます。

❶ レイヤーファイルが入ったフォルダを選択します。［ページ］ファイルがあるフォルダに、[layer] の名前で作成されています。

❷ [OK] ボタンをクリックします。

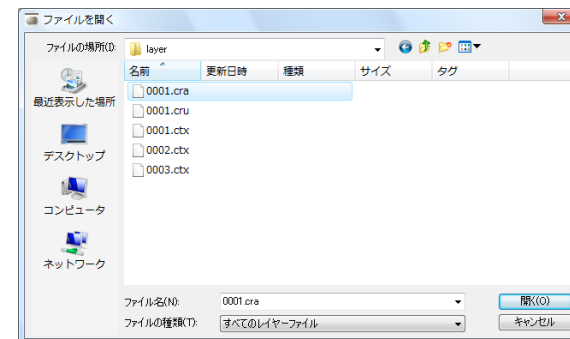
4. 読み込みが完了する
複数レイヤーファイルの読み込みが完了しました。

レイヤーファイルの読み込み

［ページ］ファイルにレイヤーを一枚だけ読み込みます。

1. ページを開く
［編集］ウィンドウの［ページ］タブで、ページを開きます。

2. コマンドを選択する
［ファイル］メニューから［読み込み］→［レイヤーファイル ...］を選択します。

3. レイヤーファイルが入ったフォルダを選択する
［ファイルの参照］ダイアログが表示されます。

❶［作品］ファイルから［ページ］ファイルが入ったフォルダ → [layer] フォルダを選択し、読み込みたいレイヤーファイルを選択します。

❷ [OK] ボタンをクリックします。

4. 読み込みが完了する
レイヤーファイルの読み込みが完了しました。

画像ファイルの読み込み

[ページ] ファイルに画像ファイルを読み込みます。

Windows 版	対応ファイル形式
Debut	JPEG、BMP
Pro/EX	JPEG、BMP、PSD、TIFF、PNG、TGA

Mac OS X 版	対応ファイル形式
Debut	JPEG、BMP、PSD、TIFF、PNG、TGA、PICT
Pro/EX	JPEG、BMP、PSD、TIFF、PNG、TGA、PICT

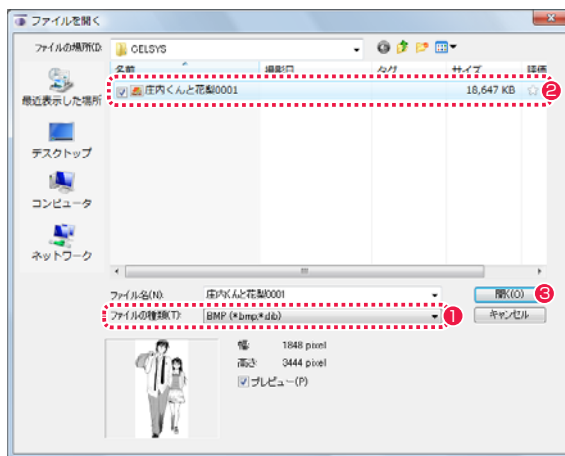
1. ページを開く

[編集] ウィンドウの [ページ] タブで、ページを開きます。

2. コマンドを選択する

[ファイル] メニューから [読み込み] → [画像ファイル ...] を選択します。

3. 画像ファイルを選択する

[ファイルを開く] ダイアログが表示されます。

❶ [ファイルの種類] から、読み込む画像ファイルの種類を選択します。

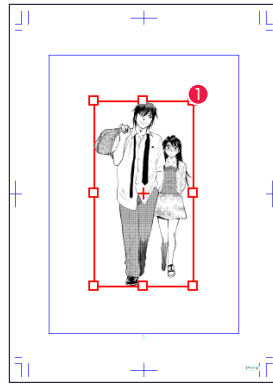
❷ リストから読み込む画像ファイルを選択します。

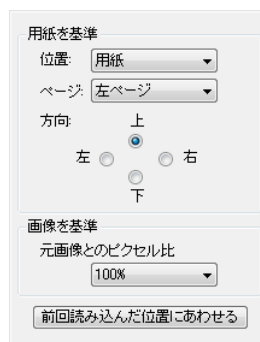
❸ [開く] ボタンをクリックします。

POINT

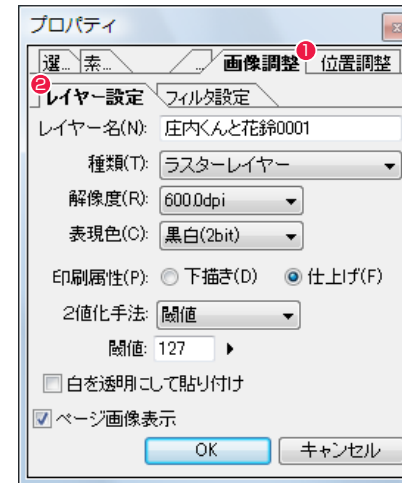
画像ファイルを [編集] ウィンドウで表示中のページにドラッグ＆ドロップして読み込むこともできます。EX をお使いの場合は [処理選択] ダイアログが表示されますので、[通常] ラジオボタンをオンにしてください。

4. 画像を配置する

ページに画像ファイルが読み込まれ、[プロパティ] パレットが表示されます。

❶ ページ上の画像や画像の周囲のハンドルをドラッグすると、サイズや位置、角度を調整できます。

❷ [プロパティ] パレットの [位置調整] タブでは数値で指定できます。

❸ [位置調整] タブの [自動調整] ボタンをクリックするとダイアログが表示され、画像の位置やサイズを自動で調整できます。

5. 画像を調整する (レイヤー設定)

[画像調整] タブの [レイヤー設定] タブで、画像の調整ができます。

❶ [プロパティ] パレットの [画像調整] タブをクリックすると、[レイヤー設定] タブが表示されます。

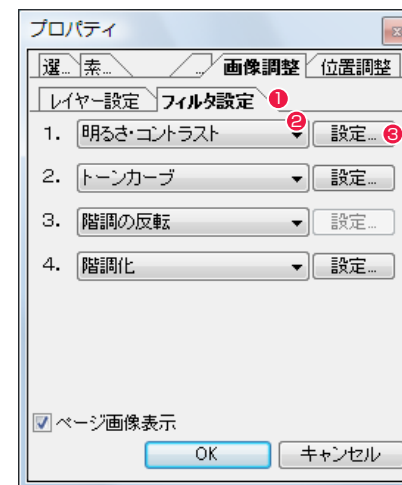
❷ [レイヤー設定] タブで、レイヤーに関する基本設定を行います。

6. 画像を補正する (フィルタ設定)【Pro/EX】

[画像調整] タブの [フィルタ設定] タブを表示すると、読み込んだ画像の補正が行えますので、必要に応じて使用してください。

注意 :

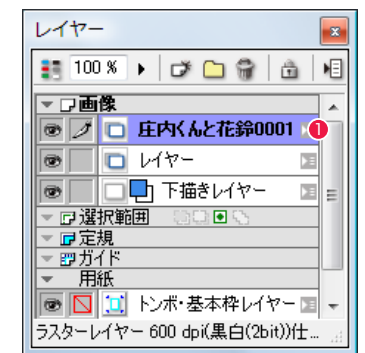
[フィルタ設定] は Debut ではご使用になれません。ご注意ください。

[フィルタ] の各機能については、第 9 章『フィルタ』(⇒ P.309) を参照してください。

❶ [プロパティ] パレットの [画像調整] タブ→ [フィルタ設定] タブをクリックすると、[フィルタ設定] タブが表示されます。

❷ メニューからフィルタを選択します。

❸ [設定 ...] ボタンをクリックすると、フィルタの詳細を設定できます。

7. 読み込みが完了する

設定が完了したら、[プロパティ] パレットの [OK] ボタンをクリックします。読み込んだ画像の配置が完了します。

❶ [レイヤー] パレットに、読み込んだ画像の [レイヤー] が作成されます。

[レイヤー設定] タブの [種類] で [下絵レイヤー] を選択すると、[下絵レイヤー] に変換されます。[下絵レイヤー] については、第 5 章『レイヤー』→『Step:02 レイヤーの種類』→『下絵レイヤー』(⇒ P.168) を参照してください。

[プロパティ] パレット / [位置調整] タブ

[プロパティ] パレットの [位置調整] タブを選択すると表示され、画像の位置やサイズなどを調整します。

A [取り消し]・[やり直し]
[位置調整] で行った動作に対して [取り消し]・[やり直し] ができます。

B [上下反転]・[左右反転]
画像の上下反転・左右反転ができます。

C [ガイド線の表示]・[非表示]
ガイド線の表示・非表示が切り替えられます。
画像の周囲のハンドルを表示してドラッグ操作による調整を行う場合は表示にしてください。

D [中心点]
画像に対する調整を行う場合の基準となる中心点を、ボタンをクリックして設定します。

E [処理の種類]
[拡大・縮小]・[回転]・[自由変形]・[ゆがみ]・[遠近法] の中から処理を選択します。
画像の周囲のハンドルをドラッグする操作は、この選択した処理に応じて動作します。

F [拡大率]
画像の拡大率を、[幅] と [高さ] でパーセント指定します。

・[相対値]
今の状態からの変化を入力します。確定後は 100% に戻ります。

・[絶対値]
初期状態からの変化を入力します。[自由変形]・[ゆがみ]・[遠近法] を使用して画像が変更された場合は指定できなくなります。

G [元画像の比率を維持]
画像の縦横比率を維持したまま、拡大・縮小を行います。

H [自動調整 ...]
[自動調整] パネルが表示され、画像の位置とサイズを自動調整する設定ができます。

I [リセット]
[プロパティ] パレットの [位置調整] タブで行った設定がリセットされます。

J [位置]
画像の位置を、[左] と [上] で mm 指定します。

K [角度]
画像の回転角度を指定します。

L [アンチエイリアス]
画像の輪郭を滑らかに表示する「アンチエイリアス」のオン、オフを指定します。

M [ON]
設定を反映し、パレットを閉じます。

N [キャンセル]
設定をキャンセルし、パレットを閉じます。

[プロパティ] パレット / [自動調整] パネル

[プロパティ] パレットの [位置調整] タブ→ [自動調整] ボタンをクリックすると表示され、画像の位置やサイズなどを自動調整します。

A [用紙を基準]

・[位置]
[用紙]・[トンボ内枠]・[トンボ外枠]・[基本枠] に合わせます。

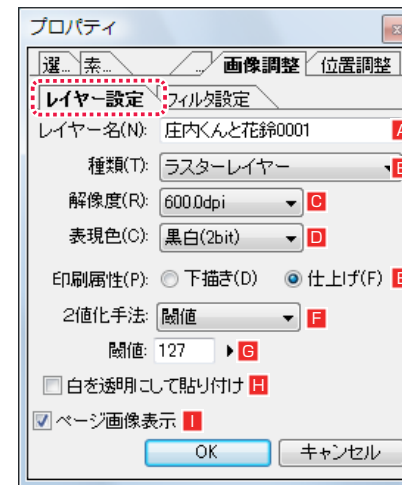
・[ページ]
見開きページの場合に使用する項目で [左ページ]・[右ページ] から合わせる基準位置を選択します。

・[方向]
用紙の各辺中央を基準にして、[位置] で指定したサイズに画像を拡大・縮小します。[上][下]を選択した場合は横幅を、[左][右]を選択した場合は縦幅を、それぞれ揃えて拡大・縮小します。

B [画像を基準]
元画像とのピクセル比率をパーセントで指定します。

C [前回読み込んだ位置にあわせる]
前回読み込んだ位置にサイズを合わせます。

[画像調整] タブ→ [レイヤー設定] タブ

[プロパティ] パレットの [画像調整] タブ→ [レイヤー設定] タブを選択すると表示され、画像の調整を行います。

A [レイヤー名]
レイヤーの名前を入力します。

B [種類]
[ラスターレイヤー]・[下絵レイヤー] から、読み込み先のレイヤーの種類を選択します。

C [解像度]
レイヤーの解像度を選択します。

D [表現色]
[黒]・[黒白]・[グレー]・[カラー] からのレイヤーの表現色を選択します。

E [印刷属性]
[下描き]・[仕上げ] のどちらかを選択します。

F [2 値化手法]
[表現色] を [黒]・[黒白] で読み込むときには画像は 2 値化されます。ここで 2 値化する手法を [閾値]・[疑似階調]・[誤差拡散] から選択します。

F [減色手法]
[表現色] で [グレー] が選択されている場合に表示されます。[グレー] で読み込むときに、レイヤーの設定として減色する手法を [減色しない]・[閾値]・[疑似階調]・[誤差拡散] から選択します。

G [閾値]
2 値化する場合の閾値の数値を指定します。

H [白を透明にして貼り付け]
画像の白い部分を、透明色に変換して読み込みます。

I [ページ画像表示]
読み込み先のページ画像をプレビューとして表示します。

[画像調整] タブ→ [フィルタ設定] タブ

[プロパティ] パレットの [画像調整] タブ→ [フィルタ設定] タブを選択すると表示され、フィルタを使用して画像の補正を行います。

A [フィルタ項目]
[なし]・[明るさ・コントラスト]・[トーンカーブ]・[階調の反転]・[階調化]・[明るさ・コントラスト (自動調整)]・[レベル補正] から実行するフィルタの項目を選択します。同時に 4 種類のフィルタを、番号順に実行できます。

B [設定 ...]
フィルタの処理について詳細な設定ができます。

C [ページ画像表示]
読み込み先のページ画像をプレビューとして表示します。

Photoshop ファイル【Pro/EX】

[ページ] ファイルに Photoshop ファイルをレイヤー分けして読み込みます。

注意：

すべてのレイヤーの読み込みは保証しておりません。
ComicStudio4.0 で読み込むことができないレイヤーが存在する場合、レイヤー一覧に表示されません。

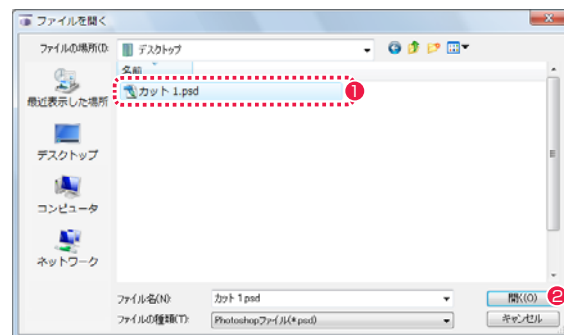
1. ページを開く

[編集] ウィンドウの [ページ] タブで、ページを開きます。

2. コマンドを選択する

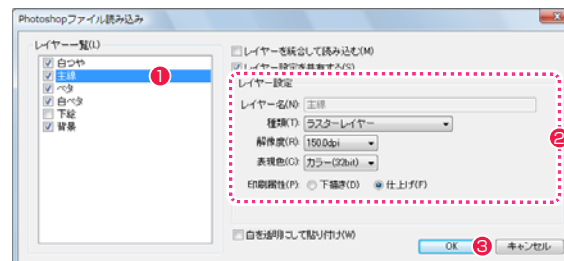
[ファイル] メニューから [読み込み] → [Photoshop ファイル ...] を選択します。

3.Photoshop ファイルを選択する

[ファイルを開く] ダイアログが表示されます。

❶ 読み込みたい Photoshop ファイルを選択します。

❷ [開く] ボタンをクリックします。

4.Photoshop ファイルの設定を行う

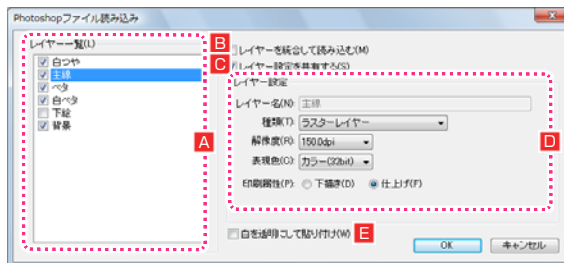
[Photoshop ファイル読み込み] ダイアログで設定を行います。

❶ レイヤー一覧からチェックのオン / オフで、読み込むレイヤーを選択します。

❷ 選択したレイヤーの読み込み設定をおこないます。

❸ [OK] ボタンをクリックします。

5. 読み込みが完了する

読み込みが完了し、[ページ] に複数の [レイヤー] として表示されます。

[Photoshop ファイル読み込み] ダイアログ

A [レイヤー一覧]

読み込むレイヤーを選択します。

B [レイヤーを統合して読み込む]

Photoshop ファイルを 1 枚の画像ファイルとして読み込みます。

C [レイヤー設定を共有する]

レイヤー個別に設定するのではなく、1 つの設定ですべてのレイヤー設定が適応されます。

D [レイヤー設定]

個々の元レイヤーに、読み込み先のレイヤーの設定をします。

・レイヤー名

レイヤーの名前を入力します。

・種類

[ラスターレイヤー]･[下絵レイヤー]から読み込み先のレイヤーの種類を選択します。

・解像度

レイヤーの解像度を選択します。

・表現色

[黒] · [黒白] · [グレー] · [カラー] からのレイヤーの表現色を選択します。

・印刷属性

[下描き] · [仕上げ] のどちらかを選択します。

・2 値化手法

[表現色] が [黒] · [黒白] のときは画像は 2 値化されます。ここでは 2 値化する手法を [閾値]･[疑似階調] から選択します。

・減色手法

[表現色] で [グレー] が選択されている場合に表示されます。[グレー] で読み込むときに、レイヤーの設定として減色する手法を [減色しない] · [閾値] · [疑似階調] · [トーン化] から選択します。

・閾値

[2 値化手法] · [減色手法] で [閾値] を選択したとき、閾値の数値を指定します。

E [白を透明にして貼り付け]

画像の白い部分を、透明色に変換して読み込みます。すべてのレイヤーに適応される項目です。

POSE STUDIO【Pro/EX】W

[ページ] ファイルに、作画支援 3D ソフト POSE STUDIO で作成したポーズの画像を、画像レイヤーとして読み込みます。

注意：

この機能のご利用には、POSE STUDIO のインストールとライセンス登録が必要です。POSE STUDIO は、創作活動応援サイト『CLIP』よりダウンロードできます。

・創作活動応援サイト『CLIP』
URL:http://www.clip-studio.com/

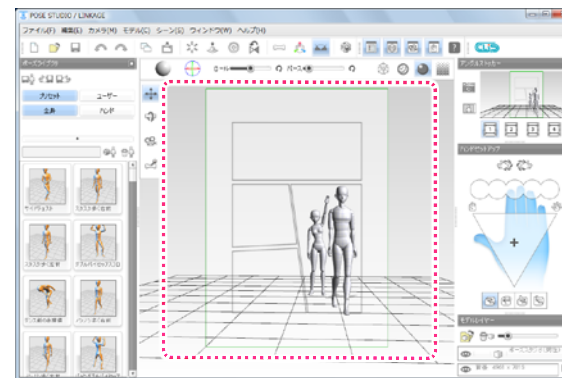
1. ページを開く

[編集] ウィンドウの [ページ] タブで、ページを開きます。

2. コマンドを選択する

[ファイル] メニューから [読み込み] → [POSE STUDIO...] を選択します。ComicStudio が最小化され、POSE STUDIO が表示されます。

3.POSE STUDIO でポーズを作成する

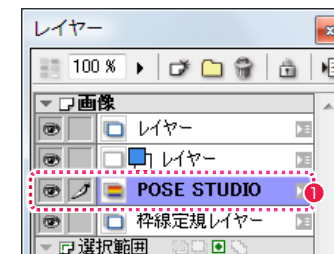
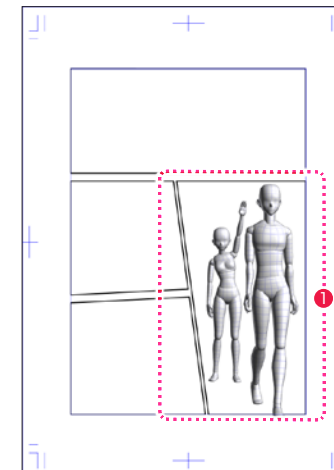
POSE STUDIO でポーズを作成します。

4.POSE STUDIO からポーズを書き出す

POSE STUDIO の [ファイル] メニュー→ [書き出し] を選択して、ポーズの画像を書き出します。確認のメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

5.POSE STUDIO を終了する

POSE STUDIO の [ファイル] メニュー→ [終了] を選択して、POSE STUDIO を終了します。

6. 読み込みが完了する

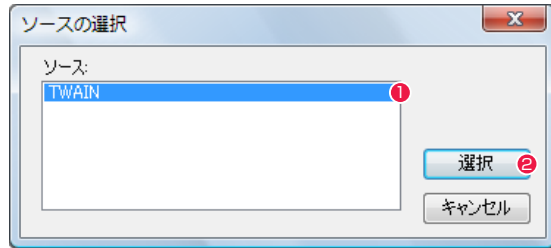
再度、ComicStudio が表示されます。

❶ POSE STUDIO で作成したポーズの画像が、下描き属性の新規画像レイヤー [POSE STUDIO] として読み込まれます。

・POSE STUDIO のレイヤーは、選択したレイヤーの 1 つ上に作成されます。
・[コマ] ウィンドウ表示時は、表示中のコマ内に作成されます。
・POSE STUDIO の使い方については、POSE STUDIO のヘルプを参照してください。

スキャン

市販のスキャナを使用して、画像を [ページ] にレイヤーとして読み込みます。

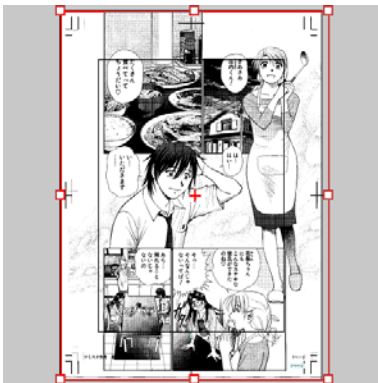
1. スキャナを接続する
市販のスキャナを接続します。スキャナドライバーのインストールなど詳しい接続方法については、スキャナ付属の取扱説明書をご覧ください。

2. スキャナドライバーを選択する
[ファイル] メニューから [読み込み] →[スキャン機器の選択 ...] を選択すると、[ソースの選択] ダイアログが表示されます。

❶ スキャナドライバーを選択します。

❷ [選択] ボタンをクリックします。

3. ページを開く
[編集] ウィンドウの [ページ] タブで、ページを開きます。

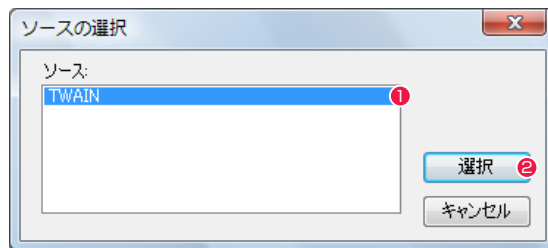
4. スキャンする
[ファイル] メニューから [読み込み] → [スキャン ...] を選択すると、スキャナのドライバーが表示されます。
スキャン方法についてはスキャナによって異なりますので、スキャナ付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

5. スキャンした画像を調整する
[作品] ファイルの [ページ] タブに読み込み画像が表示されたら、『画像ファイルの読み込み』の 4 〜 6 の手順を行います。
くわしくは『画像ファイルの読み込み』(⇒ P.54) を参照してください。

6. スキャンが完了する
読み込み設定が確定したら、[Enter] キーを押します。ページにスキャンした画像が表示され、スキャンが完了します。

連続スキャン【EX】

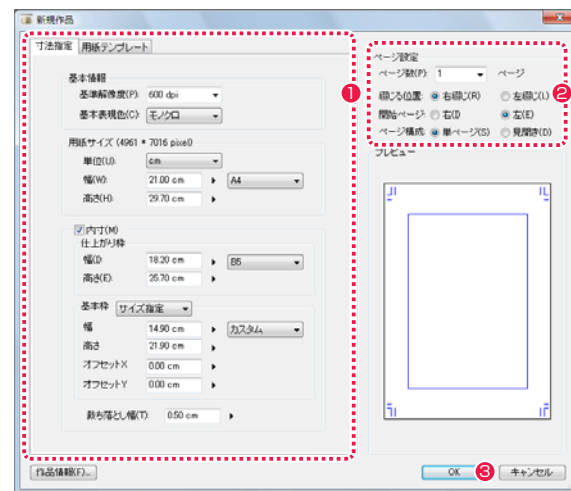
市販のスキャナを使用して、複数のページ画像を [作品] に [ページ] のレイヤーとして読み込みます。

1. スキャナを接続する
市販のスキャナを接続します。スキャナドライバーのインストールなど詳しい接続方法については、スキャナ付属の取扱説明書をご覧ください。

2. スキャナドライバーを選択する
[作品] ファイルを閉じた状態から始めます。
[ファイル] メニューから [読み込み] →[スキャン機器の選択 ...] を選択すると、[ソースの選択] ダイアログが表示されます。

❶ スキャナドライバーを選択します。

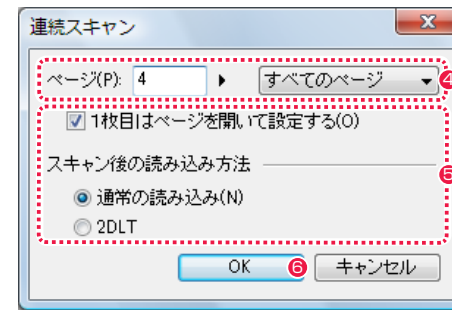
❷ [選択] ボタンをクリックします。

3. 作品を開く
[編集] ウィンドウの [作品] タブで、作品を開きます。

4. 連続スキャンの設定を行う
[ファイル] メニューから [読み込み] → [連続スキャン ...] を選択すると、作品が開かれていない場合、[新規作成] ダイアログが表示されます。

❶ 用紙サイズなどを設定します。

❷ ページ数を指定します。

❸ [OK] ボタンをクリックします。

[編集] ウィンドウの [ページ] タブと [連続スキャン] ダイアログが表示されます。

❹ スキャンを行うページ数を指定します。

❺ 以下のように設定します。オフの場合は前回の設定で読み込まれます。

・[1 枚目はページを開いて設定する] チェックボックスをオン
・[通常の読み込み] ラジオボタンをオン

❻ [OK] ボタンをクリックします。

5. 1 枚目をスキャンする
スキャナのドライバーが表示されます。
スキャン方法についてはスキャナによって異なりますので、スキャナ付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

6. スキャンした画像を調整する
[作品] ファイルの [ページ] タブに読み込み画像が表示されたら、「画像ファイル」の読み込みの 4 〜 6 の手順を行います。
くわしくは『画像ファイルの読み込み』(⇒ P.54) を参照してください。

7.2 枚目をスキャンする
読み込み設定が確定したら、[Enter] キーを押します。
スキャナドライバーが表示されたら、紙原稿を 2 枚目と交換し、「1 枚目をスキャンする」と同じ手順を繰り返します。

8. スキャンが完了する
読み込み設定が確定したら、[Enter] キーを押します。[連続スキャン] ダイアログで指定した、紙原稿の枚数のスキャンが終わると、スキャンの完了となります。

Step: 07 書き出し

［ページ］ファイルや［作品］ファイルは、画像ファイルに書き出しできます。

画像ファイル

作成したデータファイルを、画像ファイルとしてピクセルまたは寸法指定で書き出します。ここではピクセル指定で書き出す方法を紹介します。

Windows 版	対応ファイル形式
Debut	JPEG、BMP、PSD
Pro/EX	JPEG、BMP、PSD、PNG、TGA、TIFF、EPS(モノクロ)、PDF

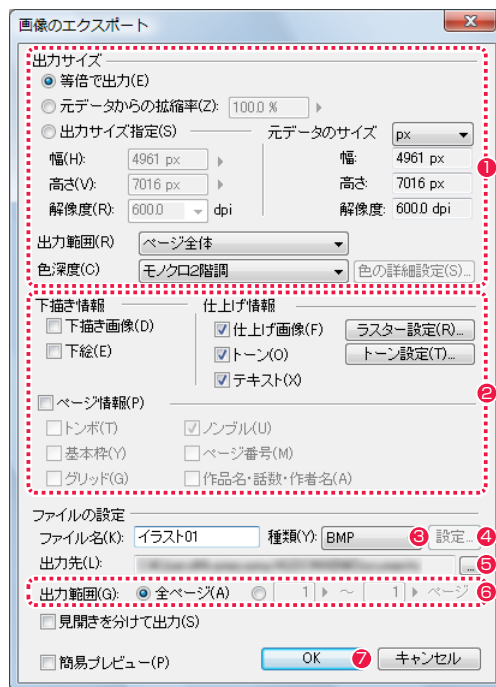
Mac OS X 版	対応ファイル形式
Debut	JPEG、BMP、PSD、TIFF、PNG、TGA、PICT
Pro/EX	JPEG、BMP、PSD、PNG、TGA、TIFF、EPS(モノクロ)、PDF、PICT

1. ページを開く
   ［編集］ウィンドウの［ページ］タブで、ページを開きます。

2. コマンドを選択する
   ［ファイル］メニューから［書き出し］→［画像ファイル（ピクセル指定）...］を選択します。

POINT

・［画像のエクスポート］ダイアログの［色深度］で［モノクロ2階調］を選択すると、［ファイル設定］の［種類］で［EPS 形式］が選択できます。
・［ファイル］メニューから［書き出し］→［画像ファイル（寸法指定）...］を選択すると、画像ファイルのサイズを寸法指定（センチ）で書き出しできます。

3. 設定を行う
   ［画像のエクスポート］ダイアログが表示されたら、詳細な書き出し設定を行います。

❶ 出力サイズ、出力範囲、色深度などを設定します。

❷ 下描き情報、仕上げ情報、ページ情報の項目を出力する場合は、必要な項目のチェックボックスをオンにします。

❸［種類］でファイル形式を選択します。

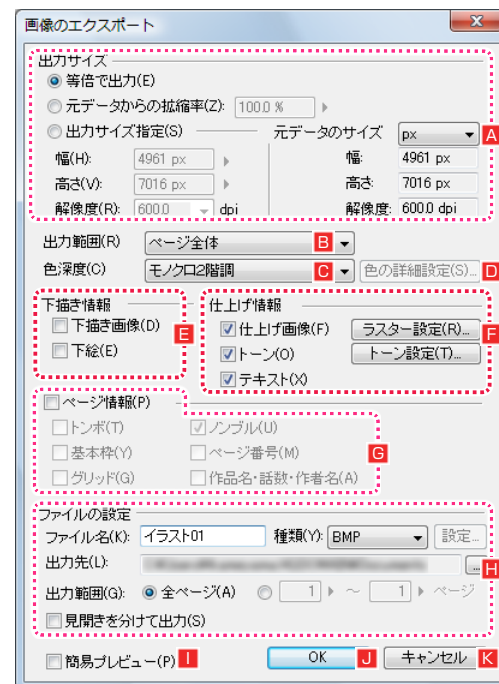
❹［設定...］ボタンをクリックすると、［種類］で［JPEG］、［Photoshop］、［TIFF］、［PDF］を選択した場合にダイアログで詳細な設定が行えます。

❺［出力先］の［...］ボタンをクリックすると、保存場所を選択できます。

❻［出力範囲］で、出力するページの範囲を［全ページ］かページ指定で選択できます。

❼［画像のエクスポート］ダイアログの［OK］ボタンをクリックします。

4. 書き出しが完了する
   画像ファイルへの書き出しが完了します。

［画像のエクスポート］ダイアログ

A［出力サイズ］
出力するサイズを選択します。

・［等倍で出力］
［元データのサイズ］で出力します。

・［元データからの拡縮率］
拡大・縮小する倍率を設定します。

・［出力サイズ指定］
出力する［幅］・［高さ］・［解像度］を設定します。

・［元データのサイズ］
元データの［幅］・［高さ］・［解像度］を、それぞれ［mm］・［cm］・［in］・［px］の単位で表示します。

B［出力範囲］
出力する範囲を選択します。コマウィンドウでは［コマ全体］が選ばれます。

・［ページ全体］
ページ全体を出力します。

・［トンボの裁ち落としまで］
［裁ち落とし幅］までの部分も含めて出力します。

・［トンボの内側まで］
［仕上げサイズ］の裁ち切り線より内側のみ出力します。

・［選択範囲の外接矩形］
原稿上で指定した選択範囲を含む、外接矩形内を出力します。

C［色深度］
出力する色深度を選択します。

・［最適な色深度を自動判別］
色深度の設定が自動的に選択されます。

・［モノクロ２階調］
モノクロ (2bit) で出力します。

・［グレースケール］
グレースケール (8bit) で出力します。

・［カラー］
カラー (32bit) で出力します。

D［色の詳細設定］ボタン
［色深度］で［カラー］を選択した場合に表示されます。［カラー設定］ダイアログが表示され、画像の出力色を［レイヤーの表示色］・［シアン］・［黒］から選択します。

E［下描き情報］
出力する下描き情報を選択します。

・［下描き画像］
下描き属性のレイヤーを出力します。

・［下絵］
［下絵レイヤー］に読み込んだ画像を出力します。

F［仕上げ情報］
出力する仕上げ情報を選択します。

・［仕上げ画像］
仕上げ属性のレイヤーを出力します。

・［ラスター設定 ...］ボタン【Pro/EX】
［仕上げ画像］のチェックをオンにした場合に［ラスター詳細設定］ダイアログが表示され、［表現色］が［グレー］(8bit) のラスターレイヤーの減色手法を設定します。

・［トーン］
トーンを出力します。
オフにすると、トーン化で減色する設定のラスターレイヤーも出力されません。

・［トーン設定 ...］ボタン【Pro/EX】
［トーン］のチェックをオンにした場合に［トーン詳細設定］ダイアログが表示され、トーンレイヤーの表現方法を設定します。

・［テキスト］
テキストを出力します。

G［ページ情報］
［トンボ］・［基本枠］・［グリッド］・［ノンブル］・［ページ番号］・［作品名・話数・作者名］の出力の有無を選択します。

H［ファイルの設定］
書き出すファイルの設定を行います。

・［ファイル名］
出力するファイル名を入力します。

第2章 ファイル

・[種類]
出力するファイル形式を選択します。
[BMP]・[JPEG]・[PNG]・[Photoshop]・[TIFF]・[Targa]・[PDF]・[EPS]([色深度] が [モノクロ２階調] の場合のみ)・[PICT](Mac OS X 版のみ) から選択します。
ファイル形式によっては [設定 ...] ボタンのダイアログから設定を行えます。

・[出力先]
アドレス入力や [フォルダの参照 ...] ダイアログで、出力先を設定します。

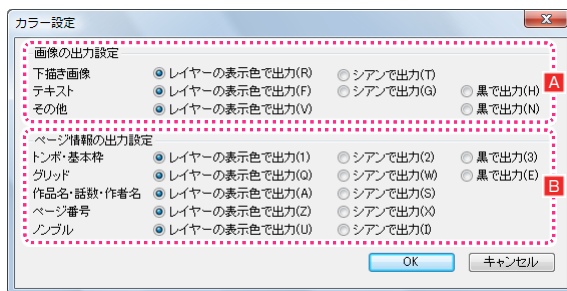
・[出力範囲]
出力するページを設定します。

・[見開きを分けて出力]【Pro/EX】
見開きページを分けて出力します。

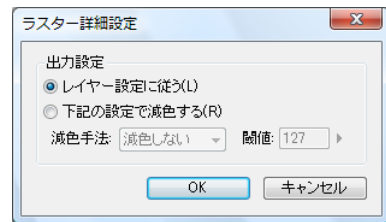
I [簡易プレビュー]
現在の設定での書き出し結果を表示します。

J [OK] ボタン
設定を反映し、ダイアログを閉じます。

K [キャンセル] ボタン
設定をキャンセルし、ダイアログを閉じます。

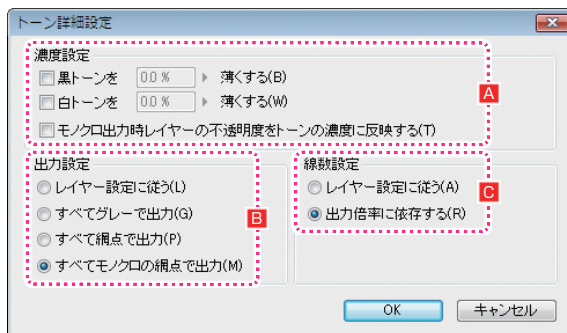
[カラー 設定] ダイアログ

A [画像の出力設定]
各出力色を [レイヤーの表示色で出力]・[シアンで出力]・[黒で出力] から選択します。

B [ページ情報の出力設定]
各出力色を [レイヤーの表示色で出力]・[シアンで出力]・[黒で出力] から選択します。

[ラスター詳細設定] ダイアログ【Pro/EX】

[出力設定]
ラスター出力の設定を行います。

・[レイヤー設定に従う]
減色手法を各レイヤーの設定に合わせます。

・[下記の設定で減色する]
減色手法を一括して設定します。[減色しない]・[閾値]・[擬似階調]・[トーン化] から選択します。

[トーン詳細設定] ダイアログ【Pro/EX】

A 濃度設定
トーンの濃度を設定します。

・[黒トーンを～%薄くする]
黒トーンの濃度を指定します。

・[白トーンを～%薄くする]
白トーンの濃度を指定します。

・[モノクロ出力時レイヤーの不透明度をトーンの濃度に反映する]
オンにすると、モノクロ２階調で出力するときに、トーンレイヤーの不透明度をトーンの濃度に反映して出力します。[パターントーン] には影響しません。

B [出力設定]
トーン出力の設定を行います。

・[レイヤー設定に従う]
各 [トーンレイヤー] の [表現方法] に従って出力します。

・[すべてグレーで出力]
トーンの [表現方法] を [グレー] にして出力します。

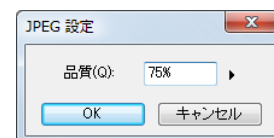
・[すべて網点で出力]
トーンの [表現方法] を [網点] にして出力します。

・[すべてモノクロの網点で出力]
作成したファイルに網点のトーンが含まれていても、トーンにアンチエイリアスがかからなくなります。

C [線数設定]
トーン線数の設定を行います。

・[レイヤー設定に従う]
レイヤー設定に従った線数で出力します。

・[出力倍率に依存する]
出力倍率に従った線数で出力します。

[JPEG 設定] ダイアログ

・[品質]
JPEG 画像の圧縮率 (品質) を設定します。

[Photoshop 設定] ダイアログ

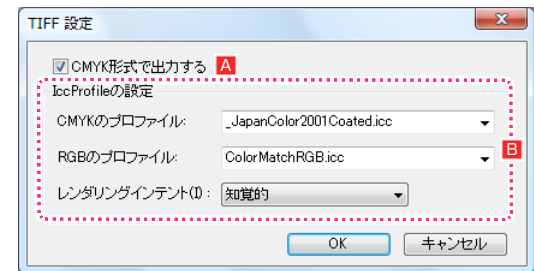
レイヤー構造について設定します。

A [レイヤーを統合して出力する]
階層構造を持たない１枚の画像に合成して出力します。

B [レイヤー構造を維持して出力する]
各レイヤーの構造を残したまま出力します。

・[レイヤーセットを出力する (Photoshop 6.0 以降)]
レイヤーフォルダをレイヤーセットに変換して出力します。
変換の条件は [1 階層のみ許可する] か [5 階層まで許可する (Photoshop CS 以降)] が選択できます。

・[テキスト情報をレイヤーに変換して出力する]
テキスト情報をレイヤーに変換して出力します。

[TIFF 設定] ダイアログ【Pro/EX】

[色深度] で [カラー] を選択した場合に、[CMYK 形式で出力する] 設定を切り替えます。

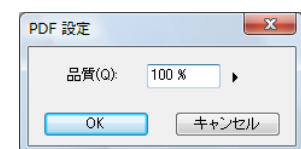
A [CMYK 形式で出力する]
CMYK 形式で出力します。

B [IccProfile の設定]
使用する ICC プロファイルを選択します。

・[CMYK のプロファイル]
CMYK の ICC プロファイルを [EuropeISOCoatedFOGRA27.icc]・[JapanColor2001Coated.icc]・[USSheetfedCoated.icc] などから選択します。

・[RGB のプロファイル]
RGB の ICC プロファイルを [AdobeRGB1998.icc]・[AppleRGB.icc]・[ColorMatchRGB.icc]・[sRGB Color Space Profile.icm] から選択します。

・[レンダリングインテント]
色の変換方法を [知覚的]・[相対的な色域を保持]・[彩度]・[絶対的な色域を保持] から選択します。

[PDF 設定] ダイアログ【Pro/EX】

・[圧縮率]
PDF の圧縮率を設定します。

同人誌印刷所入稿用データの書き出し

作成したデータファイルを、同人誌印刷所入稿用データ (画像ファイル) に書き出します。

同人誌印刷所入稿用データは下記の仕様になります。

・**画像ファイル**

ページ単位の連番画像として、TIFF 形式で書き出されます。
レイヤー構造が破棄され、テキストレイヤーはラスタライズされます。

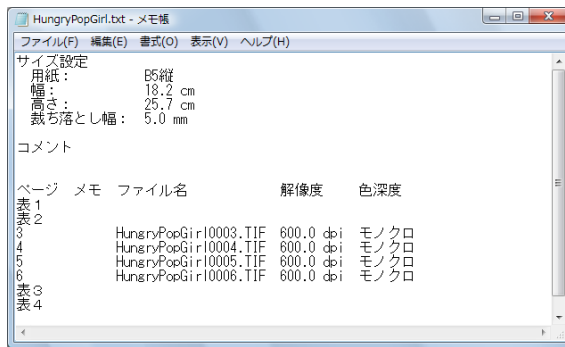
・**テキストファイル**

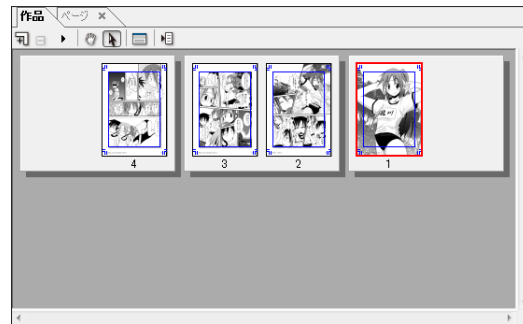
書き出された連番画像と、本になった時のページの関連を示す「入稿仕様書」になります。

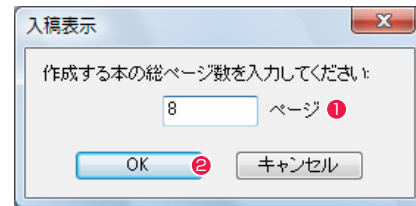
HungryPopGirl.txt - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

サイズ設定
用紙：　B5縦
幅：　18.2 cm
高さ：　25.7 cm
裁ち落とし幅：　5.0 mm

コメント

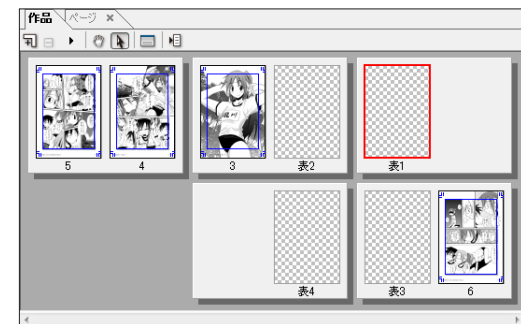
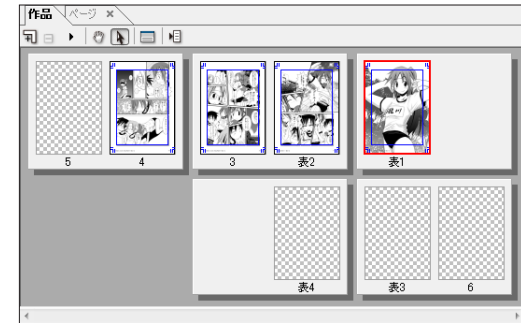
ページ	メモ	ファイル名	解像度	色深度
表1				
表2				
3		HungryPopGirl0003.TIF	600.0 dpi	モノクロ
4		HungryPopGirl0004.TIF	600.0 dpi	モノクロ
5		HungryPopGirl0005.TIF	600.0 dpi	モノクロ
6		HungryPopGirl0006.TIF	600.0 dpi	モノクロ
表3				
表4				

1. 作品を開く

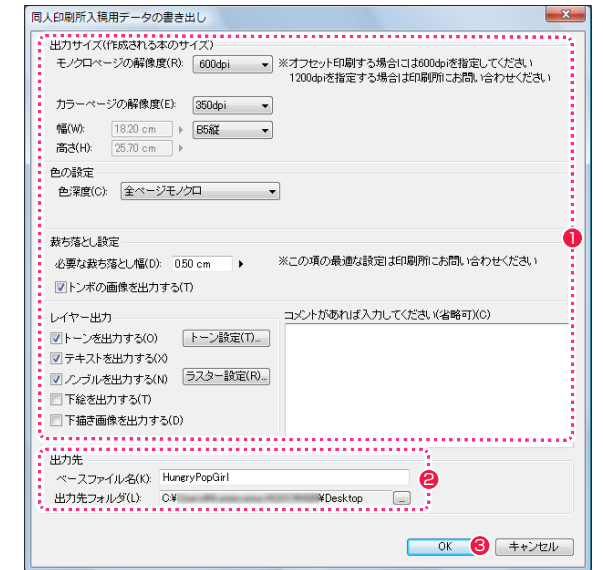
[編集] ウィンドウの [作品] タブで 、作品を開きます。

2. 入稿表示を設定する

[作品] メニューから [表示] → [入稿表示 ...] を選択すると、[入稿表示] ダイアログが表示されます。

❶ 総ページ数を入力します。総ページ数とは、本文ページのほかに表紙・裏表紙を含む4ページ (表１～表 4) を合計したページ数のことです。

❷ [OK] ボタンをクリックすると、作品の表示が [入稿表示] に切り替わります。

3. ページの順番を調整する

ページの順番を入れ替えて調整します。ページの順番はサムネイルをドラッグすると入れ替えできます。
ここでは表１～４を別にして、本文を第３ページから開始しています。

4. 設定を行う

[ファイル] メニューから [書き出し] → [同人誌印刷所入稿用データ ...] を選択すると、[同人印刷所入稿用データの書き出し] ダイアログが表示されます。

❶ 書き出しの設定を行います。初期設定が同人誌印刷所入稿用の一般的な設定ですが、変更する場合は詳細を印刷所にお問い合わせください。

❷ 出力先を設定します。[ベースファイル名] を入力すると、入力した文言の後に連番がついたファイルになります。

❸ [OK] ボタンをクリックします。

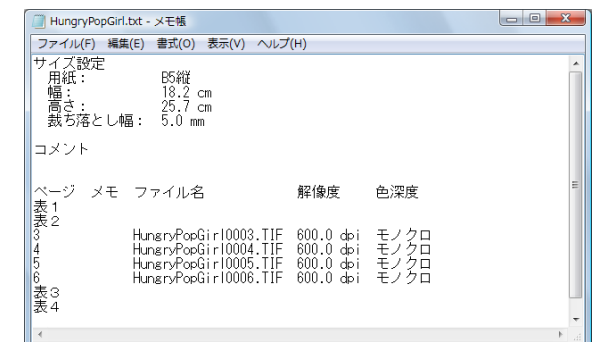
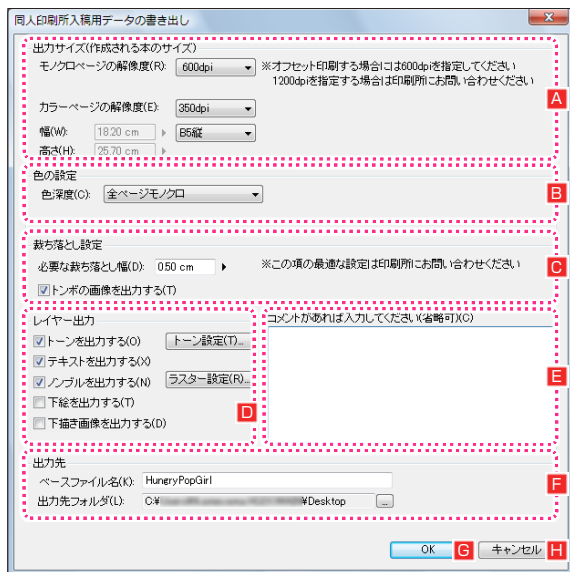
5. 書き出しが完了する

同人誌印刷所入稿用データの書き出しが完了し、画像ファイルとテキストファイルが作成されます。

HungryPopGirl.txt - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

サイズ設定
用紙：　B5縦
幅：　18.2 cm
高さ：　25.7 cm
裁ち落とし幅：　5.0 mm

コメント

ページ	メモ	ファイル名	解像度	色深度
表1				
表2				
3		HungryPopGirl0003.TIF	600.0 dpi	モノクロ
4		HungryPopGirl0004.TIF	600.0 dpi	モノクロ
5		HungryPopGirl0005.TIF	600.0 dpi	モノクロ
6		HungryPopGirl0006.TIF	600.0 dpi	モノクロ
表3				
表4				

[同人印刷所入稿用データの書き出し] ダイアログ

A [出力サイズ (作成される本のサイズ)]
[モノクロページの解像度]、[カラーページの解像度]、[幅]、[高さ] を設定できます。

B [色の設定]
[色深度] を、[全ページモノクロ]、[全ページフルカラー]、[最適な色深度を自動判別]、[ページの基本表現色に従う]、[表紙のみカラー (本編モノクロ)] から選択できます。

C [裁ち落とし設定]
[必要な裁ち落とし幅] とトンボ画像の出力切り替えを設定できます。

D [レイヤー出力]
トーン、テキスト、ノンブル、下絵、下描き画像のレイヤー出力を設定します。

E [コメントがあれば入力してください (省略可)]
コメントがあれば入力します。

F [出力先]
出力先を設定します。[ベースファイル名] を入力すると、入力した文言の後に連番がついたファイルになります。

G [OK] ボタン
設定を反映し、ダイアログを閉じて書き出しを開始します。

H [キャンセル] ボタン
設定をキャンセルし、ダイアログを閉じます。

Step: 08 印刷

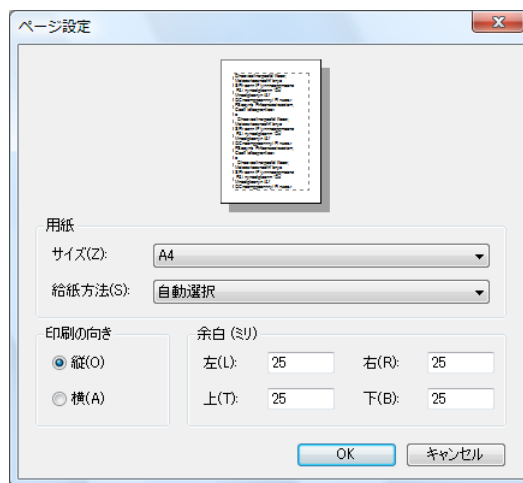
ページ設定、印刷設定、印刷について紹介します。

ページ設定

印刷の準備として、ページ設定を行います。

1. ページを開く
[編集] ウィンドウの [ページ] タブで、ページを開きます。

2. コマンドを選択する
[ファイル] メニューから [ページ設定 ...] を選択します。

3. 設定を行う
[ページ設定] ダイアログが表示されたら、設定を行います。[OK] ボタンをクリックすると設定が完了します。

[ページ設定] ダイアログ

・[用紙]
原稿用紙を印刷する紙の [サイズ] とプリンタの [給紙方法] を選択します。

・[印刷の向き]
紙に対して印刷する向きを [縦]・[横] から選択します。

・[余白 (ミリ)]
[上]・[下]・[左]・[右] の余白スペースを設定します。

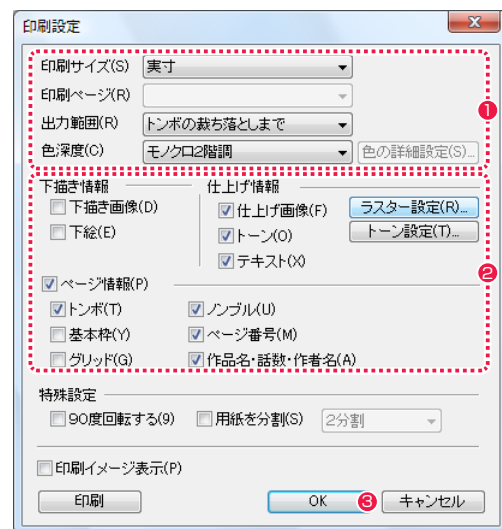
注意 :
[ページ設定] ダイアログは、環境によって表示が異なる場合があります。

印刷設定

印刷の準備として、印刷の詳細な設定を行います。

1. ページを開く
[編集] ウィンドウの [ページ] タブで、ページを開きます。

2. コマンドを選択する
[ファイル] メニューから [印刷設定 ...] を選択します。

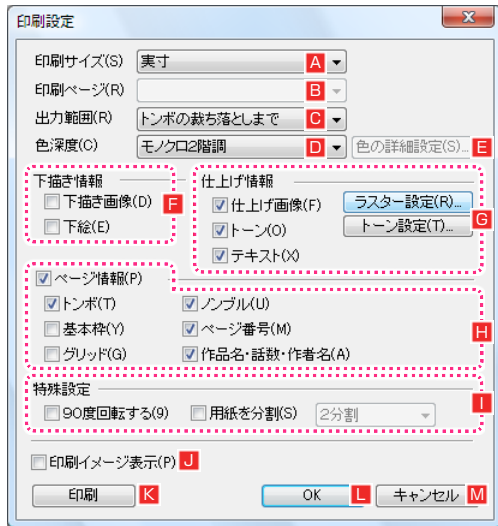
3. 設定を行う
[印刷設定] ダイアログが表示されたら、印刷の詳細な設定を行います。

❶ 印刷サイズ、出力範囲、色深度などを設定します。

❷ 下描き情報、仕上げ情報、ページ情報から、印刷したい項目がある場合は必要な項目のチェックボックスをオンにします。

❸ 設定が終わったら [OK] ボタンをクリックすると設定が完了します。

POINT

[印刷設定] ダイアログの [印刷] ボタンを押すと、このまま印刷できます。

[印刷設定] ダイアログ

A [印刷サイズ]
印刷する大きさを [実寸]・[用紙に合わせて拡大・縮小]・[ピクセル等倍]・[袋とじ]【Pro/EX】・[見開き]【Pro/EX】・[4 等分]【Pro/EX】・[フリーサイズ]【Pro/EX】から選択します。

B [印刷ページ]
印刷するページを選択します。

C [出力範囲]
印刷する範囲を設定します。コマウィンドウでは [コマ全体] が選ばれます。

・[ページ全体]
ページ全体を出力します。

・[トンボの裁ち落としまで]
[裁ち落とし幅] までの部分も含めて出力します。

・[トンボの内側まで]
[仕上げサイズ] の裁ち切り線より内側のみ出力します。

・[選択範囲の外接矩形]
原稿上で指定した選択範囲の外接矩形内を出力します。

D [色深度]
出力する色深度を選択します。

・[最適な色深度を自動判別]
色深度の設定が自動的に選択されます。

・[モノクロ 2 階調]
モノクロ (2bit) で出力します。

・[グレースケール]
グレースケール (8bit) で出力します。

・[カラー]
カラー (32bit) で出力します。

D [色の詳細設定] ボタン
[色深度] で [カラー] を選択した場合に表示されます。[カラー設定] ダイアログが表示され、画像の出力色を [レイヤーの表示色]・[シアン]・[黒] から選択します。

F [下描き情報]
下描きについて選択します。

・[下描き画像]
下描き属性のレイヤーを出力します。

・[下絵]
[下絵レイヤー] に読み込んだ画像を出力します。

G [仕上げ情報]
仕上げについて選択します。

・[仕上げ画像]
仕上げ属性のレイヤーを出力します。

・[ラスター設定 ...] ボタン【Pro/EX】
[ラスター詳細設定] ダイアログを表示し、詳細を設定します。

・[トーン]
トーンを出力します。
オフにすると、トーン化で減色する設定の [ラスターレイヤー] も出力されません。

・[トーン設定 ...] ボタン【Pro/EX】
[トーン詳細設定] ダイアログを表示し、詳細を設定します。

・[テキスト]
テキストを出力します。

H [ページ情報]
[トンボ]・[基本枠]・[グリッド]・[ノンブル]・[ページ番号]・[作品名・話数・作者名] の出力の有無を選択します。

I [特殊設定]【Pro/EX】
原稿用紙の回転、分割などについて選択します。

・[90 度回転する]
原稿を横にして印刷します。

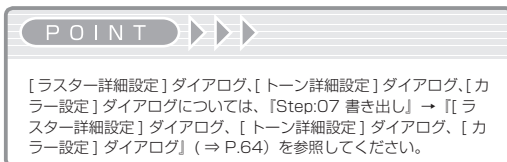
・[用紙を分割]
用紙を分割して印刷します。
[2 分割]・[3 分割]・[4 分割] から選択します。

J [印刷イメージ表示]
現在の設定をプレビュー表示します。

K [印刷] ボタン
この設定を保存してダイアログを閉じ、[印刷] ダイアログを開きます。

L [OK] ボタン
設定を反映し、ダイアログを閉じます。

M [キャンセル] ボタン
設定をキャンセルし、ダイアログを閉じます。

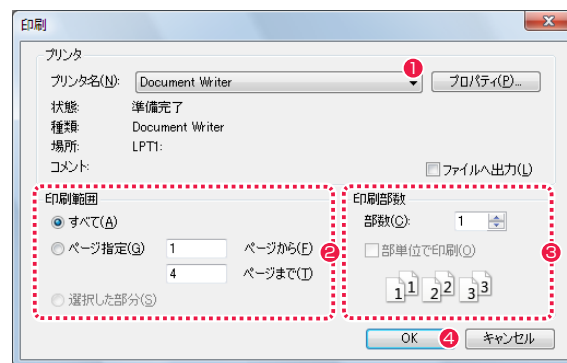
POINT
[ラスター詳細設定] ダイアログ、[トーン詳細設定] ダイアログ、[カラー設定] ダイアログについては、『Step:07 書き出し』→『[ラスター詳細設定] ダイアログ、[トーン詳細設定] ダイアログ、[カラー設定] ダイアログ』(⇒ P.64) を参照してください。

印刷する

作成したページの印刷を行います。

Windows

1. ページを開く
[編集] ウィンドウの [ページ] タブで、ページを開きます。

2. コマンドを選択する
[ファイル] メニューから [印刷 ...] を選択します。

3. 印刷を実行する
[印刷] ダイアログが表示されたら、設定を行います。

❶プリンタを選択します。

❷印刷範囲を設定します。ここでは [すべて] を選択します。

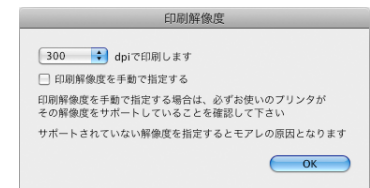
❸印刷部数を設定します。ここでは部数 [1] を指定します。

❹ [OK] ボタンをクリックすると印刷を実行します。ここでは [すべて] を選択したので、現在開いているページだけでなく作品全体の印刷を実行します。

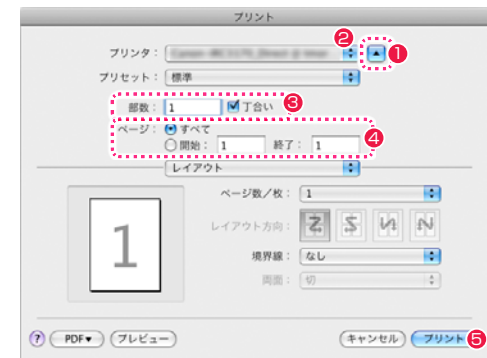
Mac OS X

1. ページを開く
[編集] ウィンドウの [ページ] タブで、ページを開きます。

2. コマンドを選択する
[ファイル] メニューから [印刷 ...] を選択します。

3. 印刷解像度を設定する
[印刷解像度] ダイアログが表示されたら、印刷解像度を確認します。印刷解像度はコンピュータに接続されているプリンタを参照して設定されますが、設定を変更することもできます。

注意：
[印刷解像度] ダイアログは、初回印刷時のみ [印刷 ...] を選択した直後に表示されます。2 回目以降は [ページ設定] ダイアログの [OK] ボタンをクリックした後に表示されます。

4. ページ設定を行う
[ページ設定] ダイアログが表示されたら、設定を行い [OK] ボタンをクリックします。

5. 印刷を実行する
[プリント] ダイアログが表示されたら、設定を行います。

❶ [プリント] ダイアログを詳細表示にします。

❷プリンタを選択します。

❸印刷部数を設定します。ここでは部数 [1] を指定します。

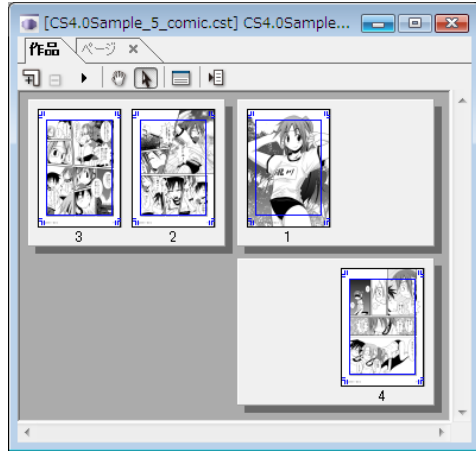
❹印刷ページを設定します。ここでは [すべて] を選択します。

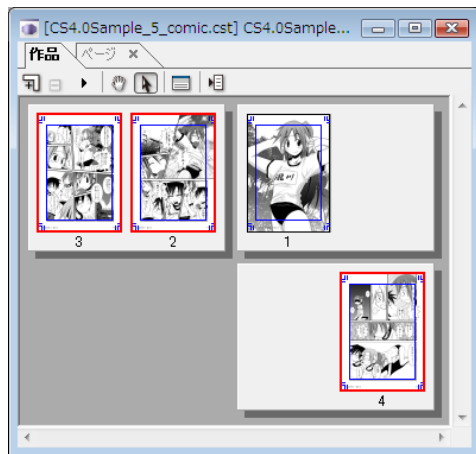
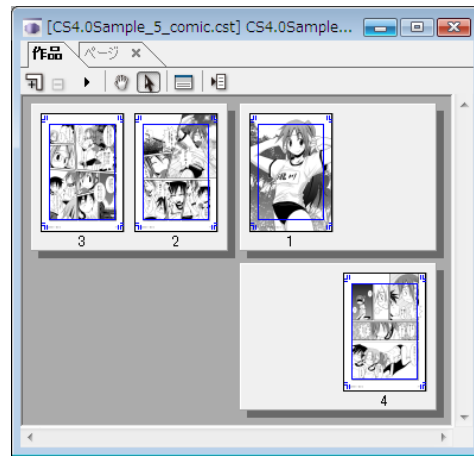
❺ [プリント] ボタンをクリックすると印刷を実行します。ここでは [すべて] を選択したので、現在開いているページだけでなく作品全体の印刷を実行します。

複数のページを印刷する

印刷したいページの範囲を [編集] ウィンドウで選択できます。

作例
ここでは 2 ページから 4 ページまでを選択して印刷します。

1. ページ一覧を開く
[編集] ウィンドウの [作品] タブで印刷したいページの範囲を選択します。

編集ウィンドウの [作品] タブで、ページ一覧を開きます。

2. 印刷したいページを選択する
ページを選択するには、次の 2 種類の方法があります。

- **[Shift] キーを押しながらクリックして選択**
  [Shift] キーを押しながら印刷したいページの最初と最後をクリックすると、その範囲のすべてのサムネイルの周囲が赤く表示されます。

- **[Ctrl] キーを押しながらクリックして選択**
  [Ctrl] キーを押しながら印刷したい複数のページをクリックするとその部分のサムネイルの周囲が赤く表示されます。

3. 印刷する
選択したページを印刷します。
[ファイル] メニューから [印刷 ...] を選択すると [印刷] ダイアログが開きます。

❶ 選択しているページの最初のページと、最後のページが印刷範囲として設定されています。

❷ [ページ指定] を選択します。

❸ [OK] ボタンをクリックします。選択したページの印刷が実行されます。

POINT

・印刷したい範囲を選択する場合、編集中のページを開いた状態では、開いているページのみが印刷の対象となります。
・1 ページのみ、もしくは見開きのページを 1 つだけ選択したときは 1 ページから最終ページが印刷の対象になります。

Chapter

第3章

描画

本章では描画形式や、原稿用紙に絵を描くためのツールについて紹介します。

Step: 01 描画形式

描画形式には、ラスター描画とベクター描画があります。

ラスター描画

ラスター描画とは、小さな点の集まりで表現される「ラスター形式」による描画方法です。拡大を行うと輪郭にジャギー (ギザギザ) が現れたり、縮小を行うと情報が失われたりする場合があります。このため、拡大・縮小、変形などを行う描画には適しません。

[等倍]

[拡大]
(ジャギーが現れ、画像が荒れる)

ベクター描画【Pro/EX】

ベクター描画とは、点の座標とそれを結ぶ線や面のパラメータ情報で表現される「ベクター形式」による描画方法です。画像を拡大したり、縮小したり変形したりしても、解像度に見合った画質が維持されます。

[等倍]

[拡大]
(ジャギーが現れず、画像が荒れない)

注意 :

[鉛筆]・[塗りつぶし]・[閉領域フィル]・[筆ペン]・[パターンブラシ] ツールは、[ベクターレイヤー] では使用できません。

アンチエイリアス【Pro/EX】

「アンチエイリアス」とは、画像の輪郭を滑らかに表示する機能です。

[アンチエイリアスのない線]

[アンチエイリアスのある線]

ラスターレイヤーの場合

[ラスターレイヤー] では、描画ツールの [ツールオプション] で [アンチエイリアス] チェックボックスをオンにすると、アンチエイリアスのある線を描画できます。8bit 以上のラスターレイヤーのみ有効です。

アンチエイリアス描画	1bit/2bit	8bit	32bit
ラスターレイヤー	×	○	○

ベクターレイヤーの場合

[ベクターレイヤー] では、[表示] メニュー→ [ベクター表示] → [アンチエイリアス表示] をオン・オフすると、アンチエイリアスのある線の表示・非表示を切り替えできます。

アンチエイリアス描画	1bit/2bit	8bit	32bit
ベクターレイヤー	○	-	○

注意 :

[ベクターレイヤー] の [アンチエイリアス表示] は表示・非表示を切り替えできますが、[ラスターレイヤー] の [アンチエイリアス] をオンにして描画した線はアンチエイリアスのない線への変更はできません。

中心線表示【Pro/EX】

中心線表示とは、[ベクターレイヤー] 上に描かれた描線の中心を描線と異なる色で表示する機能です。[表示] メニューから [ベクター表示] → [中心線表示] をオン・オフすると、[ベクターレイヤー] の描線の [中心線表示] の表示・非表示を切り替えできます。

[中心線表示 : オフ]

[中心線表示 : オン]

Step: 02

描画色と表現色

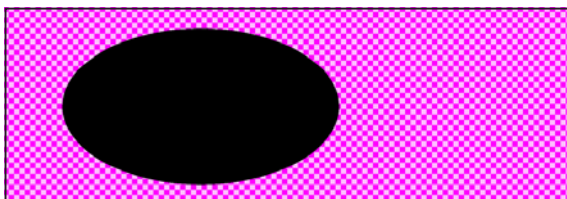
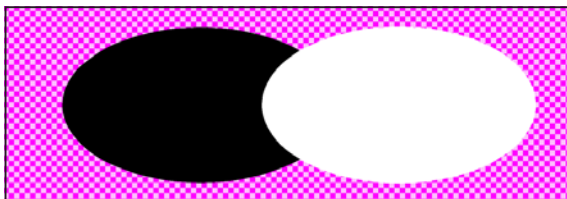
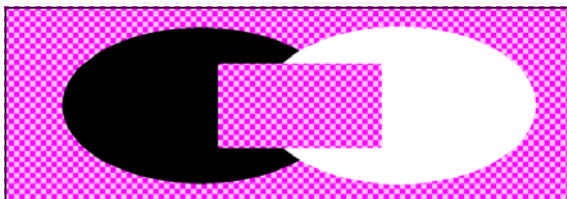
描画色の表現方法には、大きくモノクロ、グレー、カラーの３つの種類があります。

モノクロ（黒・白・透明）

モノクロのマンガを描く場合は、[黒]・[白]・[透明] の描画色を使います。1bit または 2bit の色深度を持つレイヤーを作成して描きます。各レイヤーで使用できる描画色は下記の通りです。

	1bit	2bit
ラスターレイヤー	黒、透明	黒、白、透明
ベクターレイヤー	-	黒、白

描画色は [ツール] パレットの [描画色選択エリア] から選択します。

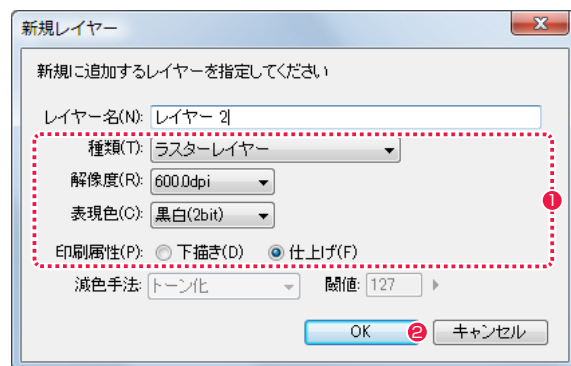
・[描画色：黒]
黒インクに相当します。黒い線を描いたり、黒く塗りつぶしたいときなどに使用します。

・[描画色：白]
白インクに相当します。白い線を描いたり、白く塗りつぶしたいときなどに使用します。白で描画した部分は透けずに保持します。

・[描画色：透明]
描くと透けるインクで、同一レイヤー上の [黒]、[白] で描画した上に重ねて描画すると、描画部分が消去されます。

POINT

・透明部分を確認したい場合は、第 12 章『表示とウィンドウ』→『Step:01 画面表示』→『透明部分表示』（⇒ P.426）を参照してください。
・描画色 [透明] は、[ベクターレイヤー] では使用できません。

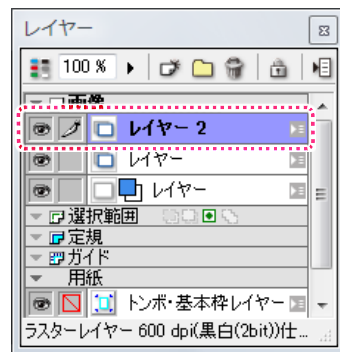
モノクロ描画に対応したレイヤーを作成する

モノクロのマンガを描く場合は、1bit または 2bit の色深度を持つレイヤーを作成して描きます。

1. ページを開く
[編集] ウィンドウの [ページ] タブで、ページを開きます。

2. レイヤーを作成する
[ウィンドウ] メニューから [レイヤー] を選択して [レイヤー] パレットを表示し、[新規レイヤー作成] ボタンをクリックすると [新規レイヤー] ダイアログが表示されます。

❶ [種類] で [ラスターレイヤー] または [ベクターレイヤー] を選択し、各項目の設定を行います。以下は標準設定です。

種類	ラスターレイヤー	ベクターレイヤー
解像度	600.0dpi	-
表現色	黒 (1bit) または黒白 (2bit)	黒白 (2bit)
印刷属性	仕上げ	-

❷ [OK] ボタンをクリックします。[レイヤー] パレットに新規レイヤーが作成されます。

POINT

[ラスターレイヤー] および [ベクターレイヤー] の特徴については、『Step:01 描画形式』（⇒ P.74）を参照してください。

グレー

写真画像や淡い精細なタッチのマンガを白黒で描く場合は、8bit の色深度を持つラスターレイヤーを作成してグレーで描きます。
1 枚のラスターレイヤー上に、異なる濃度の描画が行えます。同一レイヤーに描画した部分は透けずに保持します。

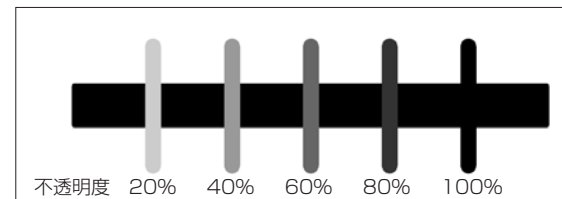
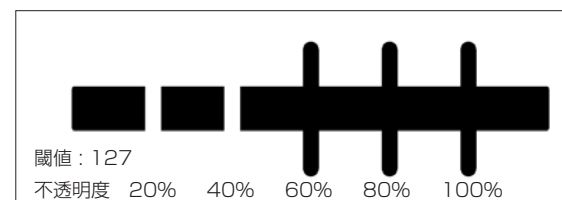
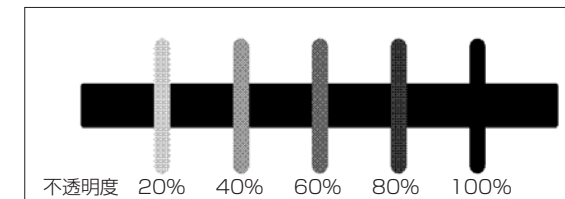
グレーの減色方法は下記の種類があります。

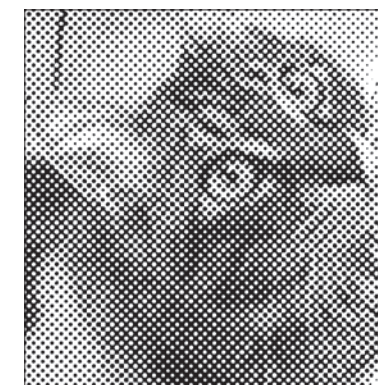
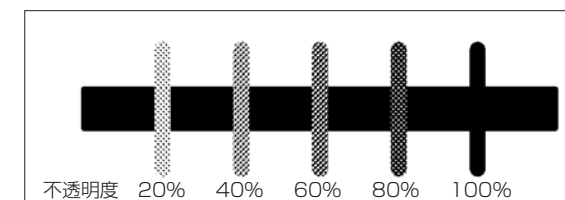
[減色しない]

グレーを 256 段階の階調で表現します。

[疑似階調]

グレーを疑似階調で表現します。

[閾値]（しきいち）

設定したグレー濃度（閾値）を境界に、黒と透明に振り分けます。

[トーン化]

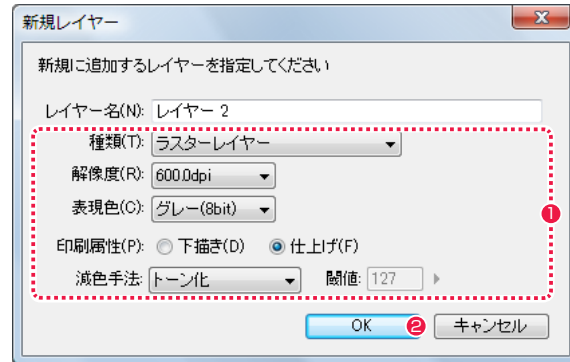
グレーを網点で表現します。

グレー描画に対応したレイヤーを作成する

グレーのマンガを描く場合は、8bit の色深度を持つラスターレイヤーを作成して描きます。

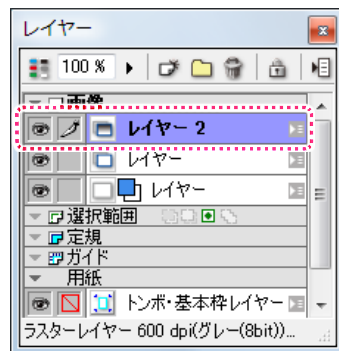
1. ページを開く

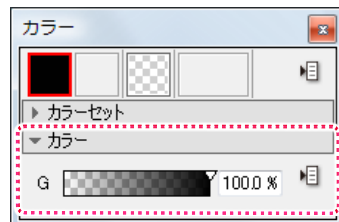
[編集] ウィンドウの [ページ] タブで、ページを開きます。

2. レイヤーを作成する

[レイヤー] パレットを表示し、[新規レイヤー作成] ボタンをクリックすると [新規レイヤー] ダイアログが表示されます。

❶ [種類] で [ラスターレイヤー] を選択し、各項目の設定を行います。
以下は標準設定です。

種類	ラスターレイヤー
解像度	600.0dpi
表現色	グレー (8bit)
印刷属性	仕上げ
減色手法	[減色しない]、[閾値]、[疑似階調]、[トーン化]

❷ [OK] ボタンをクリックします。[レイヤー] パレットに新規レイヤーが作成されます。

3. 描画する

描画ツールで、ラスター画像の描画が行えます。グレーを描画する場合の濃度は [カラー] パレットの [カラー] で調整できます。

写真画像を読み込んでグレー画像にする

写真画像を読み込む場合は、8bit の色深度を持つラスターレイヤーが作成されて読み込まれます。

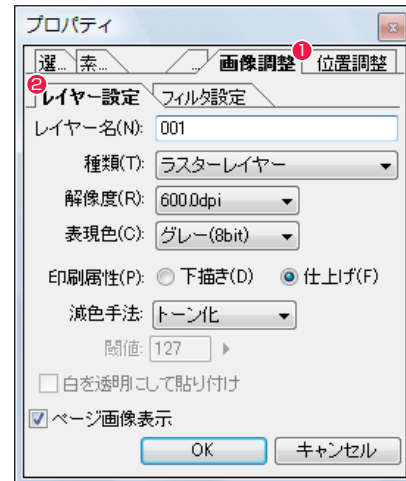
1. ページを開く

[編集] ウィンドウの [ページ] タブで、ページを開きます。

2. 写真画像を読み込む

[ファイル] メニューから [読み込み] → [画像ファイル ...] を選択し、[ファイルを開く] ダイアログから読み込む画像ファイルを選択します。

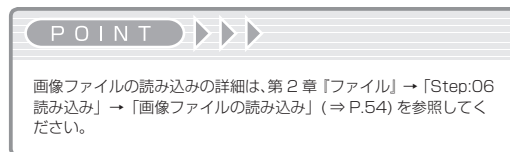
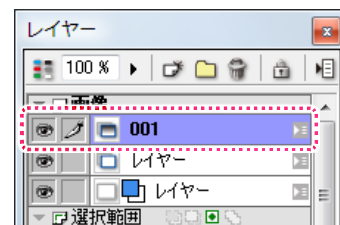
3. 写真画像を調整する

[プロパティ] パレットで画像調整の設定を行います。

❶ [画像調整] タブを選択します。

❷ [レイヤー設定] タブで各項目の設定を行います。以下は標準設定です。

種類	ラスターレイヤー
解像度	600.0dpi
表現色	グレー (8bit)
印刷属性	仕上げ
減色手法	[減色しない]、[閾値]、[疑似階調]、[トーン化]

❸ [OK] ボタンをクリックします。[レイヤー] パレットに新規レイヤーが作成されて画像が読み込まれます。

画像ファイルの読み込みの詳細は、第 2 章「ファイル」→「Step:06 読み込み」→「画像ファイルの読み込み」(⇒ P.54) を参照してください。

カラー

写真画像やカラーのマンガを描く場合は、32bit の色深度を持つラスターレイヤーを作成して描きます。また、モノクロで描いて単色カラーで表示することもできます。
1 枚のラスターレイヤー上に、異なる色、濃度の描画が行えます。同一レイヤーに描画した部分は透けずに保持します。

カラーの描画方法は下記の種類があります。

フルカラー

32bit の色深度を持つ [ラスターレイヤー] で、1 つのレイヤーに対して複数の色を使用できます。

単色カラー

8bit 以下の色深度を持つレイヤーの表示色を [黒色の代替色] で指定して単色表示します。

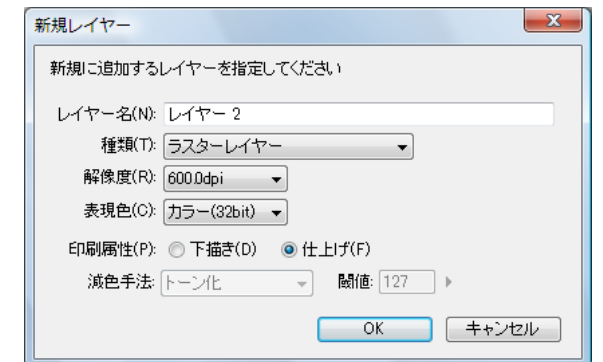
フルカラー描画に対応したレイヤーを作成する

フルカラーのマンガを描く場合は、32bit の色深度を持つラスターレイヤーを作成して描きます。

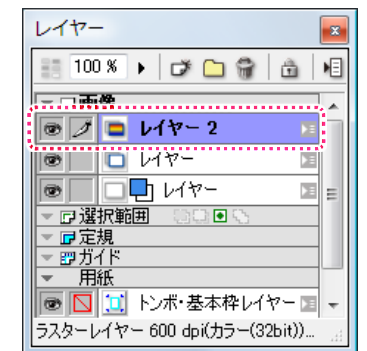
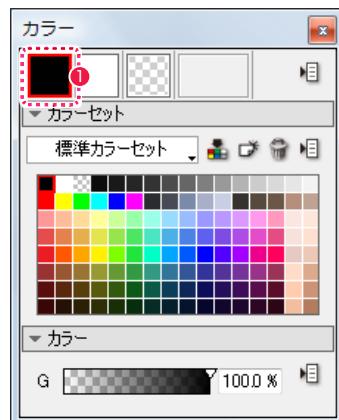
1. ページを開く

[編集] ウィンドウの [ページ] タブで、ページを開きます。

2. レイヤーを作成する

[レイヤー] パレットを表示し、[新規レイヤー作成] ボタンをクリックすると [新規レイヤー] ダイアログが表示されます。

❶ [種類] で [ラスターレイヤー] を選択し、設定を行います。
以下は標準設定です。

種類	ラスターレイヤー
解像度	600.0dpi
表現色	カラー (32bit)
印刷属性	仕上げ

❷ [OK] ボタンをクリックします。[レイヤー] パレットに新規レイヤーが作成されます。

3. 描画する
描画ツールで、ラスター画像の描画が行えます。フルカラーで描画する場合、色の選択は［カラー］パレットで行います。
［ウィンドウ］メニューから［カラー］を選択し、［カラー］パレットを開きます。

❶［描画色：黒］をダブルクリックすると［色の設定］ダイアログが表示され、別の色を選択できます。

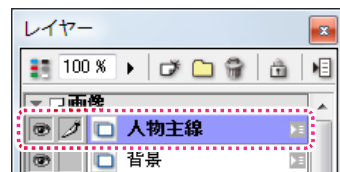
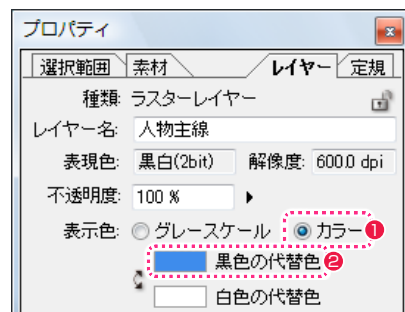
POINT

・［カラー］パレットの詳細は、第 14 章「全機能紹介」→「Step:03 ウィンドウ・パレット」→「カラーパレット」（⇒ P.472）を参照してください。
・［色の設定］ダイアログの詳細は、「色の選択」（⇒ P.81）を参照してください。

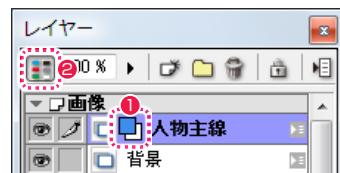
単色カラーでレイヤーを表示する

単色カラーのマンガを描く場合は、8bit 以下の色深度を持つレイヤーを選択します。

1. ページを開く
［編集］ウィンドウの［ページ］タブで、ページを開きます。

2. レイヤーを選択する
［レイヤー］パレットを表示し、単色表示の対象とするレイヤーを選択します。

3. 設定を行う
［プロパティ］パレットを表示し、［レイヤー］タブを選択します。

❶［表示色］から［カラー］ラジオボタンを選択します。

❷［黒色の代替色］をクリックすると［色の設定］ダイアログが表示され、別の色を選択できます。

4. 単色カラーが適用される
［プロパティ］パレットの［黒色の代替色］に設定されている色が適用されて、単色表示されます。

❶［レイヤー］パレットのレイヤーアイコンにも選択された代替色が表示されます。

❷［カラー表示］ボタンをクリックすると、グレースケール表示とカラー表示を切り替えできます。

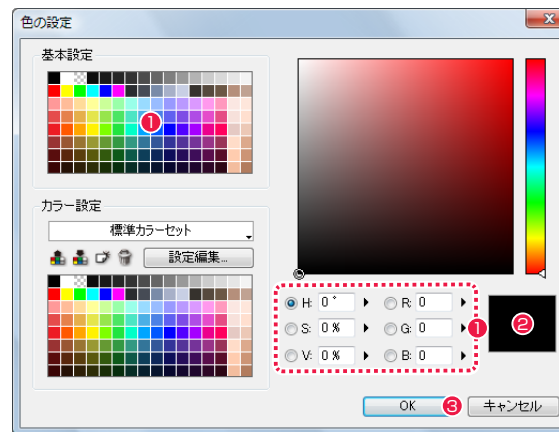
POINT

・［レイヤー］パレットのレイヤーアイコンをダブルクリックすると［色の設定］ダイアログを表示できます。
・［色の設定］ダイアログの詳細は、「色の選択」（⇒ P.81）を参照してください。

色の選択

［色の設定］ダイアログで描画色を選択します。

注意：
［色の設定］ダイアログは、下記の場合にのみ表示できます。
・［表現色］が［カラー（32bit）］以上のレイヤーが［レイヤー］パレットで選択されているとき。
・［表現色］が 8bit 以下のレイヤーが単色カラーで表示されているとき。

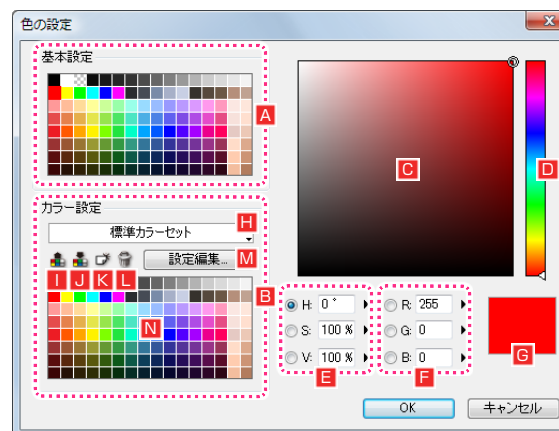
1.［色の設定］ダイアログで色を選択する
［ツール］パレットの、描画色［黒］または［白］をダブルクリックすると、［色の設定］ダイアログが表示されます。

❶ 色見本をクリックする、または数値入力で色を選択します。

❷［選択色表示］ボタンに選択した色が表示されます。

❸［OK］ボタンをクリックします。

2. 色の選択が完了する
［選択色表示］ボタンの色が描画色に設定されます。

［色の設定］ダイアログ

［ツール］パレットおよび［カラー］パレットの、描画色［黒］または［白］をダブルクリックすると、［色の設定］ダイアログが表示されます。

A［基本設定］エリア
128 色の基本設定色が並んでいます。

B［カラー設定］エリア【Pro/EX】
［カラーセット］の編集を行います。

C［カラーエリア］
クリックして詳細な色を選択します。

D［カラースライダー］
クリックしておおまかに色を選択します。

E［H］・［S］・［V］
色相 (Hue)、彩度 (Saturation)、明度 (Value) を調整して色を設定します。

F［R］・［G］・［B］
赤 (Red)、緑 (Green)、青 (Blue) を調整して色を設定します。

G［選択色表示］ボタン
現在選択している色が表示されます。
クリックすると表示色をカラーセットに登録します。

H［カラーセット表示］メニュー【Pro/EX】
［カラーセット］を表示・選択します。

I［色の取得］【Pro/EX】
［カラーセット］で選択した色を選択色にします。

J［色の登録］【Pro/EX】
現在の選択色を［カラーセット］の任意の場所に上書き登録します。

K［色の追加］【Pro/EX】
現在の選択色を［カラーセット］に新規に追加します。

L［色の削除］【Pro/EX】
［カラーセット］で選択している場所の色を削除します。

M［設定編集 ...］ボタン【Pro/EX】
［カラーセットの編集］ダイアログで、［カラーセット］の追加や削除などができます。

N［カラーセット］【Pro/EX】
［カラーセット表示］メニューで選択した［カラーセット］が表示されます。

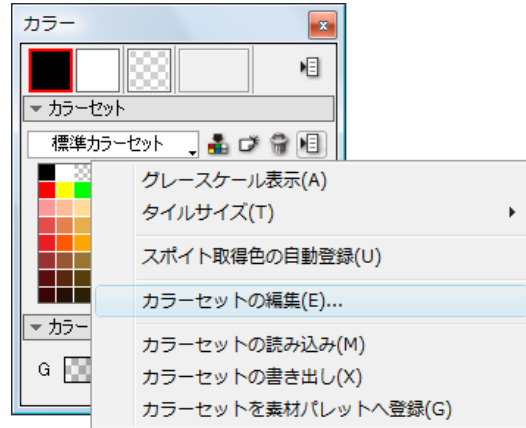
POINT

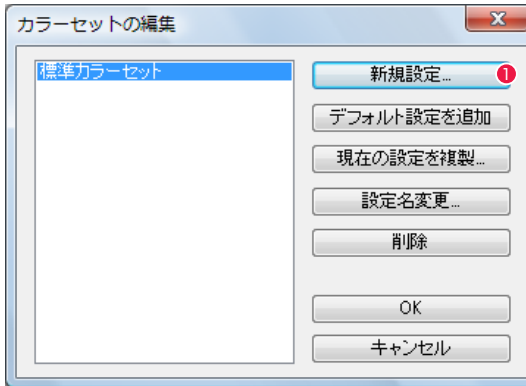
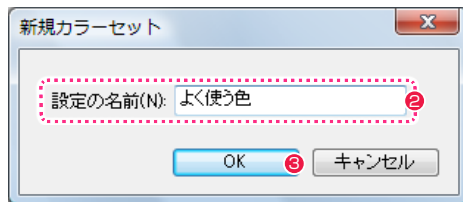
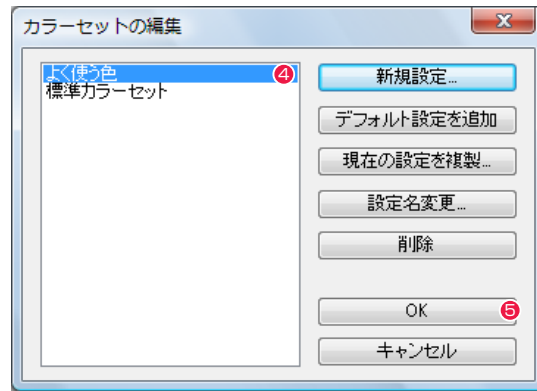
・［カラー設定］エリアの［カラーセット］から選択色を指定する場合は、クリックで選択後、［色の取得］ボタンをクリックします。
・［カラー設定］エリアの［カラーセット］から選択色を指定する場合は、クリックで選択後、［色の取得］ボタンをクリックします。ダブルクリックでも指定できます。
・［標準カラーセット］は、［基本設定］と同じ構成のカラーセットです。

カラーセットの作成【Pro/EX】

よく使う色を集めて［カラーセット］に登録できます。ここではカラーセットを新規作成する方法を説明します。

1. メニューを開く

［カラー］パレットのカラーセット欄にある［メニュー表示］ボタンをクリックし、メニューから［カラーセットの編集］を選択します。

2. 新規カラーセットを作成する

［カラーセットの編集］ダイアログで、カラーセットを作成します。

❶［カラーセットの編集］ダイアログの［新規設定］をクリックします。

❷［新規カラーセット］ダイアログの［設定の名前］に、カラーセットの名前を入力します。ここでは「よく使う色」と入力します。

❸［OK］をクリックします。

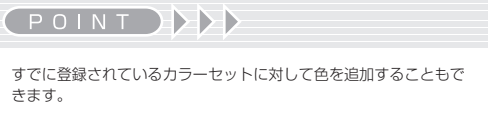
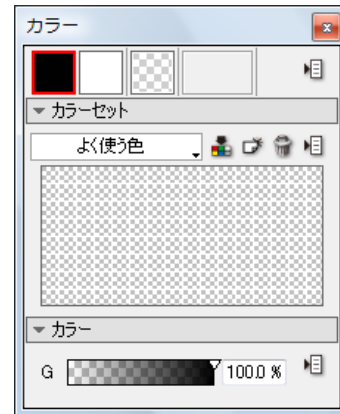
❹ 作成したカラーセットが、［カラーセットの編集］ダイアログのカラーセット一覧に追加されたのを確認します。

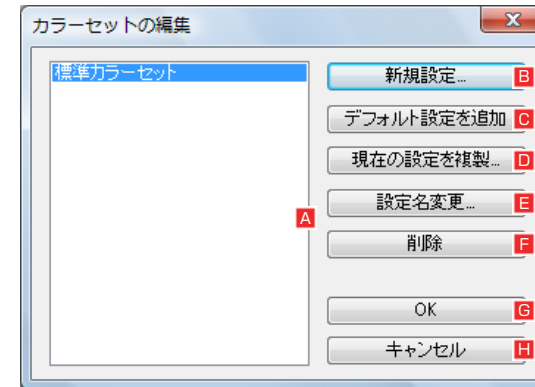
❺［OK］をクリックします。

3. カラーセットが作成される

［カラー］パレットのカラーセット一覧に、新規追加したカラーセットが作成されます。これに対して、色を登録します。

POINT

すでに登録されているカラーセットに対して色を追加することもできます。

［カラーセットの編集］ダイアログ

［カラー］パレットに登録したカラーセットファイルの編集を行います。

A カラーセット一覧

登録されている［カラーセット］を一覧表示します。

B［新規設定 ...］

新規カラーセットを作成し、カラーセット一覧に登録します。

C［デフォルト設定を追加］

カラーセット一覧に、［標準カラーセット］を追加登録します。

D［現在の設定を複製 ...］

カラーセット一覧で選択しているカラーセットをコピーして、カラーセット一覧に追加します。

E［設定名変更 ...］

カラーセット一覧で選択しているカラーセットの名称を変更します。

F［削除］

カラーセット一覧で選択しているカラーセットを削除します。

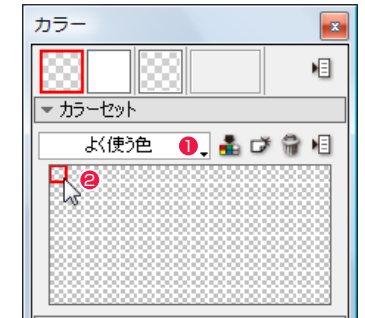
G［OK］

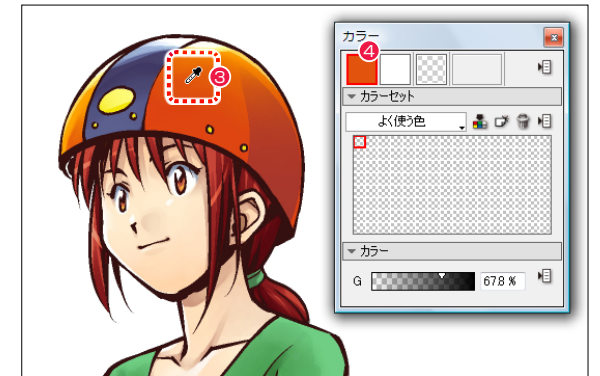
設定を反映し、ダイアログを閉じます。

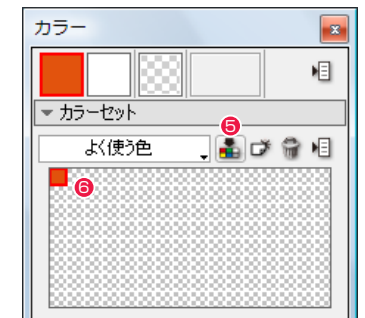
H［キャンセル］

設定をキャンセルし、ダイアログを閉じます。

カラーセットに色を登録【Pro/EX】

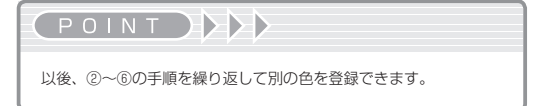
現在表示中の［カラーセット］に、選択した色を登録します。

❶［カラー］パレットのカラーセット一覧から、色を登録したいカラーセットを選択します。

❷［カラーセット］表示の任意の位置をクリックします。クリックした位置が赤い枠で表示されます。

❸［ツール］パレットから［スポイト］ツールを選択し、ページの画像をクリックして色を取得します。

❹ 取得した色が［カラー］パレットに描画色として表示されます。

❺［カラー］パレットの［色の登録］ボタンをクリックします。

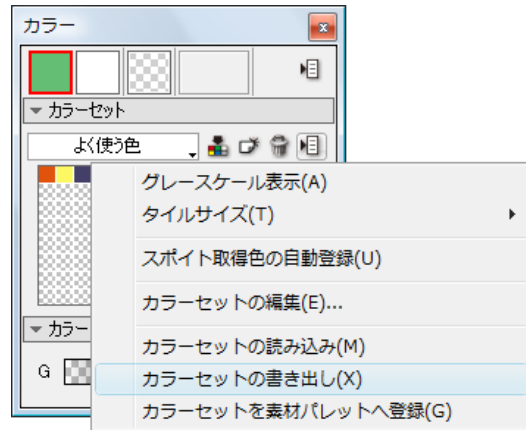
❻ スポイトで取得した色が登録されます。

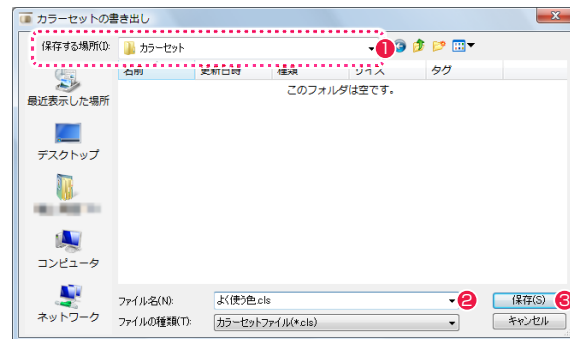
POINT

以後、②～⑥の手順を繰り返して別の色を登録できます。

カラーセットの書き出し【Pro/EX】

現在表示中の[カラーセット]を、カラーセットファイル（*.cls）に書き出して保存します。

1. メニューを開く

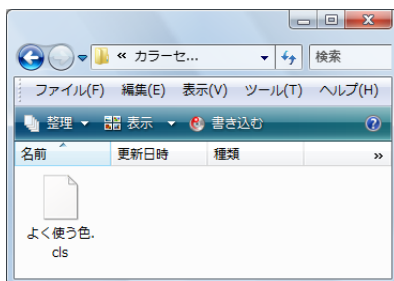
[カラー]パレットのカラーセット欄にある[メニュー表示]ボタンをクリックし、メニューから[カラーセットの書き出し]を選択します。

2. カラーセットを書き出す

[カラーセットの書き出し]ダイアログで、カラーセットを書き出します。

❶ [保存する場所]で保存場所を指定します。

❷ [ファイル名]に、カラーセットの名前を入力します。

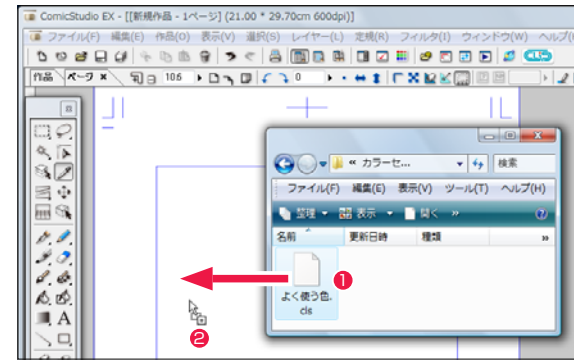
❸ [保存]をクリックします。

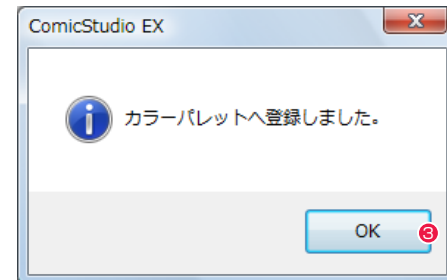
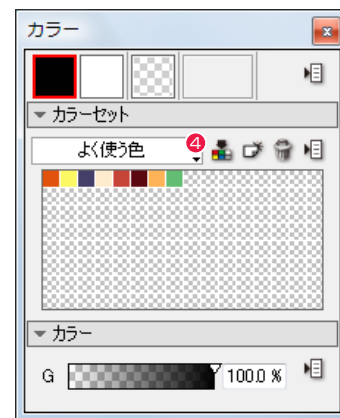
3. カラーセットファイルが書き出される

指定した保存場所に、カラーセットファイル（*.cls）が作成されます。

カラーセットの読み込み【Pro/EX】

保存したカラーセットファイル（*.cls）を読み込んで、[カラー]パレットの[カラーセット一覧]に登録します。

ドラッグ＆ドロップで読み込む

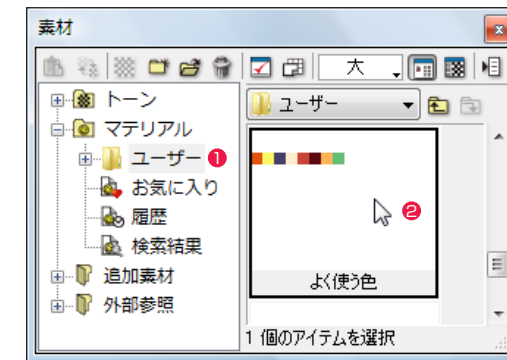
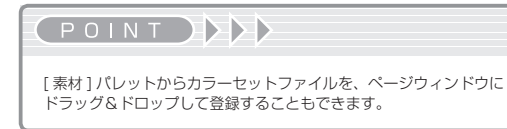
保存したカラーセットファイル（*.cls）の読み込みは、下記の手順で行います。

❶ カラーセットファイルを用意します。ここでは「よく使う色」という名前のカラーセットファイルを使用します。

❷ カラーセットファイルを、ページウィンドウにドラッグ＆ドロップします。

❸ 確認のメッセージが表示されたら、[OK]をクリックします。

❹ [カラー]パレットに、ドラッグ＆ドロップしたカラーセットファイルが読み込まれ、登録されます。

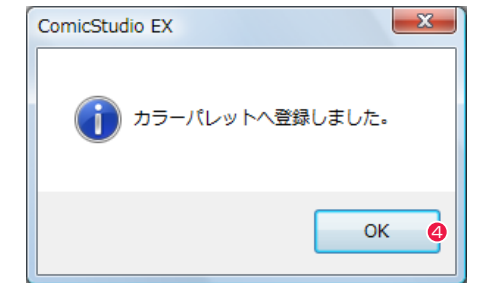
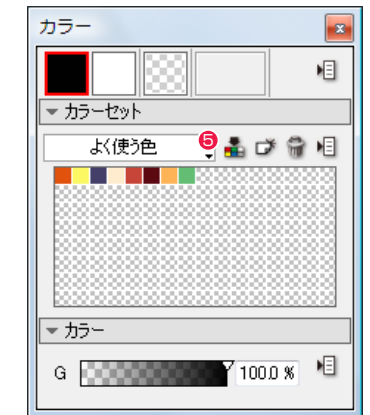
ダブルクリックで読み込む

[素材]パレットに保存されたカラーセットファイルの読み込みは、下記の手順で行います。

POINT

[素材]パレットからカラーセットファイルを、ページウィンドウにドラッグ＆ドロップして登録することもできます。

❶ [素材]パレットから[マテリアル]→[ユーザー]を選択します。

❷ カラーセットファイルのアイコンをダブルクリックします。ここでは「よく使う色」という名前のカラーセットファイルを使用します。

❸ [プロパティ]パレットの[素材]タブが表示されます。[設定の読み込み]ボタンをクリックします。

❹ 確認のメッセージが表示されたら、[OK]をクリックします。

❺ [カラー]パレットに、ドラッグ＆ドロップしたカラーセットファイルが読み込まれ、登録されます。

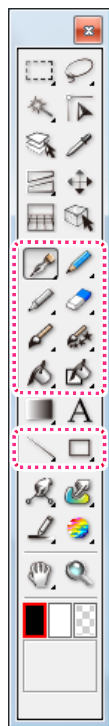
Step:03 描画ツールの設定

ここでは [ツール] パレットと [ツールオプション] パレットによる調整方法を紹介します。
各部の名称については、第 14 章『全機能紹介』→『Step:03 ウィンドウ・パレット』(⇒ P.466) を参照してください。

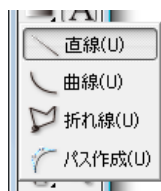
ツールパレット

[ウィンドウ] メニューの [ツール] を選択すると表示します。
各種コマンドがボタンになって並んでいます。

描画ツール

この章では、下図で囲った部分に配置されている、描画ツールについて紹介します。

ツールメニュー

[ツール] パレットに配置されたツールボタンの右下に「▼」が表示されているものは、右クリックまたは長押しするとツールメニューまたはツール設定メニューが表示されます。

ツールメニューは、他のツールに切り替えることができます。

ツール設定メニュー

[ツール] パレットに配置されたツールボタンの右下に「▼」が表示されているものは、右クリックまたは長押しするとツールメニューまたはツール設定メニューが表示されます。

ツール設定メニューは、ツールの設定を切り替えることができます。

POINT

[ツール設定メニュー] は、[ツールオプション] パレットの [ツール設定メニュー] ボタンをクリックして表示することもできます。

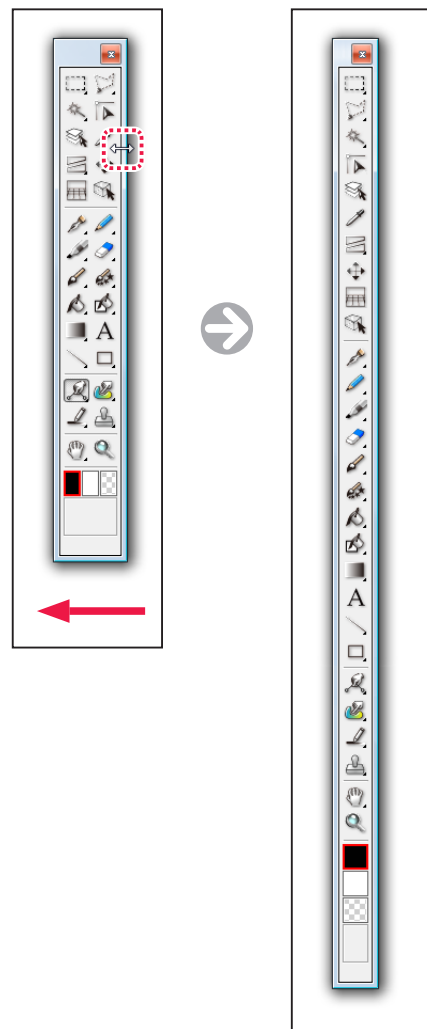
パレットを変形する

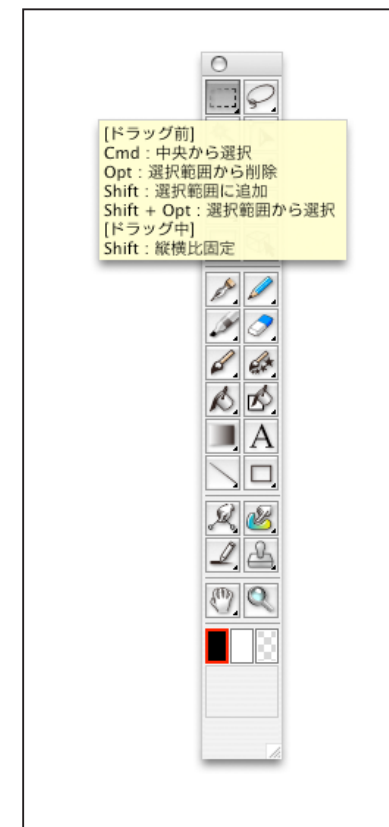
[ツール] パレットの枠にカーソルを置いて図の形になった時にドラッグすると、パレットのサイズをツールアイコン縦 1 列分まで変更できます。

注意：

パレットのサイズを変更すると画面からはみ出してしまう場合は、はみ出さないサイズまでしか縮まりません。

POINT　Mac OS X 版の場合

Mac OS X 版の場合は、右下の部分にマウスカーソルを合わせてドラッグすると、パレットの形状を変えられます。

ショートカットキー情報を表示する M

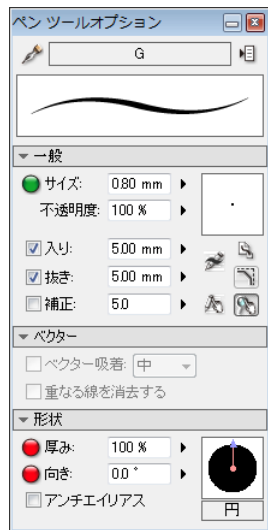
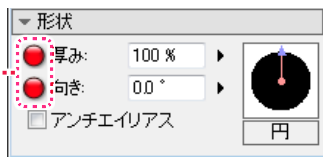
[ツール] パレットのツールを選択しているときに [command] キーを押すと、現在選択しているツールから他のツールに一時的に切り替えるためのショートカットキー情報を表示します。

POINT　Windows 版の場合

Windows 版の場合は、ツールのショートカットキー情報をステータスバーに表示します。

ツールオプションパレット

[ウィンドウ] メニューから [ツールオプション] を選択すると表示されます。ツールのオプション設定の調整ができます。メニューやボタンをクリックするとさらにメニューやアイコンが表示され、詳細な設定ができます。

[ツールオプション] パレット・タブ表示

[ツールオプション] パレットの [メニュー表示] ボタンをクリックし [リスト表示] を選択すると、[ツールオプション] パレットがリスト表示になります。

[ツールオプション] パレット・リスト表示

[ツールオプション] パレットの [ブラシコントロール] ボタンをクリックすると、ブラシの詳細な設定ができるダイアログが表示されます。

POINT

[ツールオプション] パレットの各部の名称は、各ツールの紹介ページを参照してください。

[ブラシコントロール] ダイアログ

[ツールオプション] パレットの [ブラシコントロール] ボタンをクリックすると表示されます。ブラシのサイズ、厚み、向きの設定ができます。

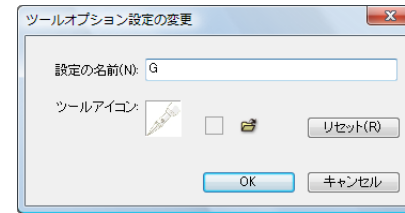
[ブラシ形状の変更メニュー]

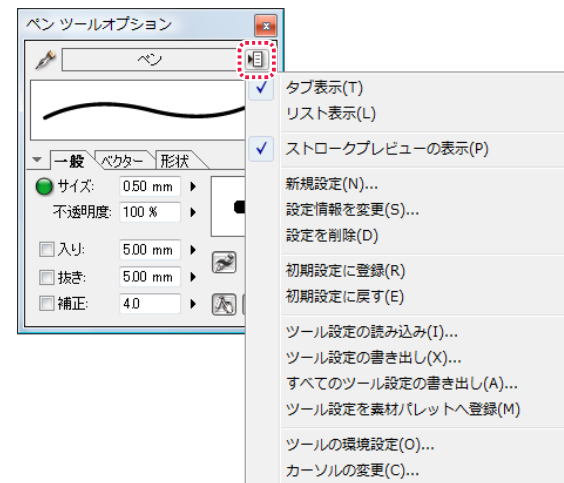
[形状] 欄の [ブラシ形状の変更メニュー] ボタンをクリックすると表示されます。ブラシ形状の変更ができます。

[多角形の編集] ダイアログ

[ブラシ形状の変更メニュー] の [多角形の編集 ...] ボタンをクリックすると表示されます。ブラシ形状を多角形にする場合の編集ができます。多角形の形状はプレビュー上をドラッグすると調整できます。

[ツールオプション設定の変更] ダイアログ

[メニュー表示] ボタンをクリックして [設定情報を変更 ...] を選択すると表示されます。ツール設定の名前やツールアイコンを設定できます。

メニュー

[メニュー] ボタンをクリックすると表示されるメニューです。パレットの表示や、ツール設定の管理などができます。

・[タブ表示]
パレットを、タブ切り替え式の表示にします。

・[リスト表示]
パレットを、切り替えなしのリスト表示にします。

・[ストロークプレビューの表示]
パレットに、ツールのストロークプレビューを表示します。

・[新規設定 ...]
[新規ツールオプション設定] ダイアログを表示し、新規にツール設定を作成します。

・[設定情報を変更 ...]
[ツールオプション設定の変更] ダイアログを表示し、選択中のツール設定の名前やツールアイコンを変更できます。

・[設定を削除]
選択中のツール設定を削除します。

・[初期設定に登録]
現在のツールオプションの状態を、選択中のツール設定の初期設定として登録します。

・[初期設定に戻す]
現在のツールオプションの状態を、選択中のツール設定の初期設定に戻します。

・[ツール設定の読み込み ...]
ツールセットファイル（*.tos）を読み込み、ツール設定を追加します。

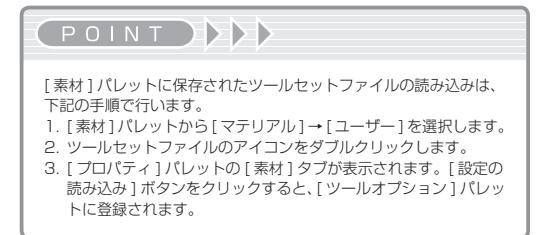
・[ツール設定の書き出し ...]
選択中のツール設定をツールセットファイル（*.tos）として書き出します。

・[現在のツール設定をすべて書き出し ...]
[ツール設定] パレットに表示中のすべてのツール設定をツールセットファイル（*.tos）として書き出します。

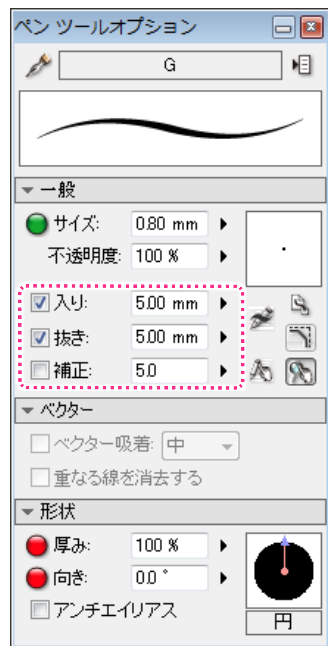
・[ツール設定を素材パレットに登録 ...]
選択中のツール設定を [素材] パレットに登録します。ツール設定は、[素材] パレットの [マテリアル] → [ユーザー] に登録されます。

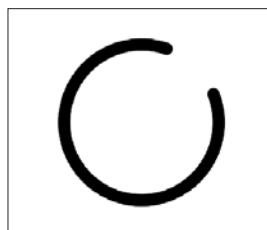
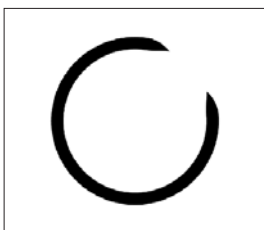
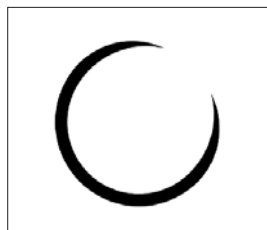
・[ツールの環境設定 ...]
[環境設定] ダイアログ→ [ツール] を表示し、ツールに関する設定を行います。

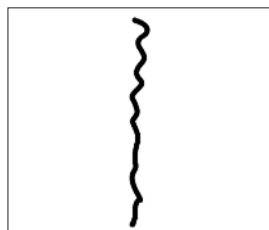
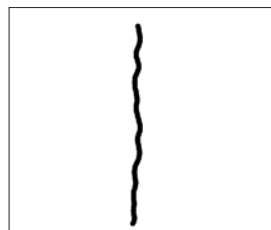
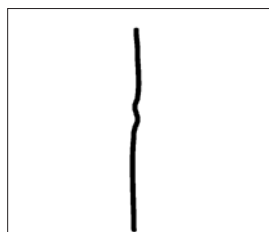
・[カーソルの変更 ...]
[環境設定] ダイアログ→ [ページ] → [カーソル] を表示し、ツールのカーソルの形状について設定を行います。

POINT

[素材] パレットに保存されたツールセットファイルの読み込みは、下記の手順で行います。
1. [素材] パレットから [マテリアル] → [ユーザー] を選択します。
2. ツールセットファイルのアイコンをダブルクリックします。
3. [プロパティ] パレットの [素材] タブが表示されます。[設定の読み込み] ボタンをクリックすると、[ツールオプション] パレットに登録されます。

入り・抜き・補正

一部の描画ツールは、[入り]・[抜き]・[補正] を設定できます。[入り]・[抜き]・[補正] は、対応ツールの [ツールオプション] パレットで設定します。

・[入り]
描き始めの部分で徐々に太くなっていく、[入り] の設定ができます。

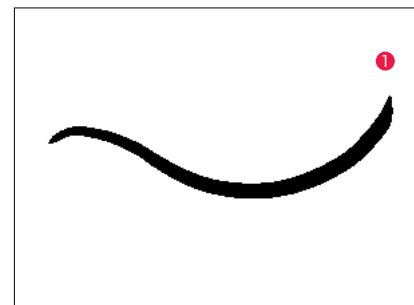
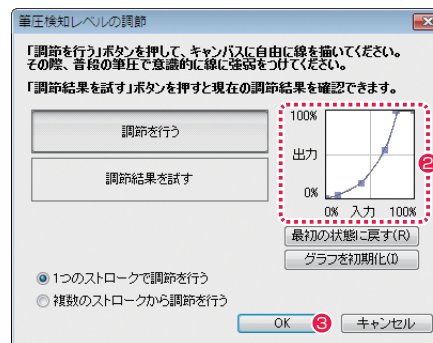
・[抜き]
描き終わりの部分で徐々に細くなっていく、[抜き] の設定ができます。

[入り]・[抜き] オフ

[入り]・[抜き] オン
(3mm)

[入り]・[抜き] オン
(20mm)

・[補正]
タブレット使用時に発生する「手ぶれ」などを吸収し、滑らかな線を描画できます。

[補正 : オフ]

[補正 : オン]
(10)

[補正 : オン]
(20)

POINT

・[補正] の数値を大きくすると滑らかな線になりますが、タブレット上で実際に描かれた線とは若干異なる線が描画され、細かいニュアンスが失われる場合があります。
・[ベクター描画] の場合、[補正] をオフにしたり数値を下げすぎたりすると、タブレットからのデータをそのまま感知し、データが肥大化する要因になります。

筆圧検知レベルの調節

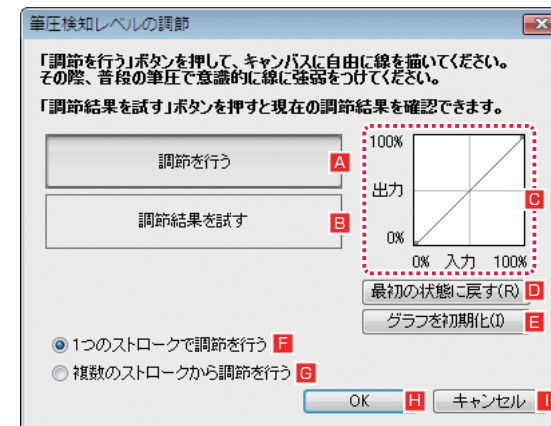
タブレットを使用する場合の筆圧検知レベルを、自動で調節できます。
初回起動時には、筆圧検知レベルの調節を行うかを確認するメッセージが表示されます。後で筆圧検知レベルの調節を行いたいときは、[ファイル] メニューから [カスタマイズ] → [筆圧検知レベルの調節] を選択すると、[筆圧検知レベルの調節] ダイアログが表示されます。

❶ [筆圧検知レベルの調節] ダイアログが表示されたら、タブレットを使用して普段の筆圧で、意識的に強弱のついた線をページ上に描きます。

❷ 筆圧を検知して、[筆圧検知レベルの調節] ダイアログのグラフが変化します。必要に応じてグラフ上のハンドルをドラッグし、レベルを調節します。

❸ [OK] ボタンをクリックします。

POINT

調節結果をリセットする場合は、[ファイル] メニューから [カスタマイズ] → [筆圧検知の調節結果をリセット] を選択します。

[筆圧検知レベルの調節] ダイアログ

[ツールオプション] パレットの [ブラシコントロール] ボタンをクリックすると表示されます。ブラシのサイズ、厚み、向きの設定ができます。

A [調節を行う]
クリックしてページに線を描くと、筆圧を感知して筆圧検知レベルの調節を行います。

B [調節結果を試す]
クリックすると、筆圧検知レベルの調節結果をページに試し描きできます。

C [グラフ]
筆圧検知レベルを曲線グラフとして表示します。

D [最初の状態に戻す]
曲線グラフを調節する前の状態に戻します。

E [グラフを初期化]
曲線グラフを初期値の状態に戻します。

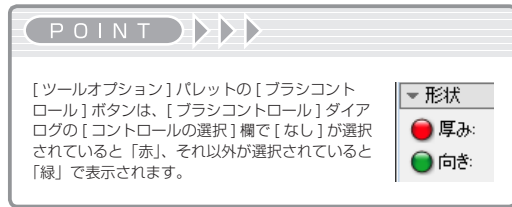
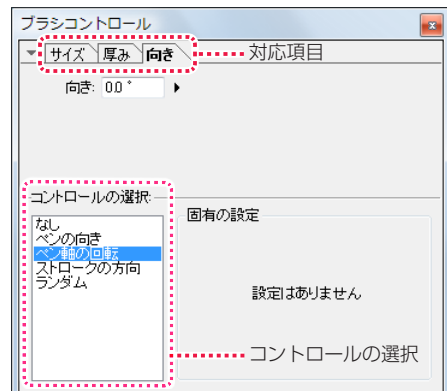
F [1 つのストロークで調節を行う]
筆圧を感知して筆圧検知レベルの調節を行うときに、1 つのストロークを感知して調節を行います。

G [複数のストロークから調節を行う]
筆圧を感知して筆圧検知レベルの調節を行うときに、複数のストロークを感知して調節を行います。

H [OK]
[筆圧検知レベルの調節] ダイアログの設定を反映し、ダイアログを閉じます。

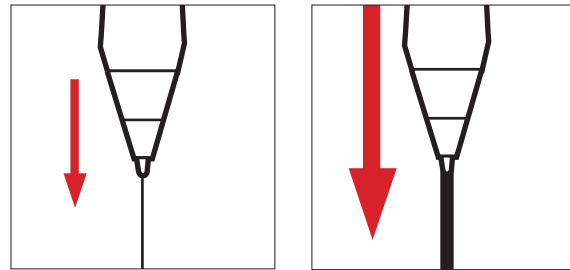
I [キャンセル]
設定をキャンセルし、ダイアログを閉じます。

ブラシコントロール

描画ツールの［筆圧］や［ペンの傾き］などの詳細を、［ブラシコントロール］ダイアログを使用して調整します。
［ブラシコントロール］ダイアログは、［ツールオプション］パレットの［ブラシコントロール］ボタンをクリックすると表示されます。

対応項目のタブの種類は、ツールの種類によって異なります。
［コントロールの選択］欄は、対応項目によって内容が異なります。

以下に［ブラシコントロール］ダイアログでの調整例を紹介します。

例 1：ペンの筆圧

ペンの筆圧によって、［サイズ］(線の太さ) が変化します。

対応項目	サイズ
対応コントロール	ペンの筆圧

［ペンの筆圧を弱くした場合：細い線］

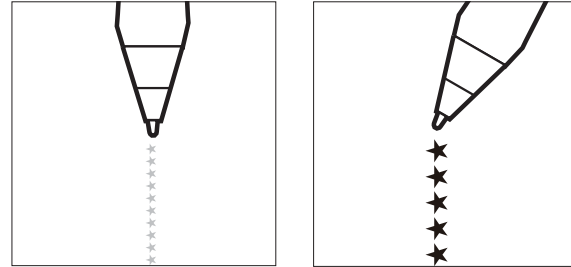
［ペンの筆圧を強くした場合：太い線］

	対応機器の例
ペンタブレット	ワコム「FAVO」シリーズ、「Intuos」シリーズ、「Cintiq」シリーズ、「Bamboo」シリーズ

［ペン］･［鉛筆］･［筆ペン］･［消しゴム］ツールの初期設定では、［サイズ］タブの［ペンの筆圧］がオンになっています。

例 2：ペンの傾き

ペン軸を垂直にした場合と斜めにした場合で［サイズ］(線の太さ)･［不透明度］が変化します。

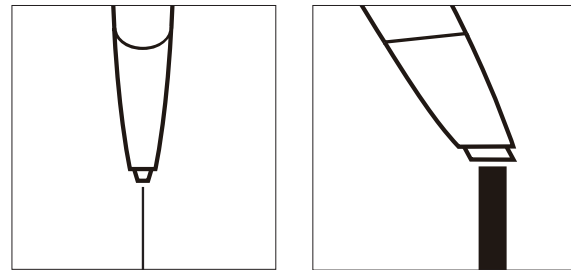
対応項目	サイズ
対応コントロール	ペンの傾き

［ペンを垂直にした場合：細い・薄い線］

［ペンを斜めにした場合：太い・濃い線］

	対応機器の例
ペンタブレット	ワコム「Intuos」シリーズ、「Cintiq 21UX」、「Cintiq 12WX」

例 3：ペン軸の回転

ペン軸の向きによって、線の太さが変化します。

対応項目	向き
対応コントロール	ペン軸の回転

［ペン軸の向きを縦にした場合：細い線］

［ペン軸の向きを横にした場合：太い線］

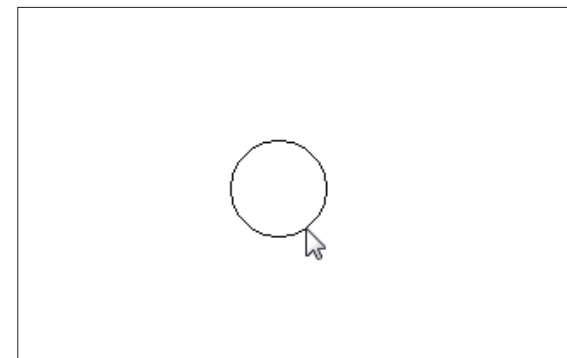
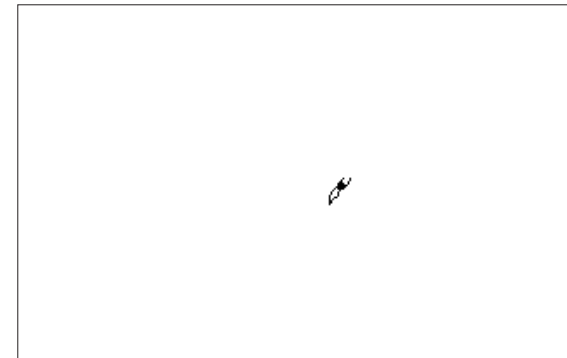
	対応機器の例
タブレット	ワコム「Intuos3」、「Intuos4」、「Cintiq 21UX」、「Cintiq 12WX」
ペン	ワコム「Intuos3 マーカー」、「Intuos4 アートペン」

［ペン軸の回転］によって線の太さを変化させる場合、ブラシ形状を縦横比の異なるもの (例　厚み :50%、形状設定：四角) にする必要があります。

ショートカットキーによるブラシサイズ変更

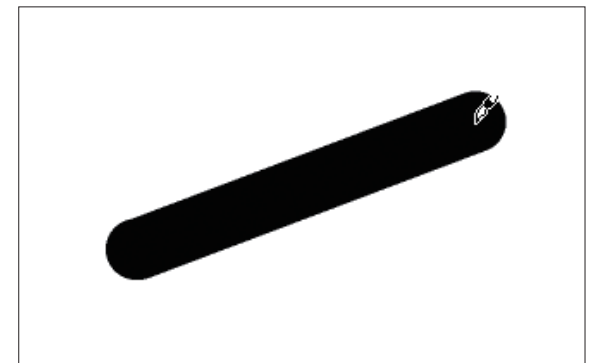
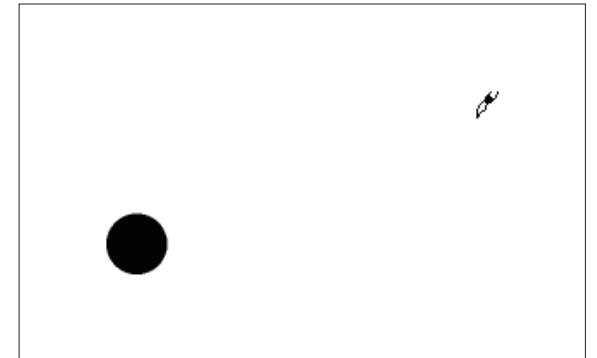
［ペン］ツールや［鉛筆］ツールなどを使用しているときに、[Ctrl] キーと [Alt] キーを同時に押しながらドラッグすると、ブラシサイズを変更できます。
ドラッグ時にページ上でブラシサイズをプレビューできます。

下記のツールでこの機能を使用できます。

- ［ペン］ツール
- ［鉛筆］ツール
- ［マジック］ツール
- ［消しゴム］ツール
- ［パターンブラシ］ツール
- ［筆ペン］ツール【Pro/EX】
- ［閉領域フィル］ツール【Pro/EX】
- ［直線］ツール
- ［曲線］ツール
- ［折れ線］ツール
- ［パス作成］ツール【Pro/EX】
- ［矩形］ツール
- ［楕円］ツール
- ［多角形］ツール

Shift キーによる直線描画

［ペン］ツールや［鉛筆］ツールなどを使用しているときに、カーソルを移動して [Shift] キーを押しながらクリックすると、その位置までの直線を引けます。

下記のツールでこの機能を使用できます。

- ［ペン］ツール
- ［鉛筆］ツール
- ［マジック］ツール
- ［消しゴム］ツール
- ［パターンブラシ］ツール
- ［筆ペン］ツール【Pro/EX】

Step: 04 描画ツールの種類

ComicStudio に搭載されている、[ペン] ツールなどの描画ツールを紹介します。描画ツールは [編集] ウィンドウの [ページ] タブでページを開いて使用します。

ペンツール

[ペン] ツールは、主にペン入れに使用します。G ペン、丸ペンなど、アナログのつけペンに準じた種類が用意されています。

対応描画レイヤー	[ラスターレイヤー] [反転レイヤー] [トーンレイヤー] [選択範囲レイヤー] [マスキングレイヤー] [ベクターレイヤー]
非対応描画レイヤー	[定規レイヤー] [枠線定規レイヤー]

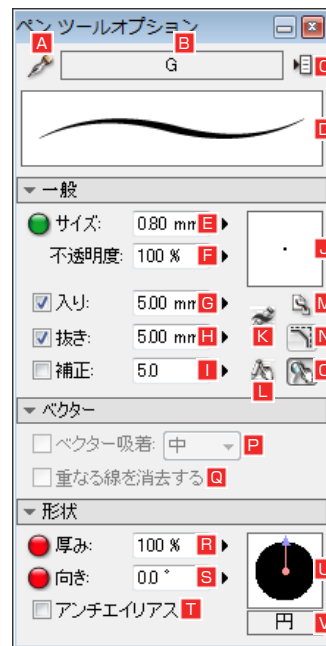
操作方法

1.[ツール] パレットを開く
[ウィンドウ] メニューから [ツール] を選択し、[ツール] パレットを開きます。

2. ツールを選択する
[ツール] パレットから [ペン] ツールを選択します。

3. 描画する
ページ上でドラッグすると、線を描画できます。

ツールオプション

[ウィンドウ] メニューから [ツールオプション] を選択すると、[ペン ツールオプション] パレットが表示されます。

A [描画ツールメニュー]
描画ツールを切り替えます。

B [ツール設定メニュー]
ツールの設定を切り替えます。

C [メニュー表示]
[タブ表示] と [リスト表示] を切り替えたり、設定の保存ができます。

D [ストロークプレビュー]
ストロークの形状設定をプレビュー表示します。

E [サイズ]
ペン先の線の太さを調整します。左の [ブラシコントロール] ボタンをクリックすると、ダイアログで詳細な設定が行えます。

F [不透明度]
線の不透明度を調整します。

G [入り]
[入り] のオン・オフ、および強さを調整します。

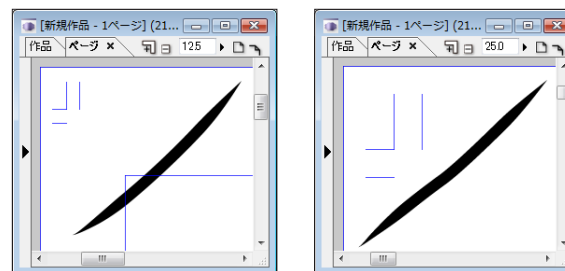
H [抜き]
[抜き] のオン・オフ、および強さを調整します。

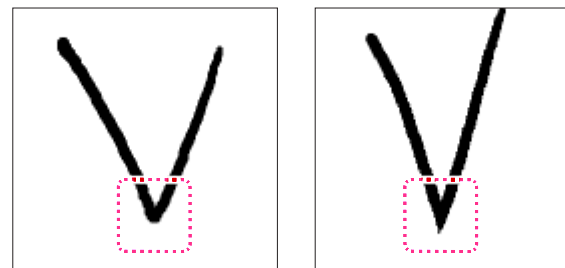
I [補正]
線の補正のオン・オフ、および強さを調整します。

J [サイズプレビュー]
[サイズ] の設定をプレビュー表示します。プレビューをドラッグしてもサイズを調整できます。

K [速度による入り・抜き]
ペンを動かす速度によって [入り]・[抜き] の強さを調整します。動かす速度が大きいほど、強くかかります。

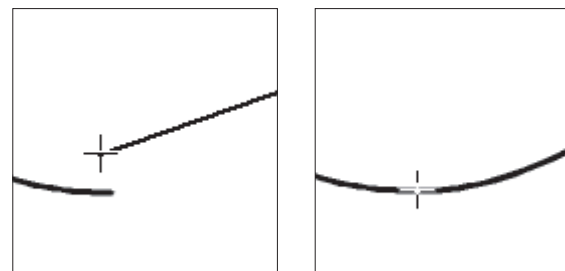
L [速度による補正]
ストロークの速度によって補正の強さを調整します。動かす速度が大きいほど、強くかかります。

M [サイズを画面上の値として使用]
設定や原稿の表示倍率に関係なく、[サイズプレビュー] のカーソルのサイズで描画します。

[サイズを画面上の値として使用 : オン] 表示倍率を変えても、同じ太さで描画します。

N [角をとがらせる]
描画した線の角をとがらせます。

[角をとがらせる : オフ]

[角をとがらせる : オン]

O [表示サイズを補正に影響させる]
ページの表示の拡大率に応じて補正の強さが変化します。

P [ベクター吸着]【Pro/EX】
描画する線を既に描かれている線に吸着させます。[ベクターレイヤー] のみ有効です。

[ベクター吸着 : オフ]

[ベクター吸着 : オン]

Q [重なる線を消去する]【Pro/EX】
すでに描かれている線のうち、新しく描かれた線に重なるものを消去します。[ベクターレイヤー] のみ有効です。

R [厚み]
ペン先形状の厚みを調整します。左の [ブラシコントロール] ボタンをクリックすると、ダイアログで詳細な設定が行えます。

S [向き]
ペン先形状の向きを調整します。左の [ブラシコントロール] ボタンをクリックすると、ダイアログで詳細な設定が行えます。

T [アンチエイリアス]【Pro/EX】
8bit 以上の [ラスターレイヤー] に対して、アンチエイリアスのかかった線を描画します。

U [形状プレビュー]
ペン先の形状設定をプレビュー表示します。ドラッグすると [向き] を調整できます。

V [ブラシ形状の変更メニュー]
[円]・[四角]・[多角形] メニュー、[多角形の編集 ...] ボタンが表示され、ペン先の形状を選択または編集できます。

鉛筆ツール

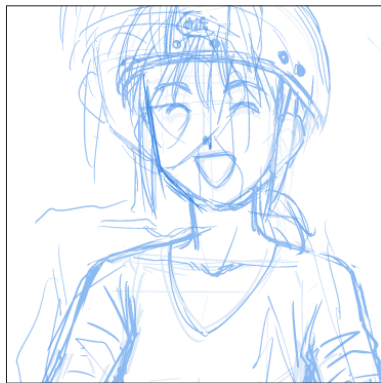
[鉛筆] ツールは、主にネームや下描きに使用します。

対応描画レイヤー	[ラスターレイヤー] [反転レイヤー] [トーンレイヤー] [選択範囲レイヤー] [マスキングレイヤー]
非対応描画レイヤー	[ベクターレイヤー] [定規レイヤー] [枠線定規レイヤー]

操作方法

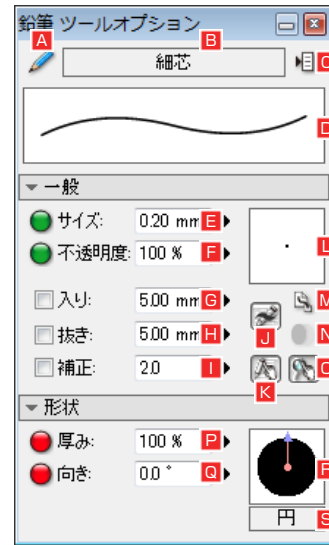
1.[ツール] パレットを開く
[ウィンドウ] メニューから [ツール] を選択し、[ツール] パレットを開きます。

2. ツールを選択する
[ツール] パレットから [鉛筆] ツールを選択します。

3. 描画する
ページ上でドラッグすると、鉛筆の線が描画できます。

POINT

[鉛筆] ツールでは筆圧によって濃淡のあるグレースケールでの描画ができます。使用するレイヤーの [減色手法] によって表示方法が変化します。詳しくは『グレー』(⇒ P.77) を参照してください。

ツールオプション

[ウィンドウ] メニューから [ツールオプション] を選択すると、[鉛筆 ツールオプション] パレットが表示されます。

A [描画ツールメニュー]
描画ツールを切り替えます。

B [ツール設定メニュー]
ツールの設定を切り替えます。

C [メニュー表示]
[タブ表示] と [リスト表示] を切り替えたり、設定の保存ができます。

D [ストロークプレビュー]
ストロークの形状設定をプレビューします。

E [サイズ]
ペン先の線の太さを調整します。左の [ブラシコントロール] ボタンをクリックすると、ダイアログで詳細な設定が行えます。

F [不透明度]
線の不透明度を調整します。左の [ブラシコントロール] ボタンをクリックすると、ダイアログで詳細な設定が行えます。

G [入り]
[入り] のオン・オフ、および強さを調整します。

H [抜き]
[抜き] のオン・オフ、および強さを調整します。

I [補正]
線の補正のオン・オフおよび強さを調整します。

J [速度による入り・抜き]
ストロークの速度によって [入り]・[抜き] の強さを調整します。

K [速度による補正]
ストロークの速度によって補正の強さを調整します。

L [サイズプレビュー]
[サイズ] の設定をプレビュー表示します。プレビューをドラッグしてもサイズを調整できます。

M [サイズを画面上の値として使用]
設定や原稿の表示倍率に関係なく、[サイズプレビュー] のサイズで描画します。

N [比較暗合成]
描画先より線が濃い場合に描画します。
オフにすると重なった線が濃くなります。
[グレースケール (8bit)] 以上で有効です。

O [表示サイズを補正に影響させる]
ページの表示の拡大率に応じて補正の強さが変化します。

P [厚み]
ペン先形状の厚みを調整します。左の [ブラシコントロール] ボタンをクリックすると、ダイアログで詳細な設定が行えます。

Q [向き]
ペン先形状の向きを調整します。左の [ブラシコントロール] ボタンをクリックすると、ダイアログで詳細な設定が行えます。

R [形状プレビュー]
ペン先の形状設定をプレビュー表示します。ドラッグすると [向き] を調整できます。

S [ブラシ形状の変更メニュー]
[円]・[四角]・[多角形] メニュー、[多角形の編集 ...] ボタンが表示され、ペン先の形状を選択または編集できます。

マジックツール

[マジック] ツールは、線の太さや濃淡が筆圧の影響を受けない、均一な線の描画に使用します。

対応描画レイヤー	[ラスターレイヤー] [反転レイヤー] [トーンレイヤー] [選択範囲レイヤー] [マスキングレイヤー] [ベクターレイヤー]
非対応描画レイヤー	[定規レイヤー] [枠線定規レイヤー]

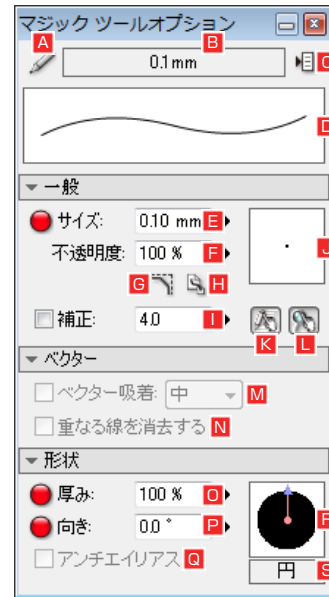
操作方法

1.[ツール] パレットを開く
[ウィンドウ] メニューから [ツール] を選択し、[ツール] パレットを開きます。

2. ツールを選択する
[ツール] パレットから [マジック] ツールを選択します。

3. 描画する
ページ上でドラッグすると、マジックの線が描画できます。

ツールオプション

[ウィンドウ] メニューから [ツールオプション] を選択すると、[マジック ツールオプション] パレットが表示されます。

A [描画ツールメニュー]
描画ツールを切り替えます。

B [ツール設定メニュー]
ツールの設定を切り替えます。

C [メニュー表示]
[タブ表示] と [リスト表示] を切り替えたり、設定の保存ができます。

D [ストロークプレビュー]
ストロークの形状設定をプレビュー表示します。

E [サイズ]
ペン先の線の太さを調整します。左の [ブラシコントロール] ボタンをクリックすると、ダイアログで詳細な設定が行えます。

F [不透明度]
線の不透明度を調整します。

G [角をとがらせる]
描画した線の角をとがらせます。

H [サイズを画面上の値として使用]
設定や原稿の表示倍率に関係なく、[サイズプレビュー] のサイズで描画します。

I [補正]
線の補正のオン・オフおよび強さを調整します。

J [サイズプレビュー]
[サイズ] の設定をプレビュー表示します。プレビューをドラッグしてもサイズを調整できます。

K [速度による補正]
ストロークの速度によって補正の強さを調整します。

L [表示サイズを補正に影響させる]
ページの表示の拡大率に応じて補正の強さが変化します。

M [ベクター吸着]【Pro/EX】
描画する線を既に描かれている線に吸着させます。[ベクターレイヤー] のみ有効です。

N [重なる線を消去する]【Pro/EX】
すでに描かれている線のうち、新しく描かれた線に重なるものを消去します。[ベクターレイヤー] のみ有効です。

O [厚み]
ペン先の厚みを調整します。左の [ブラシコントロール] ボタンをクリックすると、ダイアログで詳細な設定が行えます。

P [向き]
ペン先の向きを調整します。左の [ブラシコントロール] ボタンをクリックすると、ダイアログで詳細な設定が行えます。

Q [アンチエイリアス]【Pro/EX】
8bit 以上の [ラスターレイヤー] に対して、アンチエイリアスのかかった線を描画します。

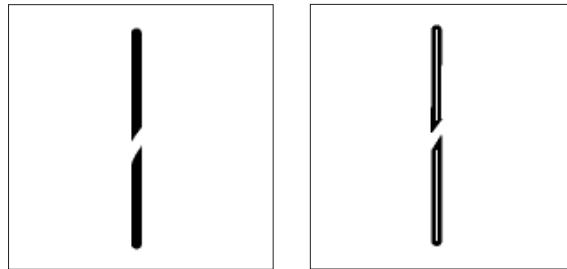
R [形状プレビュー]
ペン先の形状設定をプレビュー表示します。ドラッグすると [向き] を調整できます。

S [ブラシ形状の変更メニュー]
[円]・[四角]・[多角形] メニュー、[多角形の編集 ...] ボタンが表示され、ペン先の形状を選択または編集できます。

消しゴムツール

[消しゴム] ツールは、すでに描かれた線などの画像の消去に使用します。

対応描画レイヤー	[ラスターレイヤー] [ベクターレイヤー] [反転レイヤー] [トーンレイヤー] [選択範囲レイヤー] [マスキングレイヤー]
非対応描画レイヤー	[定規レイヤー] [枠線定規レイヤー]

Ver.4.0 では、[ベクターレイヤー] の線に消しゴムをかけたときも、[ラスターレイヤー] と同じような切り口になります。

[ラスターレイヤーでの切り口]

[ベクターレイヤーでの切り口]

操作方法

1.[ツール] パレットを開く
[ウィンドウ] メニューから [ツール] を選択し、[ツール] パレットを開きます。

2. ツールを選択する
[ツール] パレットから [消しゴム] ツールを選択します。

3. 消去する
ページ上でドラッグすると、画像を消去できます。

ツールオプション

[ウィンドウ] メニューから [ツールオプション] を選択すると、[消しゴム ツールオプション] パレットが表示されます。

A [描画ツールメニュー]
描画ツールを切り替えます。

B [ツール設定メニュー]
ツール設定を切り替えます。

C [メニュー表示]
[タブ表示] と [リスト表示] を切り替えたり、設定の保存ができます。

D [ストロークプレビュー]
ストロークの形状設定をプレビュー表示します。

E [サイズ]
消しゴムの太さを調整します。左の [ブラシコントロール] ボタンをクリックすると、ダイアログで詳細な設定が行えます。

F [ベクター消去]【Pro/EX】
ベクター線の消去方法を下記から選択します。[ベクターレイヤー] のみ有効です。

G [すべてのレイヤーを参照]【Pro/EX】
オンにすると、[ベクター消去] を行うときにすべてのベクターレイヤーを参照します。

H [ベクター吸着]【Pro/EX】
[消しゴム] ツールの適用を、既に描かれている線に吸着させます。[ベクターレイヤー] のみ有効です。

I [サイズプレビュー]
[サイズ] の設定をプレビュー表示します。プレビューをドラッグしてもサイズを調整できます。

J [サイズを画面上の値として使用]
設定や原稿の表示倍率に関係なく、[サイズプレビュー] のサイズで消去します。

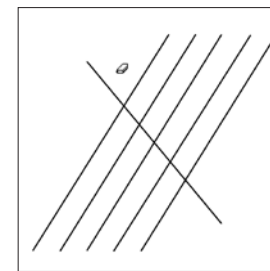
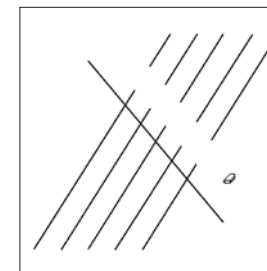
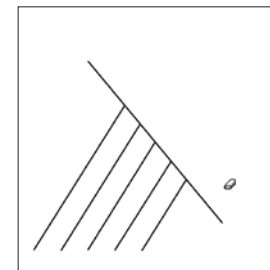
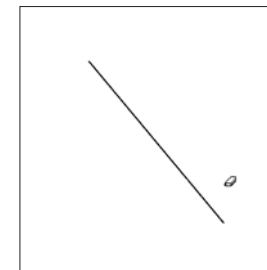
K [厚み]
消しゴム形状の厚みを調整します。左の [ブラシコントロール] ボタンをクリックすると、ダイアログで詳細な設定が行えます。

L [向き]
消しゴム形状の向きを調整します。左の [ブラシコントロール] ボタンをクリックすると、ダイアログで詳細な設定が行えます。

M [アンチエイリアス]【Pro/EX】
8bit 以上の [ラスターレイヤー] に対して、アンチエイリアスをかけて画像を消去します。

N [形状プレビュー]
消しゴムの形状設定をプレビュー表示します。ドラッグすると [向き] を調整できます。

O [ブラシ形状の変更メニュー]
[円] · [四角] · [多角形] メニュー、[多角形の編集 ...] ボタンが表示され、消しゴムの形状を選択または編集できます。

[ベクター消去] 描画見本【Pro/EX】

[元画像]

[触れた部分を削除]
消しゴムの触れた範囲のみ線を消します。

[交点までを削除]
消しゴムの触れた線は、他の線との交点まで消えます。

[線全体を削除]
消しゴムの触れた線は、すべて消えます。

定規を使用しているときに、[消しゴム] ツールを定規にスナップさせないで使えます。
[環境設定] ダイアログから [ページ] → [定規] を選択して表示される画面で、[消しゴムもスナップする] をオフにすると、[消しゴム] ツールが定規に対してスナップしなくなります。スナップのオン・オフを切り替えなくても、定規に関係なく線を消せます。

筆ペンツール【Pro/EX】

[筆ペン] ツールは、かすれた線の描画に使用します。

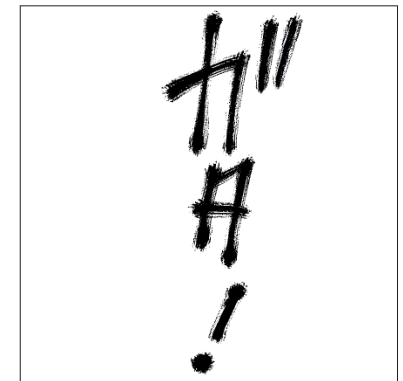
対応描画レイヤー	[ラスターレイヤー] [反転レイヤー] [トーンレイヤー] [選択範囲レイヤー] [マスキングレイヤー]
非対応描画レイヤー	[ベクターレイヤー] [定規レイヤー] [枠線定規レイヤー]

操作方法

1.[ツール] パレットを開く
[ウィンドウ] メニューから [ツール] を選択し、[ツール] パレットを開きます。

2. ツールを選択する
[ツール] パレットから [筆ペン] ツールを選択します。

3. 描画する
ページ上でドラッグすると、筆ペンの線が描画できます。

第3章 描画

ツールオプション

[ウィンドウ] メニューから [ツールオプション] を選択すると、[筆ペン ツールオプション] パレットが表示されます。

A [描画ツールメニュー]
描画ツールを切り替えます。

B [ツール設定メニュー]
ツールの種類を切り替えます。

C [メニュー表示]
[タブ表示] と [リスト表示] を切り替えたり、設定の保存ができます。

D [ストロークプレビュー]
ストロークの形状設定をプレビュー表示します。

E [サイズ]
ペン先の線の太さを調整します。左の [ブラシコントロール] ボタンをクリックすると、ダイアログで詳細な設定が行えます。

F [不透明度]
線の不透明度を調整します。左の [ブラシコントロール] ボタンをクリックすると、ダイアログで詳細な設定が行えます。

G [密度]
筆の毛先の数を調整できます。

[密度] : 1、[インク量] : 20 の描線

[密度] : 50、[インク量] : 20 の描線

[密度] : 100、[インク量] : 20 の描線

H [インク量]
筆の毛先一本あたりの太さを調整できます。

[密度] : 30、[インク量] : 1 の描線

[密度] : 30、[インク量] : 50 の描線

[密度] : 30、[インク量] : 100 の描線

I [サイズプレビュー]
[サイズ] の設定をプレビュー表示します。プレビューをドラッグしてもサイズを調整できます。

J [厚み]
ペン先形状の厚みを調整します。左の [ブラシコントロール] ボタンをクリックすると、[ブラシコントロール] ダイアログで詳細な設定が行えます。

K [向き]
ペン先形状の向きを調整します。左の [ブラシコントロール] ボタンをクリックすると、[ブラシコントロール] ダイアログで詳細な設定が行えます。

L [形状プレビュー]
ペン先の形状設定をプレビュー表示します。ドラッグすると [向き] を調整できます。

パターンブラシツール

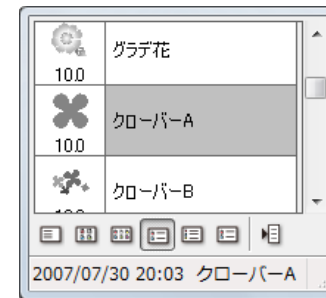
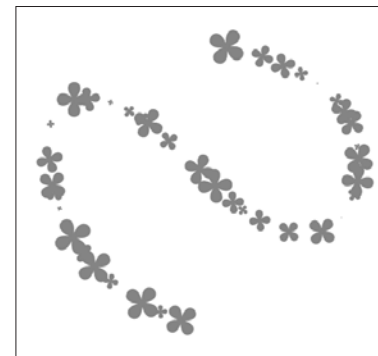
[パターンブラシ] ツールは、様々な画像などのパターンを連続して描画します。

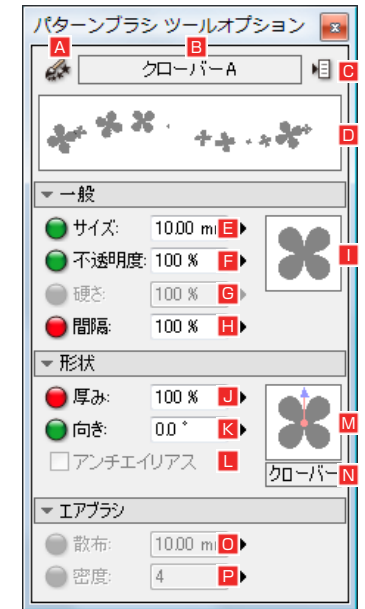
対応描画レイヤー	[ラスターレイヤー] [反転レイヤー] [トーンレイヤー] [選択範囲レイヤー] [マスキングレイヤー]
非対応描画レイヤー	[ベクターレイヤー] [定規レイヤー] [枠線定規レイヤー]

操作方法

1.[ツール] パレットを開く
[ウィンドウ] メニューから [ツール] を選択し、[ツール] パレットを開きます。

2. ツールを選択する
[ツール] パレットから [パターンブラシ] ツールを選択します。

[パターンブラシ] ツールのアイコンを右クリックして [ツール設定メニュー] を表示し、パターンブラシのツール設定を選択します。

3. 描画する
ページ上でドラッグすると、連続するパターンを描画できます。

ツールオプション

[ウィンドウ] メニューから [ツールオプション] を選択すると、[パターンブラシ ツールオプション] パレットが表示されます。

A [描画ツールメニュー]
描画ツールを切り替えできます。

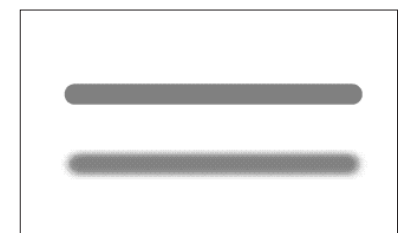
B [ツール設定メニュー]
ツールの設定を切り替えます。

C [メニュー表示]
[タブ表示] と [リスト表示] を切り替えたり、設定の保存ができます。

D [ストロークプレビュー]
ストロークの形状設定をプレビュー表示します。

E [サイズ]
ブラシの太さを調整します。左の [ブラシコントロール] ボタンをクリックすると、ダイアログで詳細な設定が行えます。

F [不透明度]
パターンブラシ画像の不透明度を調整します。左の [ブラシコントロール] ボタンをクリックすると、ダイアログで詳細な設定が行えます。

G [硬さ]
ブラシ周辺部での効果の強さを設定します。左の [ブラシコントロール] ボタンをクリックすると、ダイアログで詳細な設定が行えます。下げると、ボケ足の付く線が描けます。

H [間隔]
パターンを描画する間隔を指定します。値が小さいほどパターン同士が近くなります。左の [ブラシコントロール] ボタンをクリックすると、ダイアログで詳細な設定が行えます。

I [サイズプレビュー]
[サイズ] の設定をプレビュー表示します。プレビューをドラッグしてもサイズを調整できます。

J [厚み]
ブラシの厚みを調整します。左の [ブラシコントロール] ボタンをクリックすると、ダイアログで詳細な設定が行えます。

K [向き]
ブラシの向きを調整します。左の [ブラシコントロール] ボタンをクリックすると、ダイアログで詳細な設定が行えます。

L [アンチエイリアス]【Pro/EX】
8bit 以上の [ラスターレイヤー] に対して、アンチエイリアスのかかった線を描画します。

M [形状プレビュー]
ブラシの形状設定をプレビュー表示します。ドラッグすると [向き] を調整できます。

N [ブラシ形状の変更メニュー] ボタン
ブラシの形状がリスト表示され、ブラシの形状を選択できます。

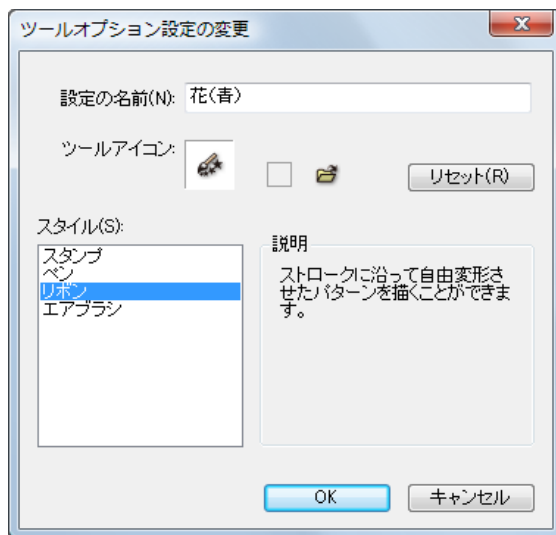
O [散布]
パターンを散布する範囲を調整します。左の [ブラシコントロール] ボタンをクリックすると、ダイアログで詳細な設定が行えます。

P [密度]
パターンを散布する密度を調整します。左の [ブラシコントロール] ボタンをクリックすると、ダイアログで詳細な設定が行えます。

POINT

外部から保存したパターン素材を登録する方法については、第 13 章『素材』→『Step:01 素材の登録【Pro/EX】』→『素材・設定ファイルの登録【Pro/EX】』(⇒ P.436) を参照してください。

パターンブラシのスタイル変更

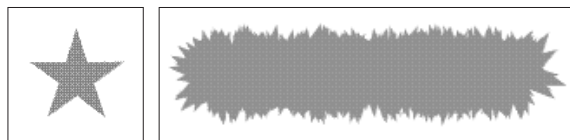
[ツールオプション] パレットの [メニュー表示] から [設定情報を変更 ...] を選択します。

・[スタイル : スタンプ]
[パターンブラシ] ツールの [ストローク] に従ってスタンプしたような連続した模様が描けます。

素材

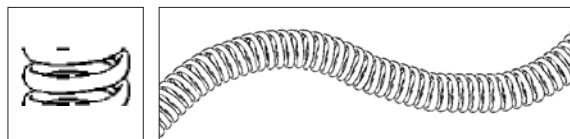
描画見本

・[スタイル : ペン]
[パターンブラシ] ツールの [ストローク] に従ってペンで描いたようなつながった線が引けます。

素材

描画見本

・[スタイル : リボン]
[パターンブラシ] ツールの [ストローク] に従ってパターンが変化し、自然な模様が描けます。

素材

描画見本

・[スタイル : エアブラシ]
[パターンブラシ] ツールのストロークに合わせて、エアブラシを吹いたような描画ができます。

素材

描画見本

[ブラシ形状の変更メニュー]

[パターンブラシ ツールオプション] パレットの [ブラシ形状の変更メニュー] ボタンをクリックすると表示されます。

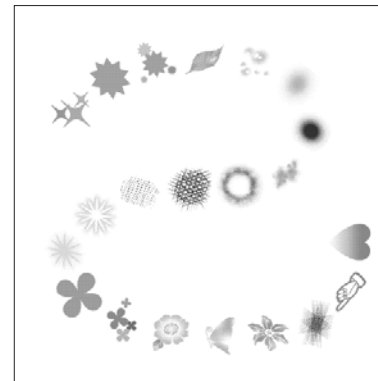
A [パターン素材集選択] メニュー
パターン素材集のカテゴリを選択します。

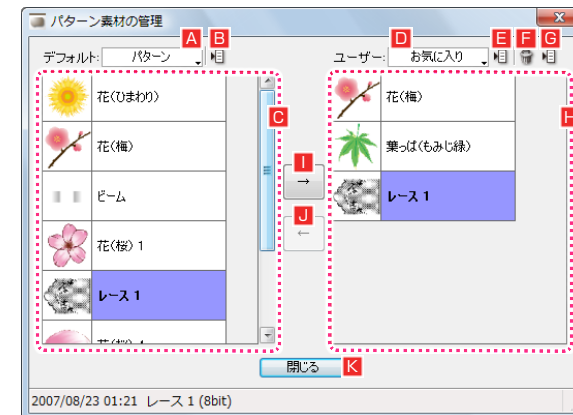
B [パターン素材集の編集] ボタン
[パターン素材の管理] ダイアログを表示します。

C [メニュー表示] ボタン
アイコンなどの整列メニューを表示します。

D [繰り返しタイプ] ボタン
[パターン素材集選択] メニューで [定型] 以外を選択すると、[繰り返しタイプ] メニューが表示されます。[繰り返しタイプ] は以下から選択します。

単一	選択しているパターンのみを使用します。
複数 (繰り返し)	表示しているパターン素材集のすべてのパターンを繰り返して使用します。
複数 (折り返し)	表示しているパターン素材集のすべてのパターンを折り返して使用します。
複数 (ランダム)	表示しているパターン素材集のすべてのパターンをランダムに使用します。

・[マルチブラシ]
[複数 (繰り返し)]・[複数 (折り返し)]・[複数 (折り返しランダム)] を選択すると、複数のパターンを一度に描くことができます。

[パターン素材の管理] ダイアログ

[ブラシ形状の変更メニュー] の [パターン素材集の編集] ボタンをクリックすると表示します。

A [パターン素材集] メニュー
登録済みのパターン素材集を選択します。初期設定で登録されているパターン素材集とユーザーが登録したパターン素材集から素材を選択できます。

B [メニュー表示] ボタン
リストの表示方法を選択できます。

C [パターン素材集] リスト
選択されたパターン素材集を一覧表示します。

D [ユーザー素材集] メニュー
ユーザーが登録したパターン素材集を選択します。

E [メニュー表示] ボタン
パターン素材集の新規作成、名前の変更、削除ができます。

F [選択パターンの削除] ボタン
選択したパターンを削除します。

G [メニュー表示] ボタン
リストの表示方法の選択と、選択したパターンの名前の変更ができます。

H [ユーザー素材集] リスト
選択されたパターン素材集を一覧表示します。

I [ユーザー素材集に追加] ボタン
左の [パターン素材集] で選択しているパターンを、右の [ユーザー素材集] に追加します。

J [パターン素材集に追加] ボタン
左の [パターン素材集] でユーザーが登録したパターン素材集が選択されている場合に、右の [ユーザー素材集] で選択しているパターンを、左の [パターン素材集] に追加します。

K [閉じる] ボタン
[パターン素材の管理] ダイアログを閉じます。

デフォルトの [パターン素材集] には、パターンの追加はできません。

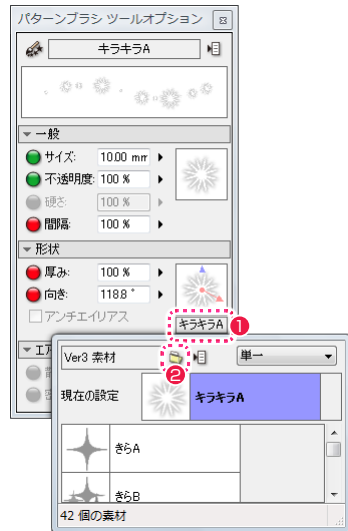
マルチブラシを使う

複数のパターンブラシを組み合わせて使用するマルチブラシを作成できます。

操作方法

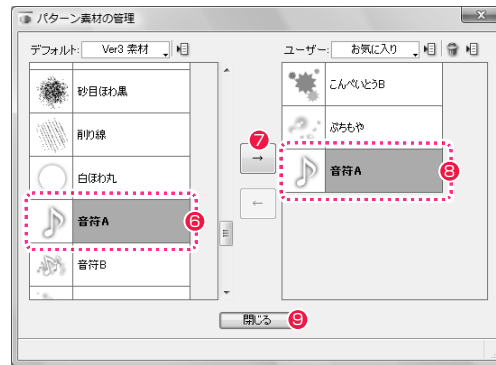
1.[ツール] パレットを開く
[ウィンドウ] メニューから [ツール] を選択し、[ツール] パレットを開きます。

2. ツールを選択する
[ツール] パレットから [パターンブラシ] ツールを選択します。

3. パターン素材集の編集を行う
[ツールオプション] パレットを表示し、パターン素材集の編集を行います。

❶ [ツールオプション] パレットの [ブラシ形状の変更メニュー] をクリックします。

❷ [ブラシ形状の変更メニュー] の [パターン素材集の編集] ボタンをクリックします。

❸ [パターン素材の管理] ダイアログの [ユーザー] の [メニュー表示] から [新規素材集] をクリックします。

❹ [新規設定] ダイアログで [設定の名前] を入力します。ここでは「お気に入り」と入力します。

❺ [OK] ボタンをクリックします。

❻ 組み合わせたいパターンブラシの種類を選択します。

❼ [→] ボタンをクリックします。

❽ 組み合わせたいパターンブラシが登録されます。

❾ [閉じる] ボタンをクリックします。

4. マルチブラシで描画する
パターン素材集の編集が終わったら、ページ上で描画します。

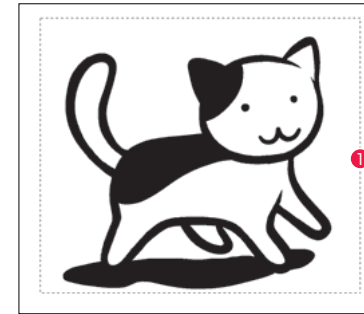
❶ [パターン素材集の一覧] から [お気に入り] を選択し、[ブラシ形状の変更メニュー] から [複数（繰り返し）] を選択します。

❷ ページ上でドラッグすると、[お気に入り] に登録した複数のブラシを組み合わせた描画ができます。

自作パターンブラシの作成

ComicStudio で描いた絵からオリジナルのパターンブラシを作成し、登録できます。

操作方法

1. ページを選択する
[編集] ウィンドウの [ページ] タブでページを開き、パターンブラシに登録したい画像を表示します。

❶ パターンブラシに登録したい部分を、[選択] ツールで選択します。

2. コマンドを選択する
[編集] メニュー→ [パターンを登録] → [ブラシ素材] を選択します。
[パターンをブラシ素材に登録] ダイアログが表示されます。

❶ 選択した画像がプレビュー表示されます。

❷ 素材の名前を入力します。ここでは「にゃんこブラシ」と入力します。

❸ 表現色を選択します。

❹ ブラシ素材から新規ツールオプション設定を作成する場合は、チェックボックスをオンにします。

❺ [OK] ボタンをクリックします。

3. 登録が完了する
[ツールオプション] パレットにブラシが表示され、作成・登録が完了します。

スポイトツール【Pro/EX】

画像から描画色を取得できます。

対応描画レイヤー	[ラスターレイヤー] [ベクターレイヤー] [反転レイヤー] [トーンレイヤー] [選択範囲レイヤー] [マスキングレイヤー]
非対応描画レイヤー	[定規レイヤー] [枠線定規レイヤー]

操作方法

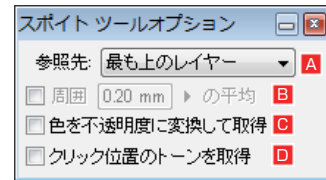
1.[ツール] パレットを開く
[ウィンドウ] メニューから [ツール] を選択し、[ツール] パレットを開きます。

2. ツールを選択する
[ツール] パレットから [スポイト] ツールを選択します。

3. 色を取得する
色を取得したい領域をクリックします。

4[描画色] に反映される
[ツール] パレットの [描画色] に、取得された色が反映されます。

ツールオプション

[ウィンドウ] メニューから [ツールオプション] を選択すると、[スポイト ツールオプション] パレットが表示されます。

A [参照先]
対象とするレイヤーを選択します。

・[編集レイヤー]
[レイヤー] パレットで編集対象となっているレイヤーを参照します。

・[最も上のレイヤー]
クリックした位置が透明ではないレイヤーのうち、最も上にあるレイヤーを参照します。

・[表示上のイメージ]
レイヤーに関係なく、画面に表示されている色をそのまま取得します。

B [周囲～mmの平均]
指定した領域の平均値の色を取得します。

C [色を不透明度に変換して取得]
色を不透明度に変換して取得します。

D [クリック位置のトーンを取得]【Pro/EX】
クリックした位置のトーンを取得します。

POINT

[スポイト] ツールでトーンレイヤーをクリックすると、[トーン] を [ツール] パレットに [トーン色] として取得できます。[トーン色] については第 7 章『トーン』→『Step:01 ComicStudio 形式トーン』→『トーンの取得【Pro/EX】』(⇒ P.238) を参照してください。

塗りつぶしツール

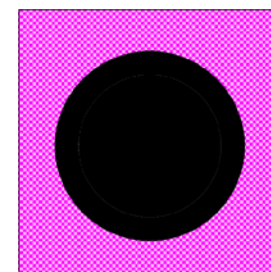
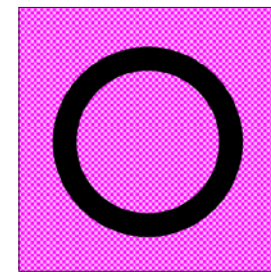
線で閉じられた領域をクリックすると、簡単に塗りつぶすことができます。

対応描画レイヤー	[ラスターレイヤー] [反転レイヤー] [トーンレイヤー] [選択範囲レイヤー] [マスキングレイヤー]
非対応描画レイヤー	[ベクターレイヤー] [定規レイヤー] [枠線定規レイヤー]

操作方法 (ラスター描画の場合)

1.[ツール] パレットを開く
[ウィンドウ] メニューから [ツール] を選択し、[ツール] パレットを開きます。

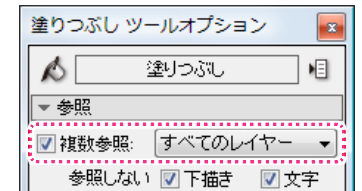
2. ツールを選択する
[ツール] パレットから [塗りつぶし] ツールを選択します。

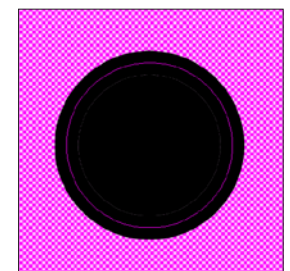
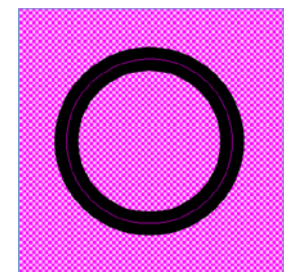
3. 塗りつぶす
塗りつぶしたい閉領域を [塗りつぶし] ツールでクリックして、塗りつぶします。

操作方法 (ベクター描画の場合)

1. ラスターレイヤーを作成する
塗りつぶし用に、[レイヤー] パレットで [ラスターレイヤー] を新規作成します。新規レイヤーの作成については、第 5 章『レイヤー』→『Step:03 レイヤーパレットの操作』→『新規レイヤーの作成』(⇒ P.173) を参照してください。

2.[ツール] パレットを開く
[ウィンドウ] メニューから [ツール] を選択し、[ツール] パレットを開きます。

3. ツールを選択する
[ツール] パレットから [塗りつぶし] ツールを選択します。

4. ツールオプションを設定する
[ツールオプション] パレットを表示し、[複数参照] チェックボックスをオンにして、[すべてのレイヤー] を選択します。

5. 塗りつぶす
塗りつぶしたい閉領域を [塗りつぶし] ツールでクリックして、塗りつぶします。

第3章 描画

ツールオプション

［ウィンドウ］メニューから［ツールオプション］を選択すると、［塗りつぶし ツールオプション］パレットが表示されます。

A ［描画ツールメニュー］
描画ツールを切り替えます。

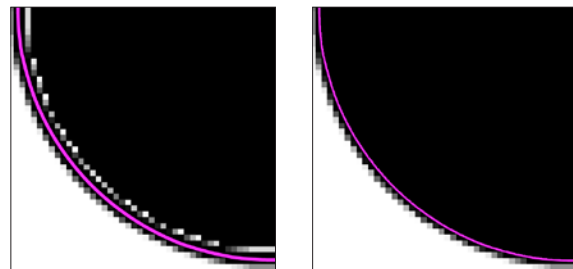
B ［ツール設定メニュー］
ツールの設定を切り替えます。

C ［メニュー表示］
［タブ表示］と［リスト表示］を切り替えたり、設定の保存ができます。

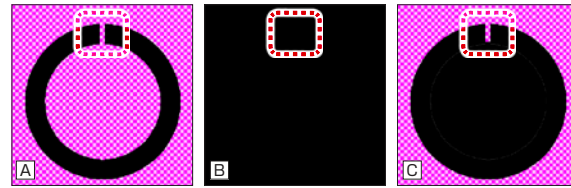
D ［複数参照］
複数のレイヤーを対象にします。［すべてのレイヤー］・［選択状態レイヤー］・［フォルダ内レイヤー］・［参照レイヤー］から選択します。

E ［下描き］
オンにすると、塗りつぶし時に［下描き］属性のラスターレイヤー・［選択範囲レイヤー］・［枠線定規レイヤー］を参照先の対象から除外します。

F ［文字］
オンにすると、塗りつぶし時に［テキストレイヤー］・［フキダシレイヤー］・［テキストフォルダ］を参照先の対象から除外します。

G ［ベクター中心線まで塗る］【Pro/EX】
［ベクターレイヤー］があるときのみ有効です。オンにすると、ベクターの中心線までを対象にして塗ります。アンチエイリアス表示にしたときに発生してしまう隙間を回避できます。

［中心線まで塗る：オフ］

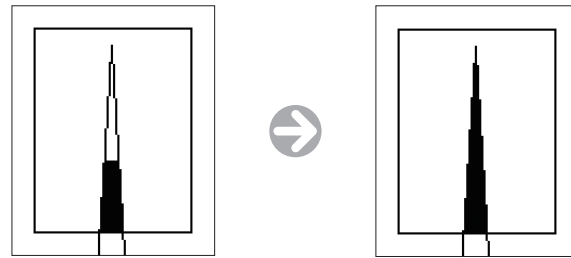
［中心線まで塗る：オン］

H ［隙間を閉じる］【Pro/EX】
指定のピクセル分の隙間を閉じて塗りつぶします。

A 塗りつぶし実行前

B ［隙間を閉じる］：オフ
塗りつぶしを実行すると、図形の外まで塗られます。

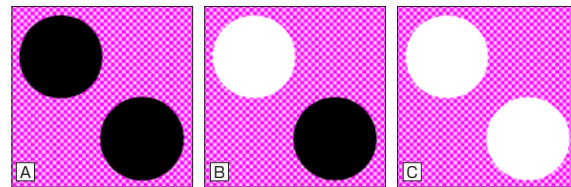
C ［隙間を閉じる］：オン
塗りつぶしを実行すると、図形の隙間を無視して塗られます。

I ［色の許容誤差］
同じ領域とみなす色の許容誤差を指定します。

J ［細い領域にしみこむ］【Pro/EX】
オンにすると、隙間を閉じて塗りつぶす場合に、細い隙間の部分まで塗りつぶします。

K ［不透明度］
塗りの不透明度を調整します。

L ［アルファを変更しない］(32bit のみ)
画像の不透明度を変更せずに塗りつぶします。

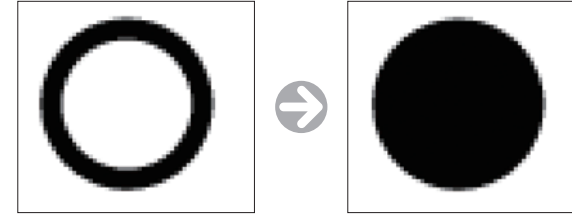
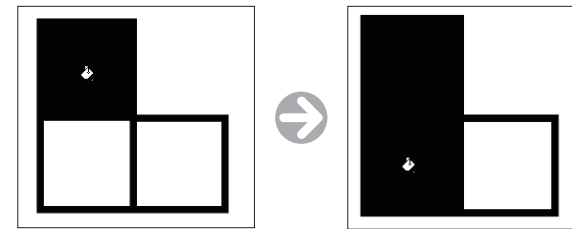
M ［領域を拡縮］
指定のピクセル分、拡大または縮小して塗りつぶします。

N ［隣接ピクセルをたどる］
隣接ピクセルをたどって塗りつぶします。オフにすると、レイヤー内の同じ色をすべて塗りつぶします。

A 元画像

B ［隣接ピクセルをたどる］：オン
描画色［白］で左上の円を選択して塗りつぶしました。

C ［隣接ピクセルをたどる］：オフ
描画色［白］で左上の円を選択すると、両方の円が描画色［白］で塗りつぶされます。

O ［アンチエイリアス］【Pro/EX】
塗りの境界部分を線のアンチエイリアスに合わせた濃度で塗りつぶします。

P ［最も濃いピクセルまで拡張］【Pro/EX】
オンにすると、線の最も濃い色の部分を認識して、その部分まで塗りつぶします。［領域を拡縮］で領域を拡大するように設定しても、線を認識して塗りつぶします。

Q ［ドラッグで同じ色を塗りつぶす］【Pro/EX】
オンにすると、ドラッグしたときにそのまま連続した隙間を塗りつぶします。

閉領域フィルツール【Pro/EX】

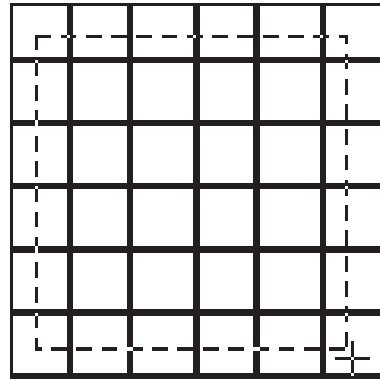
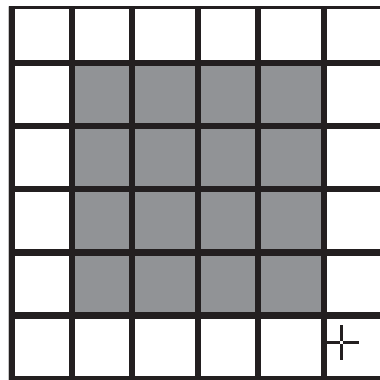
多数の閉領域 (線で囲まれた閉じた領域) で構成されている絵を、１回の操作で塗りつぶしたいときに使用します。
塗り止まりが起きてしまうような髪の毛の先や、１ドットの線など、小さく塗りにくい部分を塗りつぶすのに適しています。

対応描画レイヤー	[ラスターレイヤー] [反転レイヤー] [トーンレイヤー] [選択範囲レイヤー] [マスキングレイヤー]
非対応描画レイヤー	[ベクターレイヤー] [定規レイヤー] [枠線定規レイヤー]

操作方法

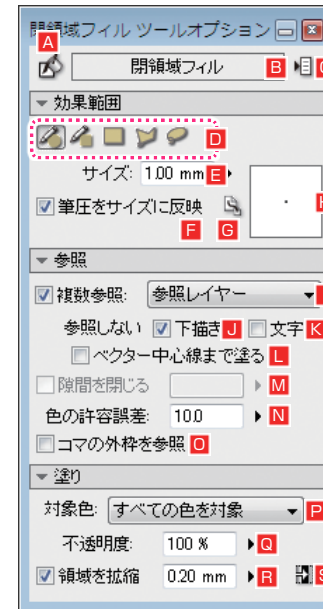
1.[ツール] パレットを開く
[ウィンドウ] メニューから [ツール] を選択し、[ツール] パレットを開きます。

2. ツールを選択する
[ツール] パレットから [閉領域フィル] ツールを選択します。

3. 範囲を指定する
[閉領域フィル　ツールオプション] パレットから効果範囲ツールを選択し、閉領域を塗りつぶしたい範囲を指定します。

4. 塗りつぶす
画像の指定した範囲内の閉領域のみが塗りつぶされます。
この作例では、外の一列は閉領域が全て選択されていないため塗りつぶされません。

POINT

閉領域とは、線で囲まれた閉じた領域のことです。閉領域を構成する線の描画色に、黒と白が混在していても、[閉領域フィル] ツールを使用できます。

ツールオプション

[ウィンドウ] メニューから [ツールオプション] を選択すると、[閉領域フィル ツールオプション] パレットが表示されます。

A [描画ツールメニュー]
描画ツールを切り替えます。

B [ツール設定メニュー]
ツールの設定を切り替えます。

C [メニュー表示]
[タブ表示] と [リスト表示] を切り替えたり、設定の保存ができます。

D 効果範囲ツール
効果範囲を [ペン●]・[ペン■]・[矩形]・[折れ線]・[投げなわ] から選択できます。

E [サイズ]
ペンの太さを調整します。

F [筆圧をサイズに反映]
ペンタブレットの筆圧をサイズに影響させます。

G [サイズを画面上の値として使用]
設定や原稿の表示倍率に関係なく、[サイズプレビュー] のサイズで描画します。

H [サイズプレビュー]
[サイズ] の設定をプレビュー表示します。プレビューをドラッグしてもサイズを調整できます。

I [複数参照]
指定したレイヤーを対象にします。[すべてのレイヤー]・[選択状態レイヤー]・[フォルダ内レイヤー]・[参照レイヤー] から選択します。

J [下描き]
従来の [下描きを参照しない] チェックボックスと同様の機能です。オンにすると、塗りつぶし時に [下描き] 属性のラスターレイヤー・[選択範囲レイヤー]・[枠線定規レイヤー] を参照先の対象から除外します。

K [文字]
オンにすると、塗りつぶし時に [テキストレイヤー] と [フキダシレイヤー]・[テキストフォルダ] を参照先の対象から除外します。

L [ベクター中心線まで塗る]【Pro/EX】
ベクターの中心線まで塗ります。[ベクターレイヤー] のみ有効です。

M [隙間を閉じる]
指定幅の隙間を閉じて塗りつぶします。
この項目は、[対象色] で [すべての色を対象] または [アルファを変更しない] が選択されている場合は、無効になります。

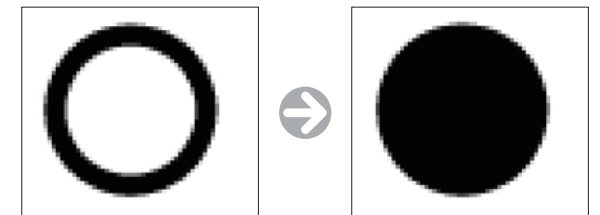
N [色の許容誤差]
閉領域を指定する際の色の許容誤差を指定します。

O [コマの外枠を参照]
オンにすると、塗りつぶし時に [コマフォルダ] の外枠を参照し、[コマフォルダ] の内側のみ選択されます。この項目は、[レイヤー] パレットで [コマフォルダ] または [コマフォルダ] 内のレイヤーを選択している場合のみ有効となります。

P [対象色]
指定した色を、参照先に設定します。対象色には [すべての色を対象]・[透明部分のみに描画]・[透明部分以外に描画]・[アルファを変更しない]・[黒部分のみに描画]・[黒部分以外に描画]・[白と透明のみに描画]・[薄い半透明を透明扱い] があります。

Q [不透明度]
塗りの不透明度を調整します。

R [領域を拡縮]
指定幅で塗りの領域を拡大縮小します。

S [最も濃いピクセルまで拡張]【Pro/EX】
オンにすると、線の最も濃い色の部分を認識して、その部分まで塗りつぶします。[領域を拡縮] で領域を拡大するように設定しても、線を認識して塗りつぶします。

直線ツール

まっすぐドラッグして直線を描画します。

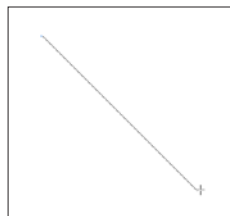
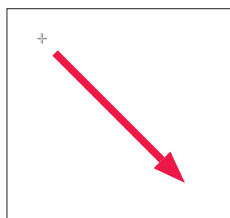
対応描画レイヤー	[ラスターレイヤー] [反転レイヤー] [トーンレイヤー] [選択範囲レイヤー] [マスキングレイヤー] [ベクターレイヤー] [定規レイヤー]
非対応描画レイヤー	[枠線定規レイヤー]

操作方法

1.[ツール] パレットを開く
[ウィンドウ] メニューから [ツール] を選択し、[ツール] パレットを開きます。

2. ツールを選択する
[ツール] パレットから [直線] ツールを選択します。

3. 描画する
ページ上で、ドラッグすると直線を描画できます。

POINT
[Shift] キーを押しながらドラッグすると、[ツールオプション] パレットで指定した角度の刻みで直線を引けます。

曲線ツール

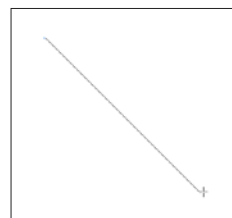
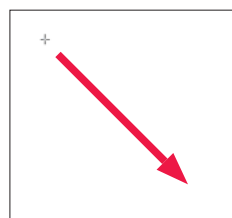
ドラッグで両端を決定後、カーブを調整して曲線を描画します。

対応描画レイヤー	[ラスターレイヤー] [反転レイヤー] [トーンレイヤー] [選択範囲レイヤー] [マスキングレイヤー] [ベクターレイヤー] [定規レイヤー]
非対応描画レイヤー	[枠線定規レイヤー]

操作方法

1.[ツール] パレットを開く
[ウィンドウ] メニューから [ツール] を選択し、[ツール] パレットを開きます。

2. ツールを選択する
[ツール] パレットから [直線] ツールのアイコンを右クリックして、[曲線] ツールを選択します。

3. 描画する
ページ上で、支店から終点までドラッグします。

曲げたい方向へマウスカーソルを移動させると、線が引っ張られて曲がります。クリックすると確定し、曲線の描画が確定します。

折れ線ツール

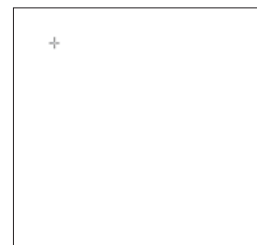
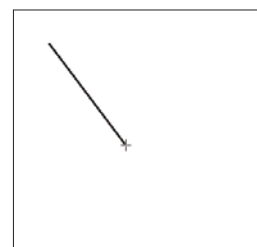
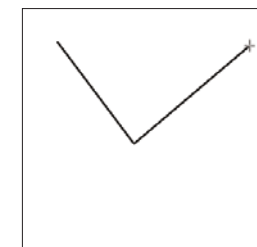
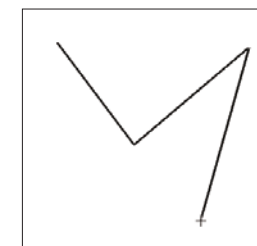
クリックとマウスカーソル移動の繰り返しで折れ線を作成します。

対応描画レイヤー	[ラスターレイヤー] [反転レイヤー] [トーンレイヤー] [選択範囲レイヤー] [マスキングレイヤー] [ベクターレイヤー] [定規レイヤー] [枠線定規レイヤー]
非対応描画レイヤー	なし

操作方法

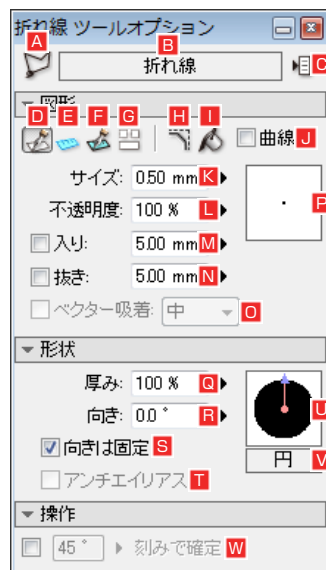
1.[ツール] パレットを開く
[ウィンドウ] メニューから [ツール] を選択し、[ツール] パレットを開きます。

2. ツールを選択する
[ツール] パレットから [直線] ツールを長押しして、[折れ線] ツールを選択します。

3. 描画する
ページ上で、始点をクリックします。

2 点目をクリックすると、その間に直線ができます。

3 点目をクリックします。
固定された 2 点目との間に直線ができて、折れ線になります。

4 点目をクリックします。クリックごとに、クリックした場所を頂点とした折れ線が作成されます。

ダブルクリックすると描画が完了し、その場所を終点とした折れ線が完成します。

作成中に [Enter] キーを押した場合は、その時点でマウスカーソルが引いている直線が消え、直前にクリックした場所までの折れ線が描画されます。

ツールオプション (直線・曲線・折れ線)

[ウィンドウ] メニューから [ツールオプション] を選択すると、[ツールオプション] パレットが表示されます。

A [描画ツールメニュー]
描画ツールを切り替えます。

B [ツール設定メニュー]
ツールの設定を切り替えます。

C [メニュー表示]
[タブ表示] と [リスト表示] を切り替えたり、設定の保存ができます。

D [図形を描画]
通常の描画を行います。

E [定規を作成]
[サブ定規レイヤー] に [サブ定規] を作成します。[サブ定規レイヤー] については第 4 章『定規』→『Step:01 定規の種類と作成』→『サブ定規レイヤー』(⇒ P.125) を参照してください。

F [定規に沿った線を描画]
線の描画と [サブ定規レイヤー] への [サブ定規] の作成を同時に行います。

G [コマを作成]
図形でコマフォルダを作成します。([折れ線] ツールのみ)

H [角をとがらせる]
線の角をとがらせます。([折れ線] ツールのみ)

I [図形の内部を塗りつぶす]
閉じた領域を指定色で塗りつぶします。([折れ線] ツールのみ)

J [曲線]
折れ線を内接する曲線にします。([折れ線] ツールのみ)

K [サイズ]
線の太さを調整します。

L [不透明度]
線の不透明度を調整します。

M [入り]
[入り] のオン・オフ、および強さを調整します。

N [抜き]
[抜き] のオン・オフ、および強さを調整します。

O [ベクター吸着]【Pro/EX】
各描画ツールの適用を既に描かれている線に吸着させます。[ベクターレイヤー] のみ有効です。

P [サイズプレビュー]
[サイズ] の設定をプレビュー表示します。プレビューをドラッグすることでも設定を調整できます。

Q [厚み]
ペン先形状の厚みを調整します。

R [向き]
ペン先形状の向きを調整します。

S [向きは固定]
ペン先の向きを固定します。

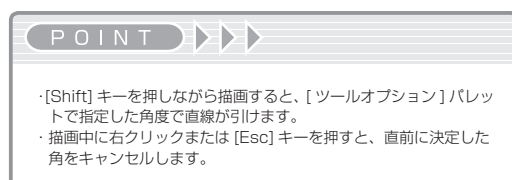
T [アンチエイリアス]【Pro/EX】
8bit 以上の [ラスターレイヤー] に対して、アンチエイリアスのかかった線を描画します。

U [形状プレビュー]
ペン先の形状設定をプレビュー表示します。ドラッグすると [向き] を調整できます。

V [ブラシ形状の変更メニュー]
[円]・[四角]・[多角形] メニュー、[多角形の編集 ...] ボタンが表示され、ペン先の形状を選択または編集できます。

W [〜° 刻みで確定]
指定した角度刻みで直線を引きます。

POINT

・[Shift] キーを押しながら描画すると、[ツールオプション] パレットで指定した角度で直線が引けます。
・描画中に右クリックまたは [Esc] キーを押すと、直前に決定した角をキャンセルします。

矩形ツール

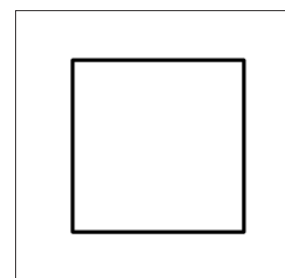
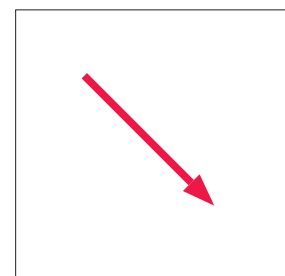
ドラッグでサイズを決定し、矩形を描画します。

対応描画レイヤー	[ラスターレイヤー] [反転レイヤー] [トーンレイヤー] [選択範囲レイヤー] [マスキングレイヤー] [ベクターレイヤー] [定規レイヤー] [枠線定規レイヤー]
非対応描画レイヤー	なし

操作方法

1.[ツール] パレットを開く
[ウィンドウ] メニューから [ツール] を選択し、[ツール] パレットを開きます。

2. ツールを選択する
[ツール] パレットから [矩形] ツールを選択します。

3. 描画する
ページ上でドラッグすると、対角線上に図形が膨らみます。

マウスのボタンを離すと、描画が完了します。

楕円ツール

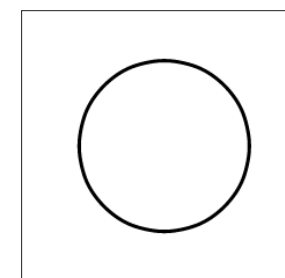
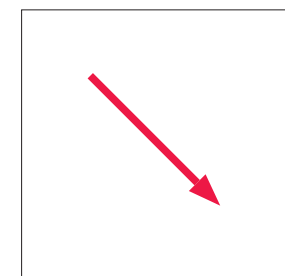
ドラッグでサイズを決定し、楕円を描画します。

対応描画レイヤー	[ラスターレイヤー] [反転レイヤー] [トーンレイヤー] [選択範囲レイヤー] [マスキングレイヤー] [ベクターレイヤー] [定規レイヤー] [枠線定規レイヤー]
非対応描画レイヤー	なし

操作方法

1.[ツール] パレットを開く
[ウィンドウ] メニューから [ツール] を選択し、[ツール] パレットを開きます。

2. ツールを選択する
[ツール] パレットから [矩形] ツールを右クリックして [楕円] ツールを選択します。

3. 描画する
ページ上でドラッグすると、対角線上に図形が膨らみます。

マウスのボタンを離すと、描画が完了します。

多角形ツール

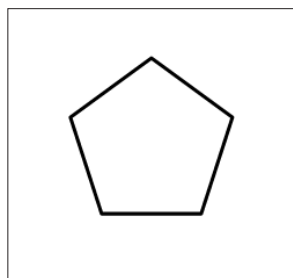
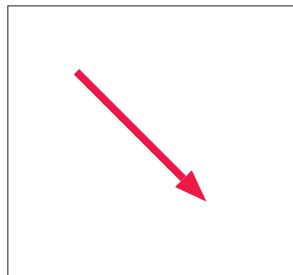
ドラッグでサイズを決定し、多角形を描画します。

対応描画レイヤー	[ラスターレイヤー] [反転レイヤー] [トーンレイヤー] [選択範囲レイヤー] [マスキングレイヤー] [ベクターレイヤー] [定規レイヤー] [枠線定規レイヤー]
非対応描画レイヤー	なし

操作方法

1.[ツール] パレットを開く
[ウィンドウ] メニューから [ツール] を選択し、[ツール] パレットを開きます。

2. ツールを選択する
[ツール] パレットから [矩形] ツールを右クリックして [多角形] ツールを選択します。

3. 描画する
ページ上でドラッグすると、対角線上に図形が膨らみます。

マウスのボタンを離すと、描画が完了します。

ツールオプション (矩形・楕円・多角形)

[ウィンドウ] メニューから [ツールオプション] を選択すると、[ツールオプション] パレットが表示されます。

A [描画ツールメニュー]
描画ツールを切り替えます。

B [ツール設定メニュー]
ツールの種類を切り替えます。

C [メニュー表示]
[タブ表示] と [リスト表示] を切り替えたり、設定の保存ができます。

D [図形を描画]
通常の描画を行います。

E [定規を作成]
[サブ定規レイヤー] に [サブ定規] を作成します。[サブ定規レイヤー] については、第 4 章『定規』→『Step:01 定規の種類と作成』→『サブ定規レイヤー』(⇒ P.125) を参照してください。

F [定規に沿った線を描画]
図形の描画と、[サブ定規レイヤー] への [サブ定規] の作成を同時に行います。

G [コマを作成]
図形でコマフォルダを作成します。

H [角をとがらせる]
図形の角をとがらせます。

I [図形の内部を塗りつぶす]
図形の内部を描画色で塗りつぶします。

J [サイズ]
線の太さを調整します。

K [不透明度]
線の不透明度を調整します。

L [角数] (多角形ツールのみ)
多角形の角数を指定します。

M [ベクター吸着] 【Pro/EX】
各図形ツールの適用を既に描かれている線に吸着させます。[ベクターレイヤー] のみ有効です。

N [サイズプレビュー]
[サイズ] の設定をプレビュー表示します。プレビューをドラッグしてもサイズを調整できます。

O [厚み]
ペン先形状の厚みを調整します。

P [向き]
ペン先形状の向きを調整します。

Q [向きは固定]
ペン先の向きを固定します。

R [アンチエイリアス] 【Pro/EX】
8bit 以上の [ラスターレイヤー] に対して、アンチエイリアスのかかった線を描画します。

S [形状プレビュー]
ペン先の形状 0 設定をプレビュー表示します。ドラッグすると [向き] を調整できます。

T [ブラシ形状の変更メニュー] ボタン
[円] · [四角] · [多角形] メニュー、[多角形の編集 ...] ボタンが表示され、ペン先の形状の選択または編集できます。

U [中央から開始する]
図形の描画を中央から開始します。

V [縦横比を固定する]
図形の縦横比を固定します。

W [幅]
縦横比を固定する場合の、幅の比率を設定します。

X [高さ]
縦横比を固定する場合の、高さの比率を設定します。

Y [大きさ確定後に回転させる]
図形の大きさ確定後、マウス操作で回転します。

Z [~° 刻みで回転]
大きさ確定後に回転させる場合の回転角度を設定します。マウス操作で回転させると、設定した各度刻みで回転します。

POINT

- [Ctrl] キーを押しながらドラッグすると、[中央から開始する] がオフの場合でも、中央から描画を開始します。
- [Shift] キーを押しながらドラッグすると、[縦横比を固定する] がオフの場合でも、設定した値に縦横比が固定されて描画します。
- [大きさ確定後に回転させる] をオンにして、[~° 刻みにで回転] をオフにしている場合、[Shift] キーを押しながらドラッグすると、指定した角度ごとに回転します。